

閱 覧 設 計 書

業 務 名	資材単価特別調査業務
業 務 箇 所	永平寺町中央浄化センター
履 行 期 限	令和8年2月27日
監 督 職 員	主 査 牧 野 展 久

令和 7 年度

資材単価特別調査業務 特記仕様書

1. 概要

本調査業務は、本仕様書等により調査を行う。

2. 業務概要

本業務については、下記による。

- | | |
|----------|--|
| 1) 業務名 | 資材単価特別調査業務 |
| 2) 業務箇所 | 永平寺町中央浄化センター |
| 3) 履行期間 | 契約の翌日から令和 8 年 2 月 27 日まで |
| 4) 業務の概要 | 本業務は、永平寺町下水道事業における工事に必要な機械設備及び電気設備等の単価調査である。 |

3. 調査対象

本業務における調査対象は以下のとおりである。

1) 機械設備

全 14 品目

見積条件は別紙による。

2) 電気設備

全 31 品目

見積条件は別紙による。

4. 成果物の納品

本業務において納品する成果物は下記のとおりとする。

- | | |
|---|-----|
| 1) 調査結果報告書 | 2 部 |
| 2) そのほか、監督職員が特に必要なものとして成果物の納品を求める物。
ただし、受注者と協議のうえ、決定するものとする。 | |

5. 貸与資料

業務上必要となる資料については、監督職員と協議すること。

6. その他特記事項

- 1) 業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議のうえ決定するものとする。
- 2) 成果品納入後にあっても成果品に誤りがある場合は、直ちに訂正するものとする。

令和 7 年度

永平寺町中央浄化センター機械設備更新工事

見積依頼仕様書

(機 械)

令和 7 年 月

福 井 県 永 平 寺 町

上 下 水 道 課

(1) 一般見積り条件

1. 見積り目的	永平寺町中央浄化センター 機械設備更新工事積算用
2. 見積り範囲	見積り依頼書のとおり。
3. 支払い条件	永平寺町契約規定による。
4. 受渡し条件	機器は工場渡し、材料は現場渡しとする。
5. 輸送費	含まない。
6. 納期	契約後 約 月
7. 見積り有効期間	提出後 約 月
8. 見積り提出部数 及び提出書類	各 2 部
9. 保証	完成後 1 年とする。（但し、瑕疵については、建設工事 請負契約約款による。）
10. 試運転	有り（但し、見積り価格には含まない。）
11. 摘要	機器又は材料等の製作者の一般管理費を含んだ販売価格。 但しプラント設備業者で当該機器の製造業者でない場合 は、当該プラント設備業者の一般管理費等は含めない。 消費税相当額は含まない。 重量を明記の事。 貴工場の住所を明記の事。

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-1
機 器 名 称	No. 1 ケーキ移送コンベヤ	数 量	1 基
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 型 式 無軸スクリーンコンベヤ (2) 寸 法 スクリーン径 φ160mm(参考) 機長約 4.8m 傾斜角 0° (水平) (3) 搬 送 量 1.0m³/時 以上 (4) 電動機出力 3 φ × 0.4kW × 200V × 60Hz (5) 特 記 事 項 搬出入方法を十分考慮し、分割搬入可能とする (目安: < 2 m に分割)。 洗浄可能な構造とする。		
構 成 品	(1) スクリーン羽根 特殊高張力鋼又はステンレス鋼 (SUS304) (2) トラフ及びカバー ステンレス鋼 (SUS304) (3) ライナー 合成樹脂 (磨耗インジケータ付) (4) ブラケット ステンレス鋼 (SUS304) (5) 架台 ステンレス鋼 (SUS304) (6) シュート ステンレス鋼 (SUS304)		
標準付属品	(1) 点検口 1 式 (2) 汚泥脱水機排出シュート接続口 1 式 (3) 脱臭ダクト取付座 1 式 (4) コンベヤ架台 1 式 (5) 取付ボルト・ナット (SUS304) 1 式 (6) 出入口部伸縮継手 1 式 【その他】 (1) グランドパッキン 100% (2) ライナー 100% (3) 潤滑油 1 式		
使 用 条 件	使用目的 本機は、No. 1 汚泥脱水機から排出される脱水ケーキをケーキ貯留ホッパまで搬送するためのものである。 使用条件 脱水ケーキ		
参 考 図	有 (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	・ 製品重量記載のこと。 ・ 製作期間を明記すること。		作成 担当 照査 部 課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-2
機 器 名 称	No. 2 ケーキ移送コンベヤ	数 量	1 基
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 型 式 無軸スクリーンコンベヤ (2) 寸 法 スクリーン径φ160mm(参考) 機長約 3.2m 傾斜角 0° (水平) (3) 搬 送 量 1.0m³/時 以上 (4) 電動機出力 3φ×0.4kW×200V×60Hz (5) 特 記 事 項 搬出入方法を十分考慮し、分割搬入可能とする (目安: <2 m に分割)。 洗浄可能な構造とする。		
構 成 品	(1) スクリーン羽根 特殊高張力鋼又はステンレス鋼 (SUS304) (2) トラフ及びカバー ステンレス鋼 (SUS304) (3) ライナー 合成樹脂 (磨耗インジケータ付) (4) ブラケット ステンレス鋼 (SUS304) (5) 架台 ステンレス鋼 (SUS304) (6) シュート ステンレス鋼 (SUS304)		
標準付属品	(1) 点検口 1 式 (2) 汚泥脱水機排出シュート接続口 1 式 (3) 脱臭ダクト取付座 1 式 (4) コンベヤ架台 1 式 (5) 取付ボルト・ナット (SUS304) 1 式 (6) 出入口部伸縮継手 1 式 【その他】 (1) グランドパッキン 100% (2) ライナー 100% (3) 潤滑油 1 式		
使 用 条 件	使用目的 本機は、No. 2 汚泥脱水機から排出される脱水ケーキをケーキ貯留ホッパまで搬送するためのものである。 使用条件 脱水ケーキ		
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☐ 無 ☒		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☐ 無 ☒		
備 考	・製品重量記載のこと。 ・製作期間を明記すること。		作成 担当 照査 部 課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-3
機 器 名 称	ケーキ貯留ホッパ	数 量	1 基
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 型 式 電動角形カットゲート式 (2) 有 効 容 量 3m ³ (呼称容量) (3) 電動機出力 3φ × (0.75kW + 0.75kW) × 200V × 60Hz (4) 脱水汚泥搬出車 4トン車用 (5) 特 記 事 項 点検歩廊無し、加温用ヒーター無し 既設躯体の開口寸法 (2m×2m) に合わせた構造とすること 既設ホッパの下部高さ (約 2.8m) を下回らないよう留意すること (ケーキ搬出車の出し入れのため)		
構 成 品	(1) 本体、架台 SS400		
標準付属品	(1) 開閉装置 1 式 (2) 基礎ボルト・ナット 1 式 (3) 質量検出器 1 式 (4) 排出側スカート (ゴム製又は布入りビニル製) 1 式 (5) 排水受け樋 1 式 (6) 作動油 1 缶 (20L 入) (7) 質量検出器制御盤 1 式		
使 用 条 件	使用目的 脱水汚泥貯留ホッパは、脱水汚泥搬送コンベヤから搬出された脱水汚泥を、貯留するためのものである。 使用条件 脱水ケーキ		
		設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☐ 無 ☒		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☐ 無 ☒		
備 考	・ 製品重量記載のこと。 ・ 製作期間を明記すること。	作成 担当 照査 部 課	

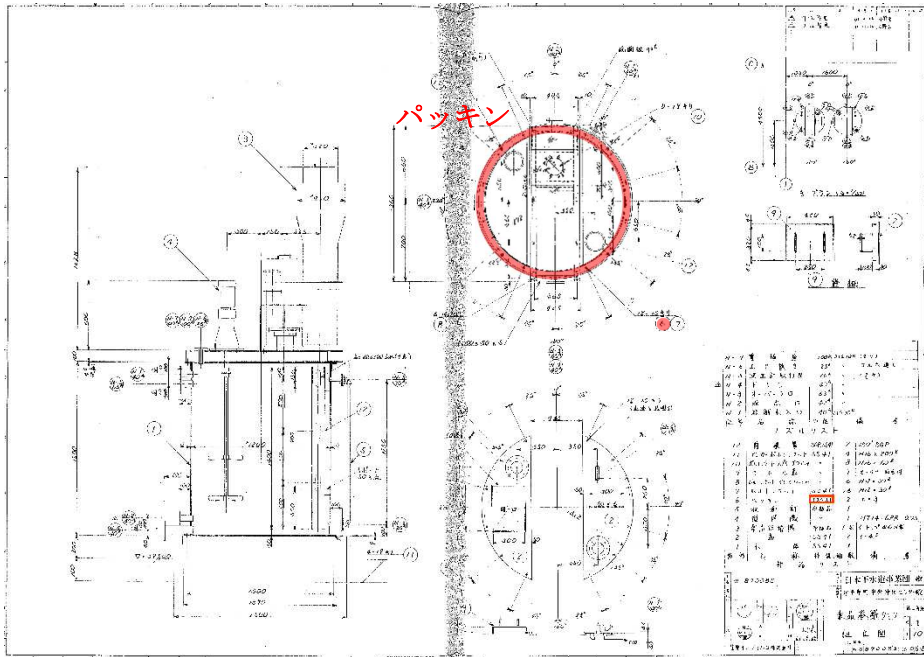
見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-4
機 器 名 称	No. 1, 2 薬品受入ホッパ及び供給機	数 量	2 基
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	【薬品受入ホッパ】 (1) 材 質 SUS (2) 寸 法 □300 × 高さ500 mm (参考寸法) (3) 容 量 有効容量 30L 【供給機】 (4) 型 式 可変連続定量供給機 (1連式) (5) 供 給 量 最大0.4L/min (6) 電動機出力 3φ×0.2kW×200V×60Hz (7) 特 記 事 項 薬品投入方法：紙袋 使用薬品：アクリル酸系カチオンポリマー		
構 成 品	(1) 受入ホッパ SUS304 又は PVC 製 (2) 攪拌翼 (必要な場合) SUS304 (3) 攪拌翼軸 (必要な場合) S45C 以上 (4) 計量装置 (接粉部) SUS304 又は相当品 (5) 減速機ケース FC200 以上 (6) 混合装置 SUS304 (要部) 又は透明樹脂製		
標準付属品	(1) コモンベース 1 式 (2) 給水電動ボール弁 1 個 (3) 流量計 (面積式又は直接式) 1 個 (4) 流量調整弁 1 個 (5) ドライエア用電磁弁及び手動弁類 1 式 (6) エアレギュレータ、エアミストセパレータ、エアフィルタ 各 1 個 (7) 給水、ドライエア配管 (機側 1m) 1 式 (8) 粉面計 1 個		
使 用 条 件	薬品受入ホッパ及び供給機は、薬品を一時貯留するとともに、薬品溶解タンクに水と薬品を連続定量供給するためのものである。		
	使 用 条 件 薬品 (高分子)	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☐ 無 ☒		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☐ 無 ☒		
備 考	・ 製品重量記載のこと。 ・ 製作期間を明記すること。		作成 担当 照査 部 課

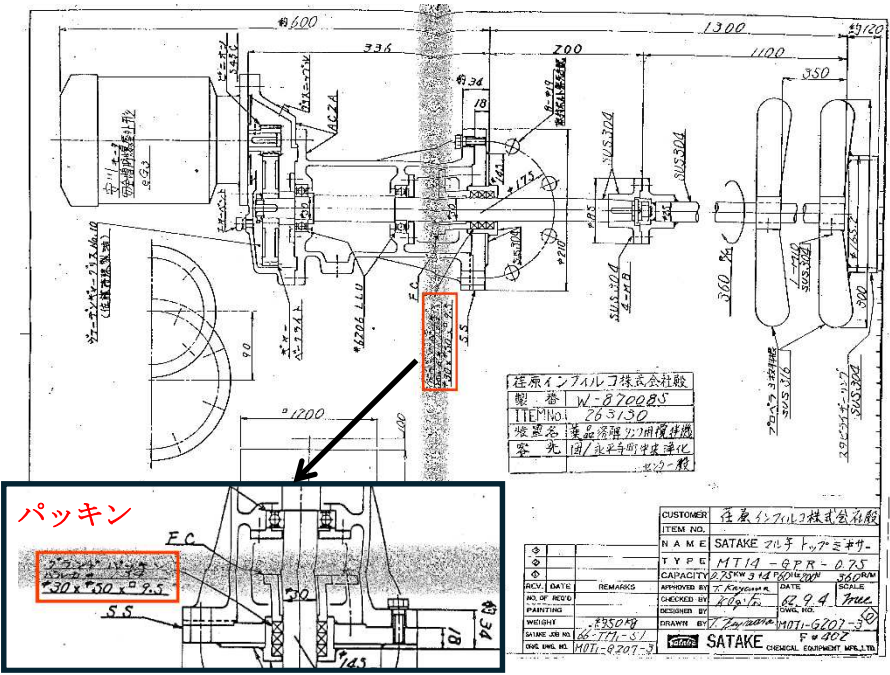
見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-5
機 器 名 称	No. 1, 2 薬品溶解タンク	数 量	2 槽
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 型 式 鋼板製立形攪拌槽 (2) 寸 法 $\phi 1,150 \text{ mm} \times 1,500 \text{ mmH}$ (参考寸法) (3) 容 量 有効容量 1m^3 (4) ミ キ サ 0.75kW (1槽に1台のミキサ) (5) 特 記 事 項 維持管理用歩廊を設け、歩廊上に設置する現場盤の配置等は電気工事と連携すること。 維持管理性を考慮した階段を設けること。 使用薬品：アクリル酸系カチオンポリマー		
構 成 品	(1) タンク本体 SS400+内面エポキシ樹脂塗装 (2) ミキサ架台 SS400 (3) ミキサ軸 SUS304 (4) 羽根 SUS304 (5) ベルトカバー SS400		
標準付属品	(1) 基礎ボルト・ナット 1 式 (2) 空気抜管 1 式 (3) ミキサ 1 台 (4) 直読式液面計 1 台 (5) 差圧式液面計用元弁 (ダイヤフラム弁 80A) 1 個		
使 用 条 件	使 用 目 的 薬品溶解タンクは、供給機より供給される薬品を規定容 液に溶解、貯留するためのものである。		
	使 用 条 件 薬品 (高分子)	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☐ 無 ☒		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☐ 無 ☒		
備 考	・ 製品重量記載のこと。 ・ 製作期間を明記すること。		
			作成 担当 照査
			部 課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-6
機 器 名 称	No. 1, 2 薬品供給ポンプ	数 量	2 台
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 型 式 一軸ネジ式ポンプ (2) 口 径 ϕ 20mm (3) 吐 出 量 1.5~4.3 L/分 (4) 全 揚 程 20m (5) 取 扱 流 体 高分子凝集剤（濃度0.2~0.3%、カチオン） (6) 電動機出力 $3\phi \times 0.4\text{kW} \times 200\text{V} \times 60\text{Hz}$ (7) 駆 動 方 式 オーバーヘッド (8) 軸 封 方 式 無注水メカニカルシール (5) 特 記 事 項 手動ハンドルにて現場で流量調整可能とする。 ※インバーターによる流量調整は行わない		
構 成 品	(1) ケーシング SUS316 (2) ロータ SUS316 (3) ステータ フッ素ゴム（FKM） (4) シャフト SUS316 (5) 共通ベース FC200又はSS400		
標準付属品	(1) 安全カバー 1 式 (2) 共通ベース 1 式 (3) 隔膜式圧力計（接点付き） 1 式 (4) 基礎ボルト・ナット 1 式 (5) ルーズフランジ又は可とう管（吸込側用） 1 式 (6) 操作器、制御・増幅器 1 式 【その他】 (1) ステータ (2) Oリング類 1 式 (3) ユニバーサルジョイント用シールパッキン類 1 式 (4) メカニカルシール用摺動材 1 式		
使 用 条 件	使 用 目 的 本ポンプは薬品溶解タンクからの高分子凝集剤薬品を汚泥脱水機へ移送、及び圧入するためのものである。 使 用 条 件 薬品（高分子）		
		設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 （別紙 参考図） 無		
メーカー指定	有 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	・ 製品重量記載のこと。 ・ 製作期間を明記すること。		作成 担当 照査 部 課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-7
機 器 名 称	No. 1 空気圧縮装置	数 量	1 台
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 型 式 無給油圧力スイッチ式 (2) 吐出空気量 75L/min (20℃、101.3kPa(1atm)) (3) 常 用 圧 力 0.93MPa (4) 電動機出力 3φ×0.75kW×200V×60Hz (5) 特 記 事 項 既設空気圧縮機 2 台のうち、1 台は更新直後であるため、今回更新しない。 そのため、空気圧縮機 1 台と除湿器 1 台を更新し、既設空気圧縮機 1 台と接続すること。		
構 成 品	空気タンク SS400又は同等品以上		
標準付属品	(1) アンローダ装置又は圧力スイッチ 1 式 (2) 吸入サイレンサー (フィルターつき) 1 式 (3) Vベルト及びVプーリ、同カバー (ベルト駆動のみ) 1 式 (4) 空気タンク 1 式 (5) 圧力計 1 式 (6) 安全弁 1 式 (7) 電磁弁式オートドレントラップ 1 式 (8) 車輪固定金具 1 式		
使 用 条 件	使 用 目 的 可搬式小型空気圧縮機は、機器作動用等の圧縮空気をつくるためのものである。 使 用 条 件 空気		
		設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒ 無		
備 考	・ 製品重量記載のこと。 ・ 製作期間を明記すること。		作成 担当 照査 部 課

見 積 依 頼 仕 様 書				
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-8	
機 器 名 称	除湿機		数 量	1 台
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など			
仕 様	(1) 型 式 冷凍式 (2) 空 気 量 75L/min (20℃、101.3kPa(1atm)) (3) 常用使用圧力 0.93MPa (4) 電 動 機 出 力 3φ×0.2kW×200V×60Hz (5) 特 記 事 項 冷却方式：空冷式			
	既設空気圧縮機 2 台のうち、1 台は更新直後であるため、今回更新しない。 そのため、空気圧縮機 1 台と除湿器 1 台を更新し、既設空気圧縮機 1 台と接続する。			
構 成 品	熱交換器シェル材質 SUS304			
標準付属品	(1) 蒸発圧力計又は露点表示器 1 式 (2) オートドレントラップ 1 式 (3) 取付ボルト・ナット 1 式 (4) アフタークーラ (必要な場合) 1 台			
使 用 条 件	使 用 目 的 除湿機は、計装用圧縮空気中の水分を除去し、乾燥空気とするためのものである。			
	使 用 条 件 空気		設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) 無			
メーカー指定	有 無			
工 場 検 査	社内、立会、公的機関			
別 添 事 項	有 無			
備 考	・製品重量記載のこと。 ・製作期間を明記すること。			
			作成	担当 照査
			部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書				
見 積 り 番 号			整 理 番 号	PM-9
機 器 名 称	No. 1, 2 薬品溶解タンク アスベスト処分費		数 量	2 基
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など			
仕 様	本見積は、アスベスト含有機器の処分費（準備費のみ）を対象とする。 (1) 対象機器 No. 1, 2 薬品溶解タンク (円筒型鋼板製攪拌機付 1.2m³) アスベスト含有部：パッキン 対象機器は、参考図のパッキン周辺を切断、分解して有価物とアスベストを含むパッキンを仕分けして産廃処分する。			
使 用 条 件	使 用 目 的	薬品溶解		
	使 用 条 件	薬品（高分子）	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 （別紙 参考図） 無 			
備 考	・準備費は、撤去した石綿含有機器の簡易養生及び運搬、処分(産業廃棄物)に要する費用であり、機器ごとに 1 台当たりの単価で提示願います。また、中央浄化センターから処分場までの運搬費を含めてください。 ・石綿含有物は、対象機器に内包されており分解しない限り飛散しないため、撤去作業に特別な配慮は不要とし、安全費は対象外とします。 ・設計技術費、一般管理費等は含めないでください。			

見 積 依 頼 仕 様 書				
見 積 り 番 号			整 理 番 号	PM-10
機 器 名 称	No. 1, 2 薬品溶解タンク攪拌機 アスベスト処分費		数 量	2 台
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など			
仕 様	本見積は、アスベスト含有機器の処分費（準備費のみ）を対象とする。 (1) 対象機器 No. 1, 2 薬品溶解タンク攪拌機 (プロペラ式攪拌機 0.75kW) アスベスト含有部：パッキン 対象機器は、参考図のパッキン周辺を切断、分解して有価物とアスベストを含むパッキンを仕分けして産廃処分する。			
使 用 条 件	使 用 目 的	薬品溶解		
	使 用 条 件	薬品（高分子）	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) 無 			
	備 考	・ 準備費は、撤去した石綿含有機器の簡易養生及び運搬、処分(産業廃棄物)に要する費用であり、機器ごとに 1 台当たりの単価で提示願います。また、中央浄化センターから処分場までの運搬費を含めてください。 ・ 石綿含有物は、対象機器に内包されており分解しない限り飛散しないため、撤去作業に特別な配慮は不要とし、安全費は対象外とします。 ・ 設計技術費、一般管理費等は含めないでください。		

見 積 依 頼 仕 様 書																																																																														
見 積 り 番 号				整 理 番 号		PM-11																																																																								
機 器 名 称		液面計 アスベスト処分費			数 量	2 台																																																																								
準 拠 規 格		JIS, JEC, JEM など																																																																												
仕 様		本見積は、アスベスト含有機器の処分費（準備費のみ）を対象とする。 (1) 対象機器 No. 1, 2 薬品溶解タンク <u>液面計</u> (チューブラ式液面計) アスベスト含有部：パッキン 対象機器は、参考図のパッキン周辺を切断、分解して有価物とアスベストを含むパッキン等を仕分けせず、<u>機器一体で産廃処分する。</u>																																																																												
使 用 条 件		使 用 目 的	薬品溶解																																																																											
		使 用 条 件	薬品（高分子）		設置場所	屋外 ・ 屋内																																																																								
有 (別紙 参考図) 無																																																																														
参 考 図		<table border="1" style="margin-top: 10px; margin-bottom: 10px;"> <caption>フランジ寸法表</caption> <thead> <tr> <th>寸法標準</th> <th>D</th> <th>F</th> <th>G</th> <th>H</th> <th>K</th> <th>L</th> <th>M</th> <th>N</th> <th>P</th> <th>Q</th> <th>R</th> <th>S</th> <th>T</th> <th>U</th> <th>V</th> <th>W</th> <th>X</th> <th>Y</th> <th>Z</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20A JIS10RF</td> <td>100</td> <td>18</td> <td>58</td> <td>1</td> <td>75</td> <td>4</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 予備品 ⑤ ケーブル・⑩ グラシカルパッキン (100%付) 注 記 フェノール樹脂溶媒 : 25g/g (110-513) <table border="1" style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>TUP-5B</td> <td>1250</td> <td>1110</td> <td>1190</td> <td>20 JIS10RF</td> <td>3</td> <td>ボリフ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>TUP-5B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20 JIS10RF</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>TUP-5B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20 JIS10RF</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>TUP-5B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20 JIS10RF</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					寸法標準	D	F	G	H	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	20A JIS10RF	100	18	58	1	75	4	15													TUP-5B	1250	1110	1190	20 JIS10RF	3	ボリフ	2	TUP-5B				20 JIS10RF	3			TUP-5B				20 JIS10RF	3			TUP-5B				20 JIS10RF	3		
寸法標準	D	F	G	H	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z																																																											
20A JIS10RF	100	18	58	1	75	4	15																																																																							
TUP-5B	1250	1110	1190	20 JIS10RF	3	ボリフ	2																																																																							
TUP-5B				20 JIS10RF	3																																																																									
TUP-5B				20 JIS10RF	3																																																																									
TUP-5B				20 JIS10RF	3																																																																									
備 考		・準備費は、撤去した石綿含有機器の簡易養生及び運搬、処分(産業廃棄物)に要する費用であり、機器ごとに1台当たりの単価で提示願います。また、中央浄化センターから処分場までの運搬費を含めてください。 ・石綿含有物は、対象機器に内包されており分解しない限り飛散しないため、撤去作業に特別な配慮は不要とし、安全費は対象外とします。 ・設計技術費、一般管理費等は含めないでください。																																																																												

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-12
機 器 名 称	【仮設】粉体供給設備（レンタル）	数 量	1 基
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 形 式 粉体供給装置（薬品溶解装置）、現場操作盤 ※レンタル (2) 薬品溶解槽容量 >1m ³ (3) 工 事 期 間 5 ヶ月（目安） (4) 設 置 場 所 汚泥処理棟 1 階 設備の搬出入、電気ケーブル配線（目安：10m）、 試運転、運転説明等含む一式 (4) 消 耗 品 高分子凝集剤（カチオン）、電力、用水は町支給 (5) 操 作 方 法 現場操作盤（仮設） ※手動操作 (6) 備 考 添付の参考図を参照のこと。 搬出入方法を十分考慮すること。		
使 用 条 件	使用目的 薬品供給設備（本設）工事中の仮設 使用条件 薬品（高分子）		
		設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ （別紙 参考図） 無		
メーカー指定	有 ☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒ 無		
備 考	・ 製品重量記載のこと。		
		作成 担当 照査	
		部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号		整 理 番 号	PM-13
機 器 名 称	【仮設】 No.1 ケーキ移送コンベヤ（レンタル） 【仮設】 No.2 ケーキ移送コンベヤ（レンタル）	数 量	2 基
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	(1) 形 式 ベルトコンベヤ：巾 350mm×機長 3m 相当×1 基 ベルトコンベヤ：巾 350mm×機長 5m 相当×1 基 ※レンタル ※ホッパ開口 2m×2m での搬入可とすること (2) 電 動 機 出 力 1kW（参考） (3) 工 事 期 間 5 ヶ月（目安） (4) 設 置 場 所 汚泥処理棟 2 階 設備の搬出入、電気ケーブル配線（目安：15m）、 試運転、運転説明等含む一式 (4) 消 耗 品 電力は町支給 (5) 操 作 方 法 現場操作盤（仮設） ※手動操作 (6) 備 考 添付の参考図を参照のこと。 搬出入方法を十分考慮すること。		
使 用 条 件	使 用 目 的 ケーキ移送コンベヤ、ケーキ貯留ホッパ（本設）工事中 の仮設 使 用 条 件 脱水ケーキ		
		設 置 場 所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ （別紙 参考図） 無		
メーカー指定	有 ☐ 無 ☒		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☐ 無 ☒		
備 考	・製品重量記載のこと。		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書				
見 積 り 番 号			整 理 番 号	PM-14
機 器 名 称	材 料		数 量	1 台あたり単価
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など			
仕 様	仕切弁 手動外ねじ式 65A FC/SUS (1 台の単価) スイング式逆止弁 塩ビ 40A PVC (1 台の単価) ダイヤフラム弁 塩ビ 25A PVC (1 台の単価) ダイヤフラム弁 塩ビ 40A PVC (1 台の単価) 電動ダイヤフラム弁 塩ビ 25A PVC (1 台の単価) 鋼製加工品 (SS400) 容易 (kg あたりの単価) 飛散防止シート 仮設用ブルーシート (m ² あたりの単価) ホース 仮設用フレキシブルホース 25A (m あたりの単価) ダイヤフラム弁 仮設用塩ビ 25A PVC (1 台の単価) ダイヤフラム弁 仮設用塩ビ 40A PVC (1 台の単価)			
使 用 条 件	使 用 目 的	脱水処理設備補機の更新工事		
	使 用 条 件	脱水ケーキ、薬品	設置場所	屋外 ・ ☐ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐ 無			
メーカー指定	有 ☐ 無			
工 場 検 査	社内、立会、公的機関			
別 添 事 項	有 ☐ 無			
備 考	・ 材料単価見積とする。			
			作成	担当 照査
			部	課

令和7年度

永平寺町中央浄化センター電気設備更新工事

見積依頼仕様書
(電気)

令和7年 月

福井県永平寺町
上下水道課

(1) 一般見積り条件

1. 見積り目的	永平寺町中央浄化センター 電気設備更新工事積算用
2. 見積り範囲	見積り依頼書のとおり。
3. 支払い条件	永平寺町契約規定による。
4. 受渡し条件	機器は工場渡し、材料は現場渡しとする。
5. 輸送費	含まない。
6. 納期	契約後 約 ヶ月
7. 見積り有効期間	提出後 約 ヶ月
8. 見積り提出部数 及び提出書類	各 2 部
9. 保証	完成後 1 ヶ年とする。（但し、瑕疵については、建設工事 請負契約約款による。）
10. 試運転	有り（但し、見積り価格には含まない。）
11. 摘要	機器又は材料等の製作者の一般管理費を含んだ販売価格。 但しプラント設備業者で当該機器の製造業者でない場合 は、当該プラント設備業者の一般管理費等は含めない。 消費税相当額は含まない。 重量を明記の事。 貴工場の住所を明記の事。

見積項目一覧表

No.	名 称	数量	単位
1	汚泥脱水設備コントロールセンタ (CC-FN)	1	式
2	汚泥脱水設備補助継電器盤 (RY-FN)	1	式
3	消化汚泥貯留タンク攪拌機現場操作盤 (LP-F1N)	1	面
4	汚泥供給ポンプ現場操作盤 (LP-F3N)	1	面
5	薬品供給ポンプ現場操作盤 (LP-F4N)	1	面
6	No.1 薬品溶解設備現場操作盤 (LP-F5-1N)	1	面
7	No.2 薬品東海設備現場操作盤 (LP-F5-2N)	1	面
)	ろ布洗浄水ポンプ現場操作盤 (LP-F8N)	1	面
9	空気圧縮機現場操作盤 (LP-F10N)	1	面
10	No.1 脱水機設備現場操作盤 (LP-F11-1N)	1	面
11	No.2 脱水機設備現場操作盤 (LP-F11-2N)	1	面
12	ケーキ移送コンベヤ現場操作盤 (LP-F12)	1	面
13	消化汚泥貯留タンク液位計	1	式
14	No.1 汚泥供給量計	1	式
15	No.2 汚泥供給量計	1	式
16	供給汚泥濃度計	1	式
17	No.1 薬品供給量計	1	式
18	No.2 薬品供給量計	1	式
19	計装変換器盤 (KP-1～3) 機能増設	1	式
20	コントローラ・テレメータ盤 (SQC/TM-1) 機能増設	1	式
21	LCD 監視制御装置 (LCD-1) 機能増設	1	式
22	テレメータ盤 (TM-E-1) (五領川浄化センター設置) 機能増設	1	式
23	ルータ収納盤 (TM-E-2) (五領川浄化センター設置) 機能増設	1	式
24	制御バス接続装置 (C-IF-01) (五領川浄化センター設置) 機能増設	1	式
25	LCD 監視制御装置 (LCD-01/02) (五領川浄化センター設置) 機能増設	1	式
26	仮設動力制御盤 (LBZ-F)	1	式
27	鋼材加工	1	kg
28	防火区画処理補修	1	箇所
29	防塵塗装	1	m ²
30	ケーブル端末処理材	1	組
31	プレハブ小屋撤去	1	式

見積依頼仕様書			
見積り番号	1	整理番号	PE-1
機器名称	汚泥脱水設備コントロールセンタ (CC-FN)	数量	1 式
準拠規格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 (3 面) 2. 形 式 屋内用単位閉鎖ユニットおよび段積 自立配電盤(両面) 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 定格電圧 AC210V 5. 制御電源 AC100V 6. 定格電流 遮断電流 25kA 以上 水平母線 600A 以上 垂直母線 400A 以上 7. その他必要なもの 1 式		
主要部材質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☐ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☐ 無		
工 場 検 査	☒ 社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☐ 無		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	2	整 理 番 号	PE-2
機 器 名 称	汚泥脱水設備補助継電器盤（RY-FN）	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式（4 面） 2. 形 式 鋼板製屋内自立形前後面扉 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 補助継電器 1 式 (2) 限時継電器 1 式 (3) 2 4 H タイムスイッチ 1 式 (4) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設 置 場 所	屋 外 ・ ☒ 屋 内
参 考 図	☒ （別紙 参考図） 無		
メーカ-指定	有 ☒ 無		
工 場 検 査	☒ 社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒ 無		
備 考	・ 機器重量記載		
	作成	担当	照査
	部		課

見積依頼仕様書

見 積 り 番 号	3	整 理 番 号	PE-3
機 器 名 称	消化汚泥貯留タンク攪拌機現場操作盤（LP-F1N）	数 量	1 面
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 面 2. 形 式 屋内壁掛形 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 電流計 1 個 (2) 故障表示灯 1 式 (3) 切替スイッチ 1 個 (4) 操作スイッチ 1 個 (5) 状態信号灯 1 式 (6) 押釦スイッチ 2 個 (7) スペースヒータ 1 式 (8) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用 使 用 条 件 標準 設置場所 屋外 ・ 屋内		
参 考 図	有 （別紙 参考図） 無		
メーカー指定	有 無		
工 場 検 査	社内 、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部 課	

見積依頼仕様書

見積り番号	4	整理番号	PE-4
機器名称	汚泥供給ポンプ現場操作盤 (LP-F3N)	数量	1面
準拠規格	JIS, JEC, JEM など		
仕様	1. 数量 1面 2. 形式 屋内壁掛形 3. 寸法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕様 (1) 電流計 2個 (2) 故障表示灯 1式 (3) 切替スイッチ 2個 (4) 操作スイッチ 2個 (5) 状態信号灯 1式 (6) 押釦スイッチ 2個 (7) スペースヒータ 1式 (8) その他必要なもの 1式		
主要部材質			
付属品			
使用条件	使用目的 運転操作設備用 使用条件 標準		
		設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参考図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☐ 無 ☒		
工場検査	☒ 社内、立会、公的機関		
別添事項	有 ☐ 無 ☒		
備考	・ 機器重量記載		
			作成 担当 照査
			部 課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	5	整 理 番 号	PE-5
機 器 名 称	薬品供給ポンプ現場操作盤 (LP-F4N)	数 量	1 面
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 面 2. 形 式 屋内スタンド形 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 電流計 2 個 (2) 故障表示灯 1 式 (3) 切替スイッチ 2 個 (4) 操作スイッチ 2 個 (5) 状態信号灯 1 式 (6) 押釦スイッチ 2 個 (7) スペースヒータ 1 式 (8) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 ☒		
工 場 検 査	☒ 社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部	課

見積依頼仕様書

見 積 り 番 号	6	整 理 番 号	PE-6
機 器 名 称	No.1 薬品溶解設備現場操作盤 (LP-F5-1N)	数 量	1 面
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 面 2. 形 式 屋内スタンド形 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 電流計 2 個 (2) 故障表示灯 1 式 (3) 切替スイッチ 1 個 (4) 操作スイッチ 6 個 (5) 状態信号灯 1 式 (6) 押釦スイッチ 2 個 (7) スペースヒータ 1 式 (8) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用 使 用 条 件 標準 設置場所 屋外 ・ 屋内		
参 考 図	有 (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 無		
工 場 検 査	社内 、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
			部 課

見積依頼仕様書

見 積 り 番 号	7	整 理 番 号	PE-7
機 器 名 称	No.2 薬品溶解設備現場操作盤 (LP-F5-2N)	数 量	1 面
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 面 2. 形 式 屋内スタンド形 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 電流計 2 個 (2) 故障表示灯 1 式 (3) 切替スイッチ 1 個 (4) 操作スイッチ 6 個 (5) 状態信号灯 1 式 (6) 押釦スイッチ 2 個 (7) スペースヒータ 1 式 (8) その他必要なもの 1 式		
主要部材質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 無		
工 場 検 査	社内 、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	・ 機器重量記載		
	作成	担当	照査
	部		課

見積依頼仕様書

見積り番号	8	整理番号	PE-8
機器名称	ろ布洗浄水ポンプ現場操作盤 (LP-F8N)	数量	1面
準拠規格	JIS, JEC, JEM など		
仕様	1. 数量 1面 2. 形式 屋内壁掛形 3. 寸法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕様 (1) 電流計 2個 (2) 故障表示灯 1式 (3) 切替スイッチ 2個 (4) 操作スイッチ 2個 (5) 状態信号灯 1式 (6) 押釦スイッチ 2個 (7) スペースヒータ 1式 (8) その他必要なもの 1式		
主要部材質			
付属品			
使用条件	使用目的 運転操作設備用		
	使用条件 標準	設置場所	屋外 ・ 屋内
参考図	有 (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	有 無		
工場検査	社内 、立会、公的機関		
別添事項	有 無		
備考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部 課	

見積依頼仕様書

見積り番号	9	整理番号	PE-9
機器名称	空気圧縮機現場操作盤（LP-F10N）	数量	1面
準拠規格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1面 2. 形 式 屋内壁掛形 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 電流計 2個 (2) 故障表示灯 1式 (3) 切替スイッチ 1個 (4) 操作スイッチ 2個 (5) 状態信号灯 1式 (6) 押釦スイッチ 2個 (7) スペースヒータ 1式 (8) その他必要なもの 1式		
主要部材質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用 使 用 条 件 標準 設置場所 屋外 ・ 屋内		
参 考 図	有 （別紙 参考図） 無		
メーカー指定	有 無		
工 場 検 査	社内 、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部	課

見積依頼仕様書

見 積 依 頼 仕 様 書				
見 積 り 番 号	10		整 理 番 号	PE-10
機 器 名 称	No.1 脱水機設備現場操作盤（LP-F11-1N）		数 量	1 面
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など			
仕 様	1. 数 量 1 面			
	2. 形 式 屋内自立形			
	3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する			
	4. 仕 様			
	（1）電流計			

見積依頼仕様書

見積り番号	11	整理番号	PE-11
機器名称	No.2脱水機設備現場操作盤（LP-F11-2N）	数量	1面
準拠規格	JIS, JEC, JEM など		
仕様	1. 数 量	1面	
	2. 形 式	屋内自立形	
	3. 寸 法	設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する	
	4. 仕 様		
	(1) 電流計	3個	
	(2) 流量指示計	2個	
	(3) 濃度指示計	1個	
	(4) 故障表示灯	1式	
	(5) 状態表示灯	1式	
	(6) 切替スイッチ	2個	
	(7) 操作スイッチ	9個	
	(8) 状態信号灯	1式	
	(9) 押釦スイッチ	3個	
	(10) スペースヒータ	1式	
	(11) 盤内照明	1式	
	(12) その他必要なもの	1式	
主要部材質			
付 属 品			
使用条件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ （別紙 参考図） 無		
メーカー指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別添事項	有 ☒		
備 考	・機器重量記載		
		作成	担当 照査
			部 課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	12	整 理 番 号	PE-12
機 器 名 称	ケーキ移送コンベヤ現場操作盤 (LP-F12)	数 量	1 面
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 面 2. 形 式 屋内壁掛形 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 故障表示灯 1 式 (2) 切替スイッチ 2 個 (3) 操作スイッチ 2 個 (4) 状態信号灯 1 式 (5) 押釦スイッチ 2 個 (6) スペースヒータ 1 式 (7) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカ-指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	13	整 理 番 号	PE-13
機 器 名 称	消化汚泥貯留タンク液位計	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 形 式 圧力式液位伝送器 3. 仕 様 (1) 検出器 1 台 測定対象 消化汚泥 (2) フランジバルブ 1 台 (3) 洗浄短管 1 台 (4) 専用ケーブル 1 式 (5) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカ-指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	14	整 理 番 号	PE-14
機 器 名 称	No. 1 汚泥供給量計	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 形 式 電磁式 3. 仕 様 (1) 検出器 1 台 口径 50A 測定対象 消化汚泥 (2) 同上用変換器 1 台 パルス出力機能付 (3) ルーズ短管 1 台 (4) 専用ケーブル 1 式 (5) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカ-指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成 担当 照査	
		部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	15	整 理 番 号	PE-15
機 器 名 称	No. 2 汚泥供給量計	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 形 式 電磁式 3. 仕 様 (1) 検出器 1 台 口径 50A 測定対象 消化汚泥 (2) 同上用変換器 1 台 パルス出力機能付 (3) ルーズ短管 1 台 (4) 専用ケーブル 1 式 (5) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 運転操作設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	16	整 理 番 号	PE-16
機 器 名 称	供給汚泥濃度計	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 形 式 光学式（レーザー光式） 3. 仕 様 （1）検出器 1 台 口径 100A 測定対象 消化汚泥 （2）ルーズ短管 1 台 （3）専用ケーブル 1 式 （4）その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 計装設備用		
	使 用 条 件 標 準	設 置 場 所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ （別紙 参考図） 無		
メーカ-指定	有 ☐ 無 ☒		
工 場 検 査	☒ 社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☐ 無 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	17	整 理 番 号	PE-17
機 器 名 称	No.1 薬品供給量計	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 形 式 電磁式 3. 仕 様 (1) 検出器 1 台 口径 15A 測定対象 薬品 (2) 同上用変換器 1 台 パルス出力機能付 (3) ルーズ短管 1 台 (4) 専用ケーブル 1 式 (5) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 監視制御設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカ-指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
	作成	担当	照査
	部		課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	18	整 理 番 号	PE-18
機 器 名 称	No.2 薬品供給量計	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 形 式 電磁式 3. 仕 様 (1) 検出器 1 台 口径 15A 測定対象 薬品 (2) 同上用変換器 1 台 パルス出力機能付 (3) ルーズ短管 1 台 (4) 専用ケーブル 1 式 (5) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 監視制御設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカー指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	19	整 理 番 号	PE-19
機 器 名 称	計装変換器盤（KP-1～3）機能増設	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 機能増設概要 （1）計装品の更新に伴い、必要な機能増設を行う。 3. 機能増設詳細 （1）補助継電器 1 式 （2）電源用アレスタ 1 式 （3）信号用アレスタ 1 式 （4）不要器具の取外し 1 式 （アレスタ、精密抵抗、手動設定器、演算変換器等） （5）その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 監視制御設備用		
	使 用 条 件 標準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ （別紙 参考図） 無		
メーカ－指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		
備 考	・ 機器重量記載		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	20	整 理 番 号	PE-20
機 器 名 称	コントローラ・テレメータ盤 (SQC/TM-1) 機能増設	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式		
	2. 機能増設概要 (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。 (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。		
	3. 機能増設詳細		
	(1) データ伝送機能構築	IP-VPN 回線	
	(2) I/F カード交換	1 式	
	(3) ONU (NTT 支給品)	1 式	
	(4) ルータ	1 式	
	(5) S/W 機能増設	1 式	
	(6) 入出力点数追加	DI	約 98 点
		PI	約 2 点
	(7) 入出力点数削除	DI	約 21 点
	(8) 伝送点数追加 (上位)	DI	約 98 点
	(9) 伝送点数削除 (上位)	DI	約 21 点
	(10) 伝送点数追加 (テレメータ)	DI	約 3 点
	(11) 盤銘板交換	1 式	
		交換後：コントローラ・テレメータ盤 1	
	(12) その他必要なもの	1 式	
	4. その他		
	(1) 盤内実装器具の追加に伴い、1 面増設する。増設盤は「コントローラ・テレメータ盤 2 (SQC-TM-2)」とする。		
	主 要 部 材 質		
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 監視制御設備用		
	使 用 条 件 標 準	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	☒ (別紙 参考図) 無		
メーカ-指定	☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 ☒		

備 考	・ 機器重量記載			
		作成	担当	照査
		部		課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	21	整 理 番 号	PE-21
機 器 名 称	LCD 監視制御装置 (LCD-1) 機能増設	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式		
	2. 機能増設概要 (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。 (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。		
仕 様	3. 機能増設詳細		
	(1) 処理点数追加	DI	約 98 点
		PI	約 2 点
	(2) 処理点数削除	DI	約 21 点
	(3) 追加画面枚数		約 4 枚
	(4) 削除画面枚数		約 4 枚
	(5) 改修帳票枚数		約 6 枚 (日報・月報・年報：各 2 枚)
	(6) その他必要なもの		1 式
主要部材質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 -		
	使 用 条 件	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐ 無 ☐		
メーカー指定	有 ☐ 無 ☐		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考			
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	22	整 理 番 号	PE-22
機 器 名 称	テレメータ盤 (TM-E-1) 機能増設 (五領川浄化センター設置)	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 機能増設概要 (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。 (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。 3. 機能増設詳細 (1) I/F カード交換 1 式 (2) S/W 機能増設 1 式 (3) 伝送点数追加 (テレメータ) DI 約 3 点 (4) 伝送点数追加 (FL-net) DI 約 3 点 (5) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 -		
	使 用 条 件	設 置 場 所	屋 外 ・ 屋 内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐ 無 ☐		
メーカ-指定	有 ☐ 無 ☐		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考			
		作成 担当 照査	
		部 課	

見積依頼仕様書			
見積り番号	23	整理番号	PE-23
機器名称	ルータ収納盤 (TM-E-2) (五領川浄化センター設置)	数量	1 式
準拠規格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 面 2. 形 式 屋内壁掛形 3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する 4. 仕 様 (1) 配線用遮断器 2P 50AF 1 個 (2) ONU (NTT 支給品) 1 式 (3) ルータ 1 式 (4) その他必要なもの 1 式		
主要部材質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 -		
	使 用 条 件	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐ 無		
メーカー指定	有 ☐ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考			
		作成 担当 照査	
		部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	24	整 理 番 号	PE-24
機 器 名 称	制御バス接続装置 (C-IF-01) 機能増設 (五領川浄化センター設置)	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 機能増設概要 (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。 (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。 3. 機能増設詳細 (1) 伝送点数追加 (FL-net) DI 約 3 点 (2) 伝送点数追加 (上位) DI 約 3 点 (3) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 -		
	使 用 条 件	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐		
メーカ-指定	有 ☐		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考			
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	25	整 理 番 号	PE-25
機 器 名 称	LCD 監視制御装置 (LCD-01/02) 機能増設 (五領川浄化センター設置)	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 式 2. 機能増設概要 (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。 (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。 3. 機能増設詳細 (1) 処理点数追加 DI 約 3 点 (2) 改修画面枚数 約 4 枚 (3) その他必要なもの 1 式		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 -		
	使 用 条 件	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐ 無		
メーカ-指定	有 ☐ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考			
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	26	整 理 番 号	PE-26
機 器 名 称	仮設動力制御盤 (LBZ-F)	数 量	1 式
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 数 量 1 面		
	2. 形 式 屋外自立形		
	3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する		
	4. 仕 様		
	(1) 5.5kW 用 非可逆回路 1 台		
	(2) 3.7kW 用 非可逆回路 1 台		
	(3) 1.5kW 用 非可逆回路 3 台		
	(4) 0.4kW 用 非可逆回路 2 台		
	(5) 0.1kW 用 可逆回路 2 台		
	(6) 配線用遮断器 3P 100AF 1 個		
	(7) 配線用遮断器 3P 50AF 1 個		
	(8) 配線用遮断器 2P 50AF 2 個		
	(9) 漏電用遮断器 3P 50AF 9 個		
	(10) 単相変圧器 1kVA 200/100V 1 台		
	(11) 2 E リレー 1 個		
	(12) 計器用変流器 7 個		
	(13) 補助継電器 1 式		
	(14) 限時継電器 1 式		
	(15) 電流計 7 個		
	(16) 流量指示計 2 個		
	(17) 濃度指示計 1 個		
	(18) 運転時間計 4 個		
	(19) 操作スイッチ 9 個		
	(20) 故障表示灯 1 式		
	(21) 状態信号灯 1 式		
(22) 押釦スイッチ 2 個			
(23) スペースヒータ 1 式			
(24) その他必要なもの 1 式			
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 -		
	使 用 条 件	設置場所	屋外 ・ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐		
メーカ-指定	有 ☐		

工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考			
		作成	担当 照査
		部	課

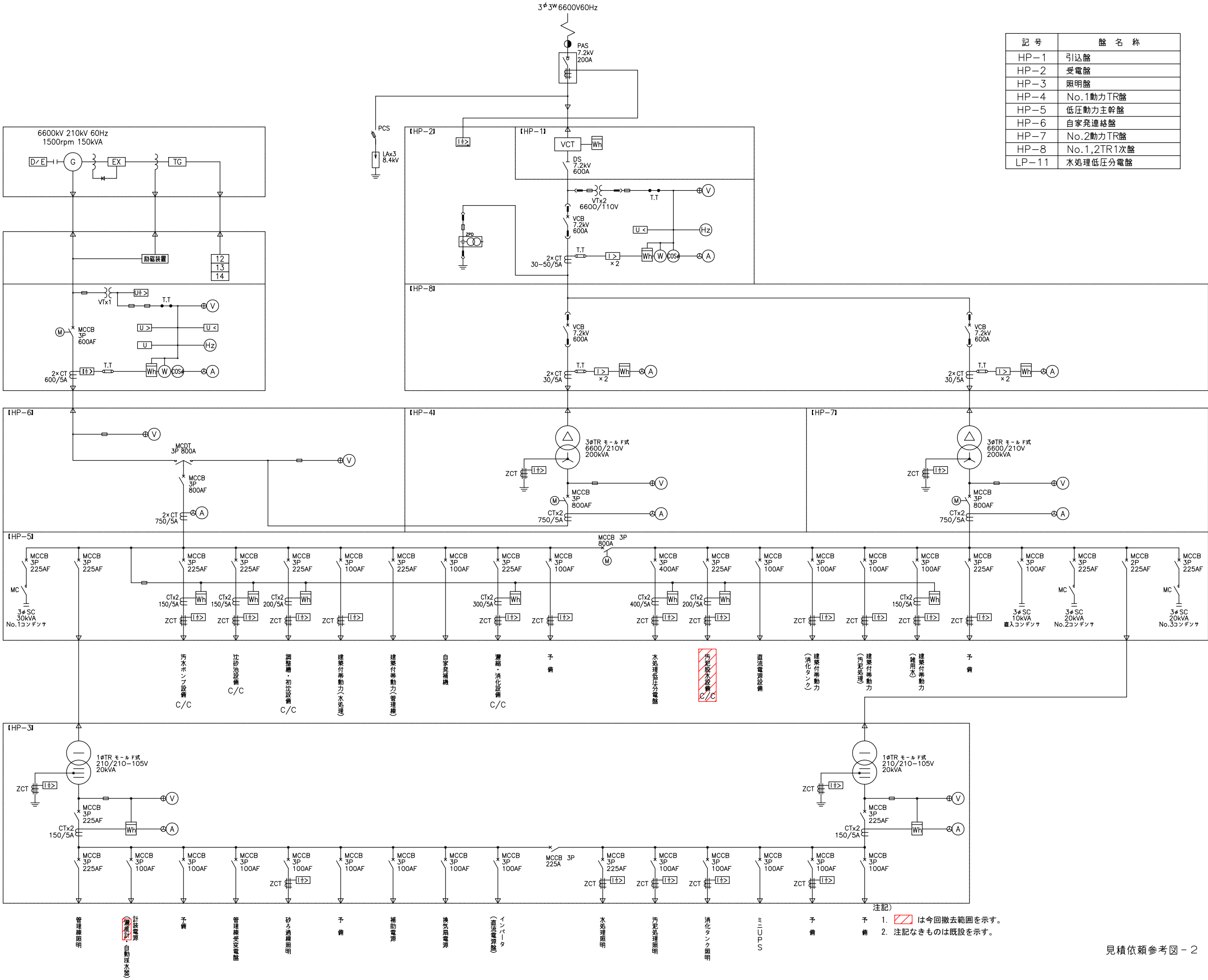
見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	27	整 理 番 号	PE-27
機 器 名 称	鋼材加工	数 量	1 k g あたり
準 拠 規 格			
仕 様	1. 種 類 鋼材加工（SS400 塗装費、据付費含） 2. 用 途 盤類架台、ピット蓋加工用等		
主 要 部 材 質	日本下水道事業団 「電気設備工事一般仕様書」による		
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 機器据付用、ピット蓋加工用		
	使 用 条 件 常時使用状態	設 置 場 所	屋 外 ・ ☒ 屋 内
参 考 図	有（別紙 参考図） ☐ 無		
メーカ-指定	有 ☐ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	上記鋼材加工 1 k g 当たりの複合単価を 記入のこと		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	28	整 理 番 号	PE-28
機 器 名 称	防火区画処理補修	数 量	1 箇所あたり
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 用 途 配線布設時既設防火区画補修 2. 仕 様 3500W×500D×200T（床面） 1500W×400H×200T（壁面） 600W×400H×300T（壁面）		
主 要 部 材 質	日本下水道事業団 「電気設備工事一般仕様書」による		
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 防火区画処理補修		
	使 用 条 件 常時使用状態	設置場所	屋外 ・ ☒ 屋内
参 考 図	有（別紙 参考図） ☒ 無		
メーカー指定	有 ☒ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	上記各防火区画補修 1 箇所当たりの複合単価 を記入のこと		
		作成	担当 照査
		部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	29	整 理 番 号	PE-29
機 器 名 称	防塵塗装	数 量	1 m ² あたり
準 拠 規 格			
仕 様	1. 用 途 ピット築造等の防塵塗装 2. 仕 様 床面塗料 塗回数 2 回、塗厚 0.2[mm] 以上（プライマリー塗り含む。） （1） コンクリート面は、不陸、クラック、穴等の補修及び付着物、油類等の除去を行う。 （2） 塗装色は、請負者が準備した色見本等により、監督職員が指示する。		
主 要 部 材 質	日本下水道事業団 「電気設備工事一般仕様書」による		
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 電気室ピット築造用		
	使 用 条 件 常時使用状態	設置場所	屋外 ・ ☐ 屋内
参 考 図	有（別紙 参考図） ☐ 無		
メーカー指定	有 ☐ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	上記防塵塗装 1 m ² 当たりの複合単価を記入のこと		
		作成	担当 照査
		部	課

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	30	整 理 番 号	PE-30
機 器 名 称	ケーブル端末処理材	数 量	1 組あたり
準 拠 規 格	JIS, JEC, JEM など		
仕 様	1. 用 途 ケーブル等の接続のための端末処理材 2. 種 類 下記、端末処理材の屋内用 ・ 600V CET 100mm2 用 ・ 600V CE 14mm2-3c 用		
主 要 部 材 質	日本下水道事業団 「電気設備工事一般仕様書」による		
付 属 品	標準品一式		
使 用 条 件	使 用 目 的 工事配線用		
	使 用 条 件 常時使用状態	設置場所	屋外 ・ ☐ 屋内
参 考 図	有 (別紙 参考図) ☐ 無		
メーカー指定	有 ☐ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	上記ケーブル端末処理材の 1 組当たりの 単価を記入のこと		
		作成	担当 照査
		部 課	

見 積 依 頼 仕 様 書			
見 積 り 番 号	31	整 理 番 号	PE-31
機 器 名 称	プレハブ小屋撤去	数 量	1 式あたり
準 拠 規 格			
仕 様	1. 用 途 プレハブ小屋撤去 2. 仕 様 W2100×D1300×H2600		
主 要 部 材 質			
付 属 品			
使 用 条 件	使 用 目 的 機器据付用		
	使 用 条 件 常時使用状態	設置場所	屋外 ・ ☐ 屋内
参 考 図	有（別紙 参考図） ☐ 無		
メーカー指定	有 ☐ 無		
工 場 検 査	社内、立会、公的機関		
別 添 事 項	有 無		
備 考	上記プレハブ小屋撤去 1 式当たりの複合単価 を記入のこと		
		作成	担当 照査
		部 課	



記号	盤名称
HP-1	引込盤
HP-2	受電盤
HP-3	照明盤
HP-4	No.1動力TR盤
HP-5	低圧動力主幹盤
HP-6	自家発連絡盤
HP-7	No.2動力TR盤
HP-8	No.1,2TR1次盤
LP-11	水処理低圧分電盤

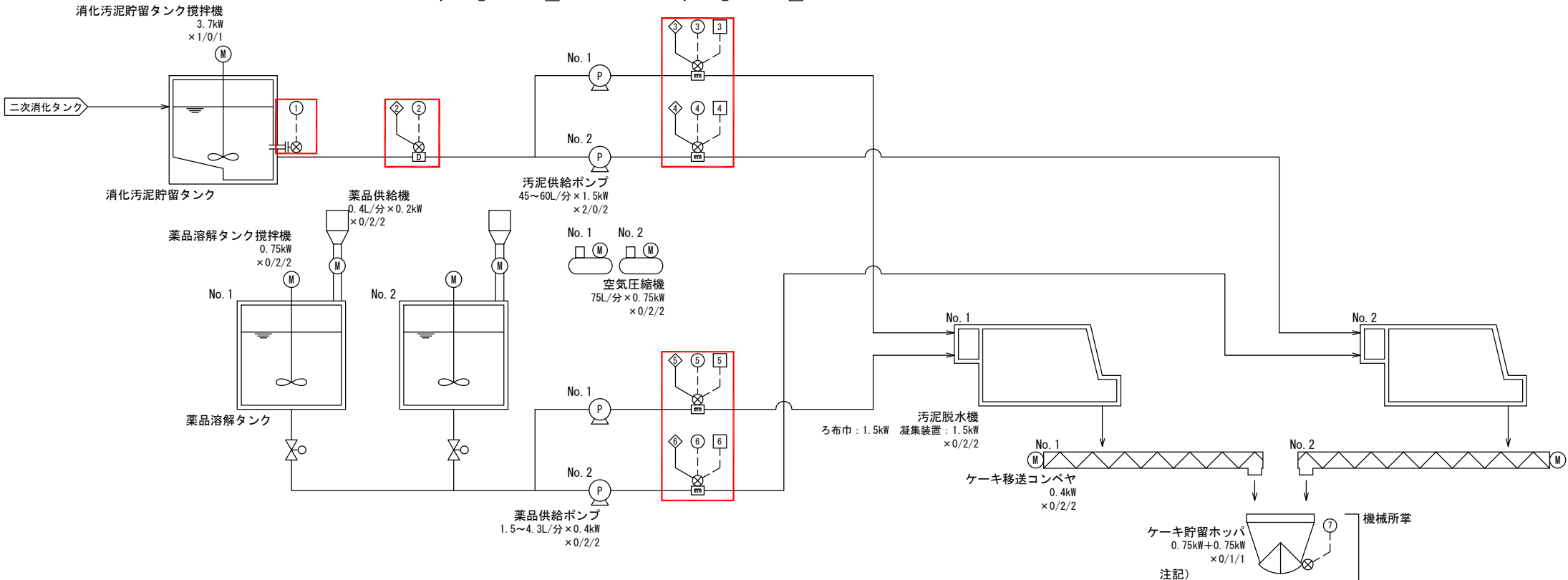
凡例	凡例
記号	名称
VCB	真空遮断器
MCCB	配線用遮断器
COSφ	力率計
TR	変圧器
VT	計器用変圧器
CT	計器用変流器
ZCT	零相変流器
ZPD	コンデンサ形計器用変圧器
SC	進相コンデンサ
W	電力計
Wh	電力量計
V	電圧計
⊕	同上用切換スイッチ
A	電流計
⊙	同上用切換スイッチ
H2	周波数計
U	電圧継電器
U>	過電圧継電器
U<	不足電圧継電器
I>	過電流継電器
I+>	地絡過電圧継電器
I+>	地絡過電流継電器
2E	過負荷・欠相継電器

見積依頼参考図-2

全体単線結線図 (撤去)

計測項目		消化汚泥 貯留タンク液位	供給汚泥濃度	N o. □ 汚泥供給量	積算	N o. □ 薬品供給量	積算	ケー キ 貯留ホッパ重量
計測レンジ		0～3 m	0～5 %	0～6 m³/h		0～0.3 m³/h		0～5 t
数量	既設	0	0	0		0		0
	今回	1	1	2		2		1
全体	帳票	1	1	2		2		1
	LCD	○	○	○	○	○	○	○
管理棟中央監視室	SQC/TM -1, 2	○	○	○	○	○	○	○
	計装変換器盤							
現場								

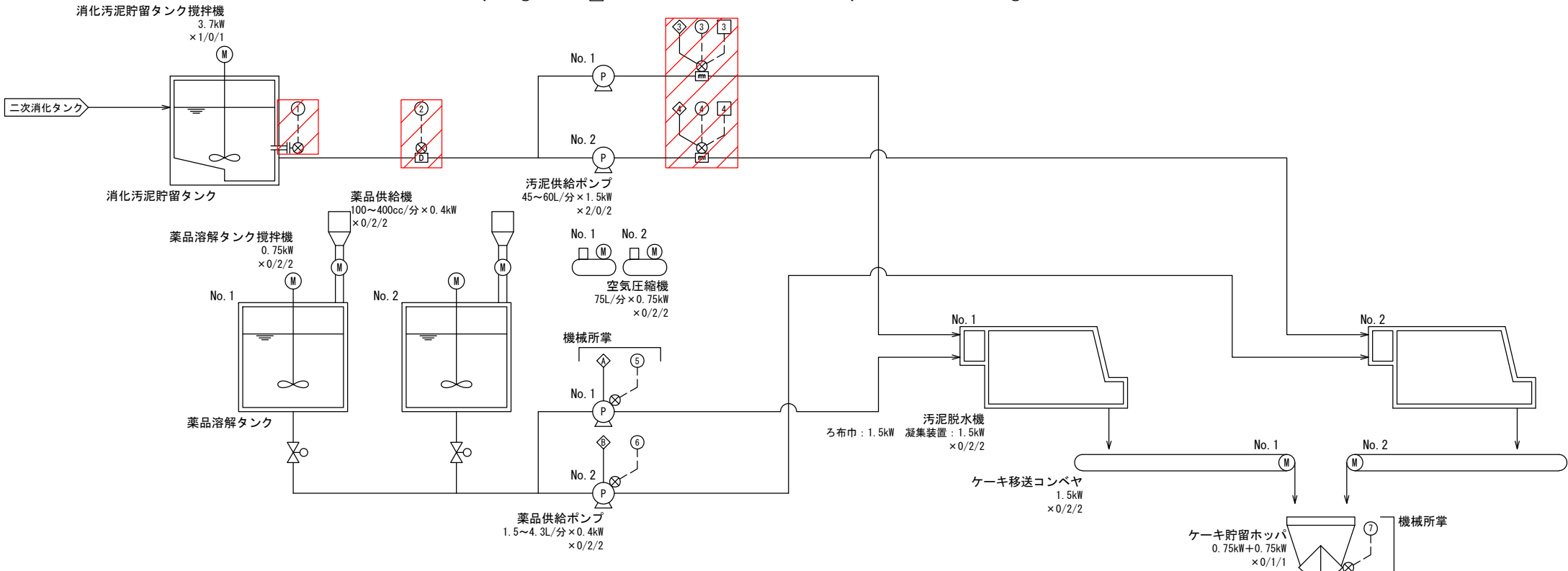
F	流量
D	濃度
A	警報
I	指示
C	調節
RS	比率設定器
↔	アレータ
〰	精密抵抗
DB	ディストリビュータ
M/A	手動設定器
V/I	電圧・電流変換器
×	演算変換器
Ry	リレー



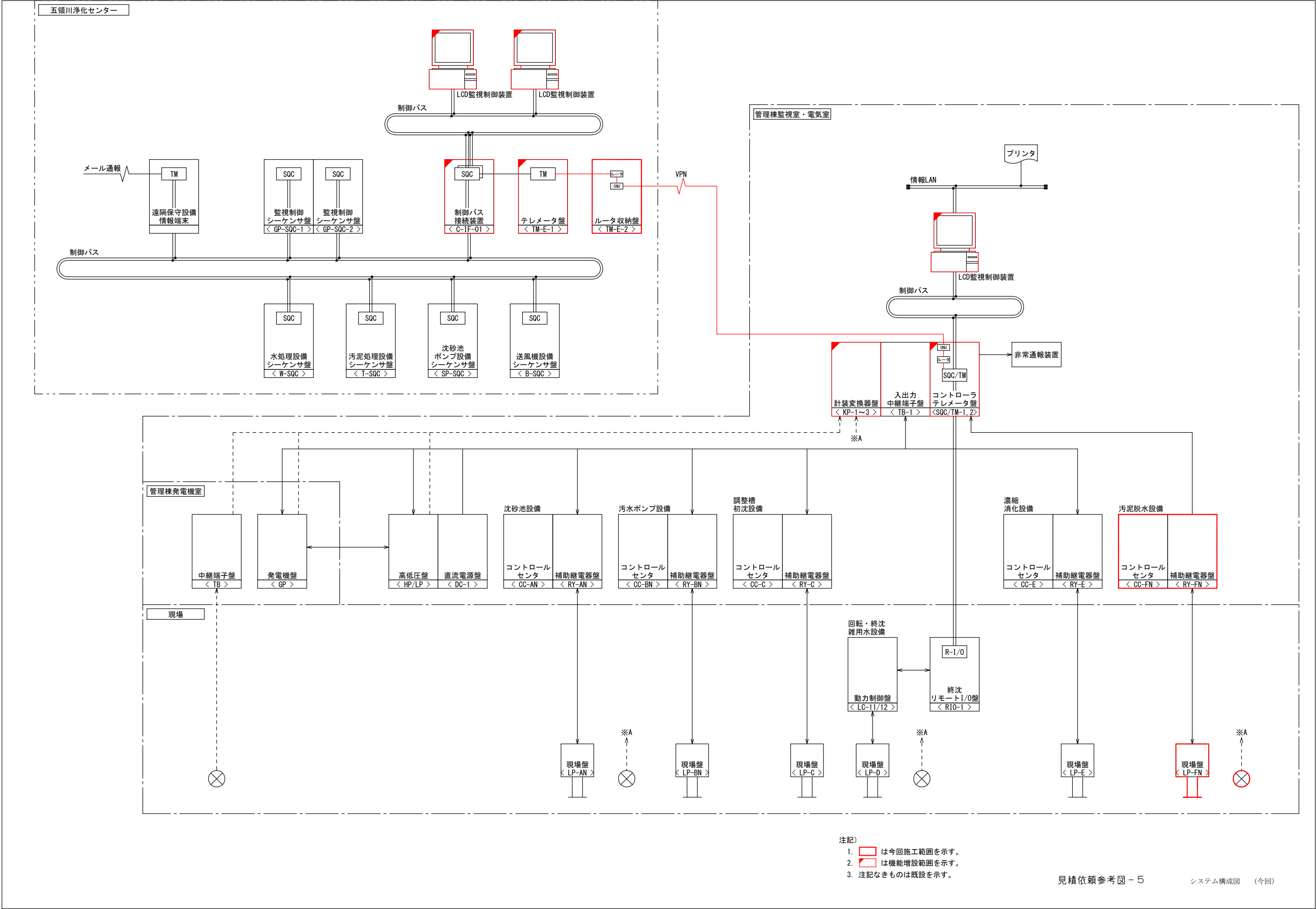
- 注記)
1. は今回施工範囲を示す。
 2. は機能増設範囲を示す。
 3. 注記なきものは既設を示す。
 4. □=1, 2とする。

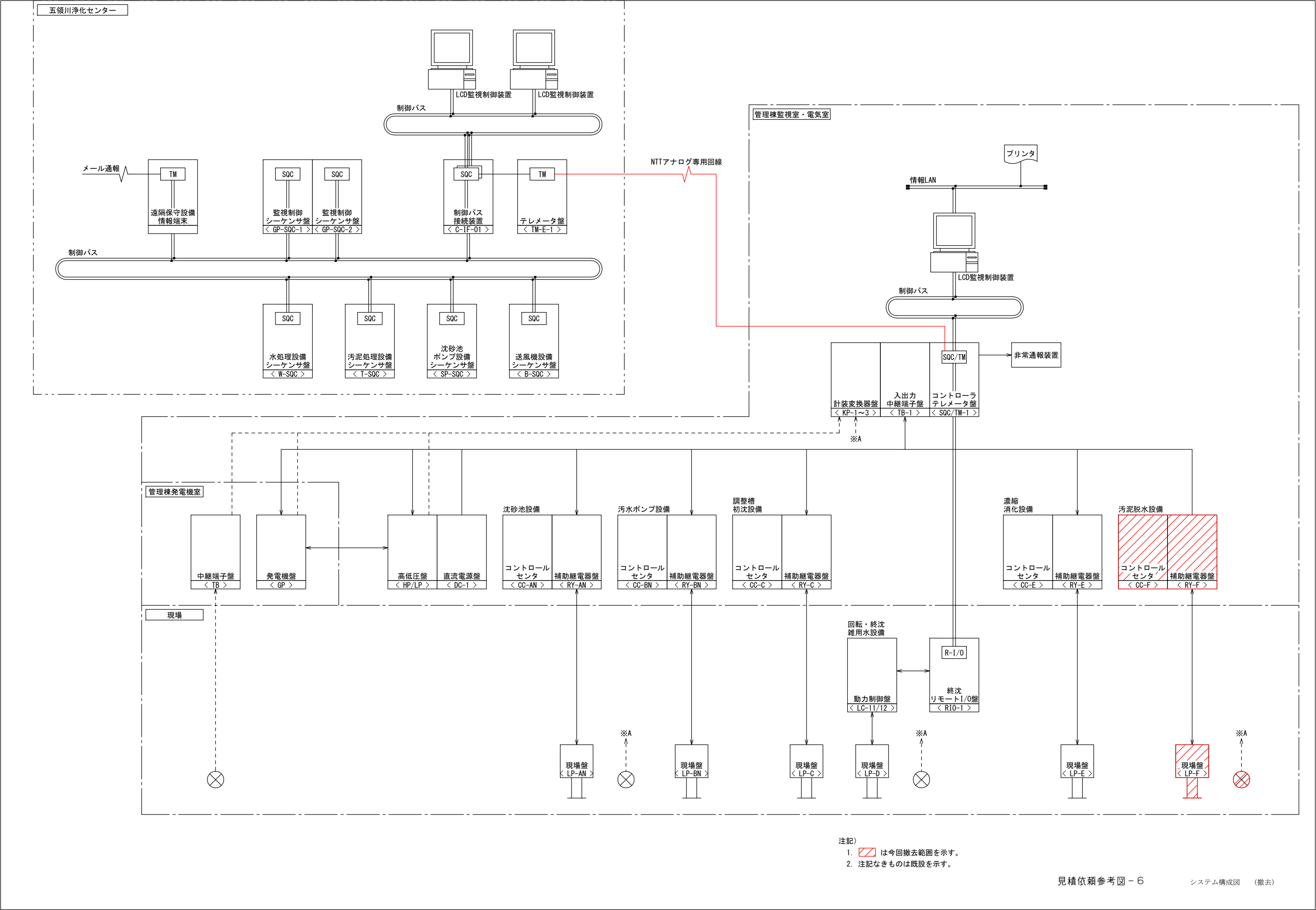
計測項目		消化汚泥 貯留タンク液位	供給汚泥濃度	N o. □ 汚泥供給量 積算	N o. □ 薬品供給量 積算	ケーキ 貯留ホッパ重量
計測レンジ		0～3 m	0～5 %	0～6 m³/h	0～2 m³/h	0～5 t
数量	既設	1	1	2	2	1
	今回	-1	-1	-2	-2	-1
	全体	0	0	0	0	0
管理棟中央監視室	帳票	○	○	○	○	○
	LCD	○	○	○	○	○
	SQC/TM-1	○	○	○	○ A/P	○
計装変換器盤		DB A×1 A×1	LA A×2 A×1 ※a	RV A×2 ※a X A×2	M/A A×2 ※a X A×2	V/I A×2
現場		①	②	③ ④ ③ ④ ③ ④	⑤ ⑥ ⑤ ⑥ ⑤ ⑥	⑦

F	流量
D	濃度
A	警報
I	指示
C	調節
RS	比率設定器
↔	アレータ
〰〰〰	精密抵抗
DB	ディストリビュータ
M/A	手動設定器
V/I	電圧・電流変換器
×	演算変換器
RV	リレー



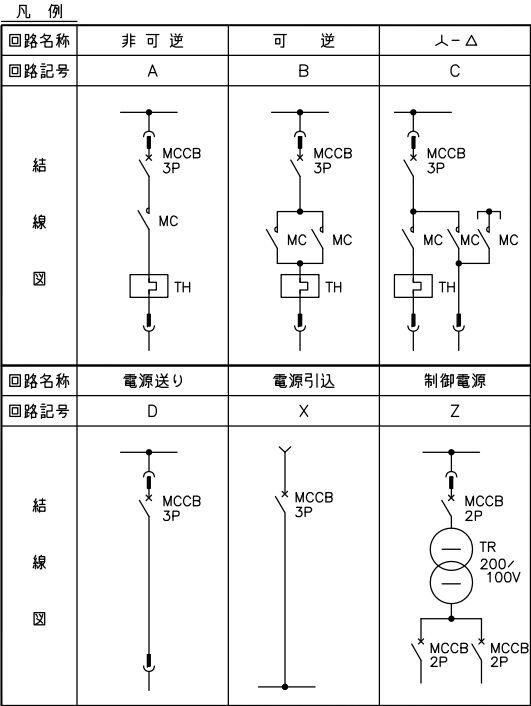
- 注記)
1. は今回撤去範囲を示す。
 2. 注記なきものは既設を示す。





低圧動力主幹盤 (HP-5)より 3φ 3W 200V 60Hz																
回路記号	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	D	D	Z
負荷名称	消化汚泥 貯留タンク 攪拌機	No.□ 汚泥供給ポンプ	No.□ 薬品供給ポンプ	No.□ 薬品供給機	No.□ 薬品溶解タンク 攪拌機	No.□ ろ布 洗浄水ポンプ	No.□ 空気圧縮機	No.□-1 ろ布駆動装置	No.□-2 ろ布駆動装置	No.□ 凝集混和タンク 攪拌機	No.□ 外ろ布 調整装置	No.□ 内ろ布 調整装置	No.□ ケーキ 移送コンベヤ	ケーキ 貯留ホッパー	除湿機	制御電源
負荷番号																
容量(kW)	3.7	1.5	0.4	0.2	0.75	5.5	0.75	1.5	0.4	1.5	0.1	0.1	0.4	1.5	0.2	3kVA
MCCB (AF)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
ユニット 数	既 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今 回	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
	全 体	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
計 器	Ⓐ Ⓜ	Ⓐ Ⓜ	Ⓐ Ⓜ	Ⓐ Ⓜ	Ⓐ Ⓜ	Ⓐ Ⓜ	Ⓐ Ⓜ	Ⓐ	Ⓐ	Ⓐ			Ⓜ			
保 護	I±> 2E	I±>	I±>	I±> PPC	I±>	I±>	I±>	I±>	I±>	I±>	I±>	I±>	I±> PPC	I±>	I±>	
コンデンサ																
備 考		□=1,2	□=1,2	□=1,2 PPCはC/C取付	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2 PPCはC/C取付			

汚泥脱水設備コントロールセンタ
(CC-FN)

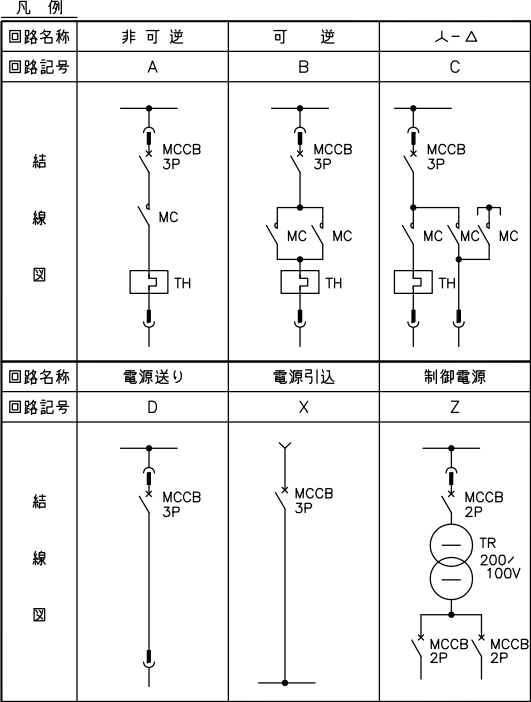


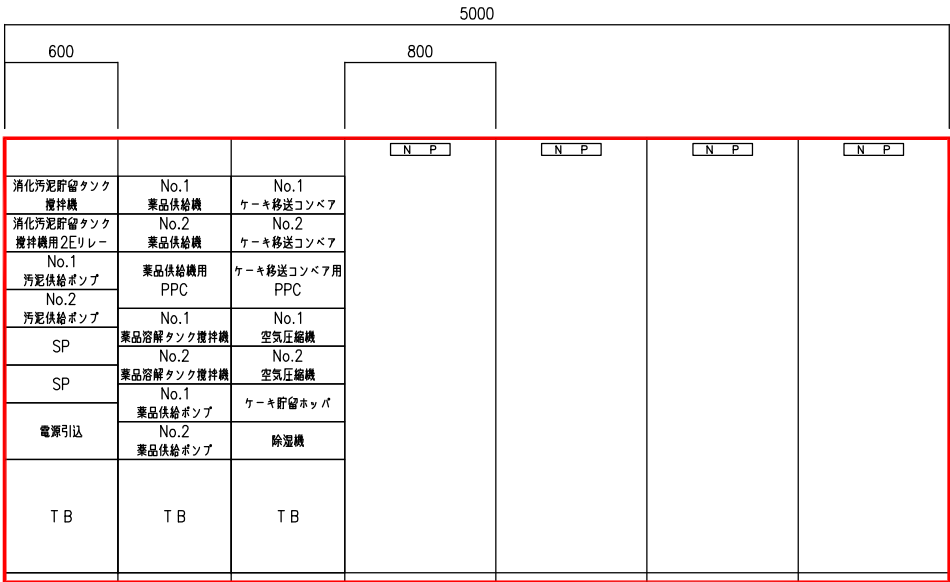
- 注記)
- は今回施工範囲を示す。
 - は機能増設範囲を示す。
 - 注記なきものは既設を示す。
 - 電流計は現場盤取付とする。
 - 運転時間計はC/C取付とする。

低圧動力主幹盤 (HP-5)より 3φ 3W 200V 60Hz															
回路記号	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	D	Z
負荷名称	消化汚泥 貯留タンク 攪拌機	No.□ 汚泥供給ポンプ	No.□ 薬品供給ポンプ	No.□ 薬品供給機	No.□ 薬品溶解タンク 攪拌機	No.□ ろ布 洗浄水ポンプ	No.□ 空気圧縮機	No.□-1 ろ布駆動装置	No.□-2 ろ布駆動装置	No.□ 凝集溜和タンク 攪拌機	No.□ 外ろ布 調整装置	No.□ 内ろ布 調整装置	No.□ ゲージ 移送コンベア	ケーシング 貯留ホッパー	制御電源
負荷番号															
容量(kW)	3.7	1.5	0.4	0.4	0.75	5.5	0.75	1.5	0.4	1.5	0.1	0.1	1.5	1.5	3kVA
MCCB (AF)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
ユニット 数	既 設	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
	今 回	-1	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-1	-1
	全 体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 器	(A) (H)	(A) (H)	(A) (H)	(A) (H)	(A) (H)	(A) (H)	(A) (H)	(A)	(A)	(A)			(H)		
保 護	I△> 2E	I△>	I△>	I△> PPC	I△>	I△>	I△>	I△>	I△>	I△>	I△>	I△>	I△>	I△>	
コンデンサ															
備 考		□=1,2	□=1,2	□=1,2 PPCはC/C取付	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2	□=1,2		

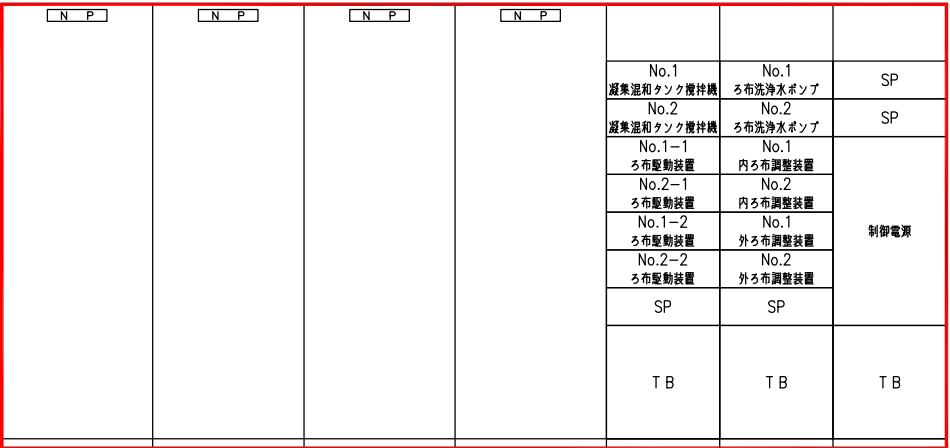
汚泥脱水設備コントロールセンタ
(CC-F)

- 注記)
-  は今回撤去範囲を示す。
 - 注記なきものは既設を示す。

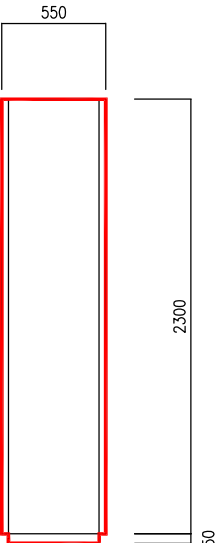




正面図



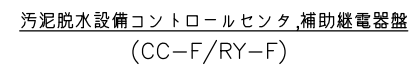
背面図



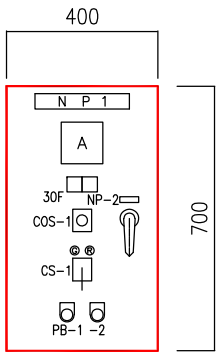
側面図

汚泥脱水設備コントロールセンタ,補助継電器盤
(CC-FN/R Y-FN)

- 注記)
- は今回施工範囲を示す。
 - は機能増設範囲を示す。
 - 注記なきものは既設を示す。



1.  は今回撤去範囲を示す。
2. 注記なきものは既設を示す。



正面図

消化汚泥貯留タンク攪拌機現場操作盤

(LP-F1N)

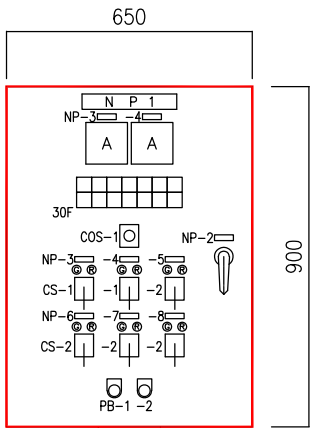
30F

過負荷	地絡
-----	----

形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F1N	1	消化汚泥貯留タンク攪拌機	1	1	1	
	2	LP-F1N				



正面図

No.2薬品溶解設備現場操作盤

(LP-F5-2N)

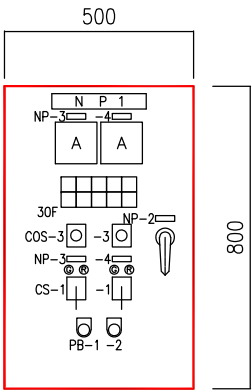
30F

薬品供給機過負荷	薬品供給機地絡	薬品供給機PPC動作	薬品溶解タンク攪拌機過負荷	薬品溶解タンク攪拌機地絡	No.1薬品溶解水弁故障	No.2薬品溶解水弁故障
薬液流出弁故障	エア-供給弁故障	薬品溶解タンク液位上限	薬品溶解タンク液位下限	薬品ホッパレベル下限	予備	予備

形式：屋内スタンド形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F5-2N	1	No.2薬品溶解設備	1	1	1	
	2	LP-F5-2N				
	3	No.2薬品供給機				
	4	No.2薬品溶解タンク攪拌機				
	5	No.2薬液流出弁				
	6	No.2-1薬品溶解水弁				
	7	No.2-2薬品溶解水弁				
	8	No.2エア-供給弁				



正面図

汚泥供給ポンプ現場操作盤

(LP-F3N)

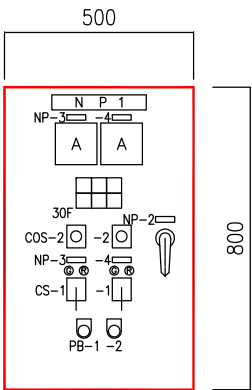
30F

No.1ポンプ過負荷	No.1ポンプ地絡	No.1ポンプ封水断	No.1封水弁故障	消化汚泥貯留タンク液位下限
No.2ポンプ過負荷	No.2ポンプ地絡	No.2ポンプ封水断	No.2封水弁故障	予備

形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F3N	1	汚泥供給ポンプ	1	1	1	
	2	LP-F3N				
	3	No.1				
	4	No.2				



正面図

ろ布洗浄水ポンプ現場操作盤

(LP-F8N)

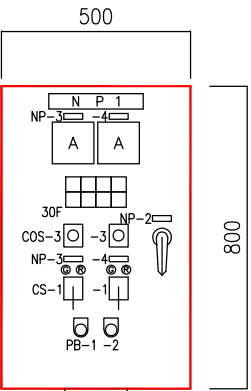
30F

No.1ポンプ過負荷	No.1ポンプ地絡	雑用水受水槽水位異常
No.2ポンプ過負荷	No.2ポンプ地絡	予備

形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F8N	1	ろ布洗浄水ポンプ	1	1	1	
	2	LP-F8N				
	3	No.1				
	4	No.2				



正面図

薬品供給ポンプ現場操作盤

(LP-F4N)

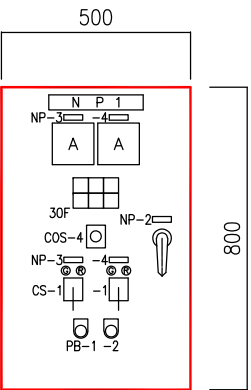
30F

No.1ポンプ過負荷	No.1ポンプ地絡	No.1溶解タンク液位下限	予備
No.2ポンプ過負荷	No.2ポンプ地絡	No.2溶解タンク液位下限	予備

形式：屋内スタンド形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F4N	1	薬品供給ポンプ	1	1	1	
	2	LP-F4N				
	3	No.2				
	4	No.1				



正面図

空気圧縮機現場操作盤

(LP-F10N)

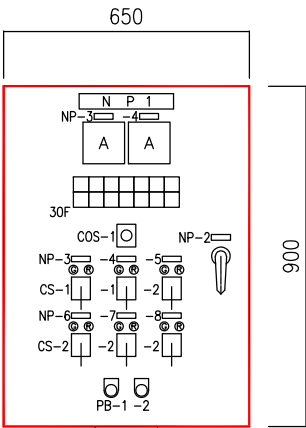
30F

No.1 壓縮機 過負荷	No.1 壓縮機 地絡	空氣槽 压力上昇
No.2 壓縮機 過負荷	No.2 壓縮機 地絡	空氣槽 压力低下

形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F10N	1	空気圧縮機	1	1	1	
	2	LP-F10N				
	3	No.1				
	4	No.2				



正面図

No.1薬品溶解設備現場操作盤

(LP-F5-1N)

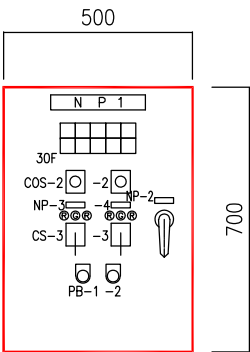
30F

薬品供給機過負荷	薬品供給機地絡	薬品供給機PPC動作	薬品溶解タンク攪拌機過負荷	薬品溶解タンク攪拌機地絡	No.1薬品溶解水弁故障	No.2薬品溶解水弁故障
薬液流出弁故障	エア-供給弁故障	薬品溶解タンク液位上限	薬品溶解タンク液位下限	薬品ホッパレベル下限	予備	予備

形式：屋内スタンド形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F5-1N	1	No.1薬品溶解設備	1	1	1	
	2	LP-F5-1N				
	3	No.1薬品供給機				
	4	No.1薬品溶解タンク攪拌機				
	5	No.1薬液流出弁				
	6	No.1-1薬品溶解水弁				
	7	No.1-2薬品溶解水弁				
	8	No.1エア-供給弁				



正面図

キー移送コンベヤ現場操作盤

(LP-F12)

30F

No.1コンベヤ過負荷	No.1コンベヤ地絡	No.1コンベヤPPC動作	No.1コンベヤ非常停止	予備
No.2コンベヤ過負荷	No.2コンベヤ地絡	No.2コンベヤPPC動作	No.2コンベヤ非常停止	予備

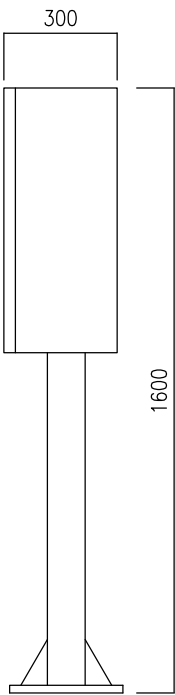
形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F12	1	キー移送コンベヤ	0	1	1	
	2	LP-F12				
	3	No.1				
	4	No.2				

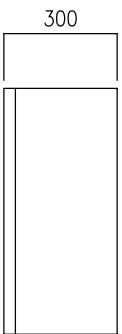
注記)

1. は今回施工範囲を示す。
2. は機能増設範囲を示す。
3. 注記なきものは既設を示す。



側面図

屋内スタンド形

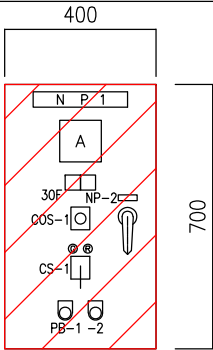


側面図

屋内壁掛形

凡 例

記 号	名 称
COS-1	切換スイッチ（手動-自動）
-2	切換スイッチ（単独-連動）
-3	切換スイッチ（脱水機-機側）
-4	切換スイッチ（No.1自動-手動-No.2自動）
C S-1	操作スイッチ（停止-運転）
-2	操作スイッチ（閉-開）
-3	操作スイッチ（逆転-停止-正転）
P B-1	故障復帰
-2	ランプテスト



正面図

消化汚泥貯留タンク攪拌機現場操作盤

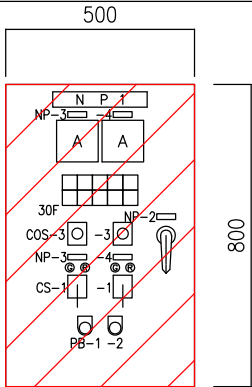
(LP-F1)

30F	
過負荷	地絡

形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F1	1	消化汚泥貯留タンク攪拌機	1	1	1	
	2	LP-F1				



正面図

汚泥供給ポンプ現場操作盤

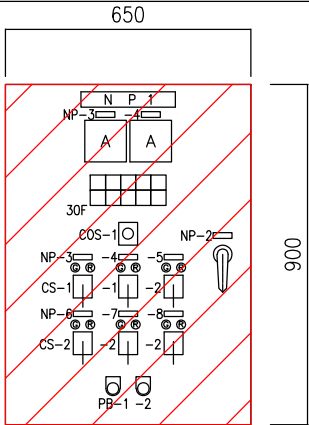
(LP-F3)

30F	No.1 ポンプ 過負荷	No.1 ポンプ 地絡	No.1 ポンプ 封水断	No.1 封水弁 故障	消化汚泥 貯留タンク 液位下限
No.2 ポンプ 過負荷	No.2 ポンプ 地絡	No.2 ポンプ 封水断	No.2 封水弁 故障	予備	

形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F3	1	汚泥供給ポンプ	1	1	1	
	2	LP-F3				
	3	No.1				
	4	No.2				



正面図

No.1薬品溶解設備現場操作盤

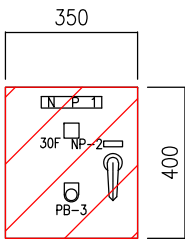
(LP-F5-1)

30F	薬品 供給機 過負荷	薬品溶解 タンク攪拌機 過負荷	薬品溶解 タンク攪拌機 地絡	No.1薬品 溶解水弁 故障	No.2薬品 溶解水弁 故障
薬液 流出弁 故障	エアー 供給弁 故障	薬品 溶解タンク 液位上限	薬品 溶解タンク 液位下限	薬品 ホッパ レベル下限	予備

形式：屋内スタンド形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F5-1	1	No.1薬品溶解設備	1	1	1	
	2	LP-F5-1				
	3	No.1薬品供給機				
	4	No.1薬品溶解タンク攪拌機				
	5	No.1薬液流出弁				
	6	No.1-1薬品溶解水弁				
		No.1-2薬品溶解水弁				
		No.1エアー供給弁				



正面図

脱水機警報盤

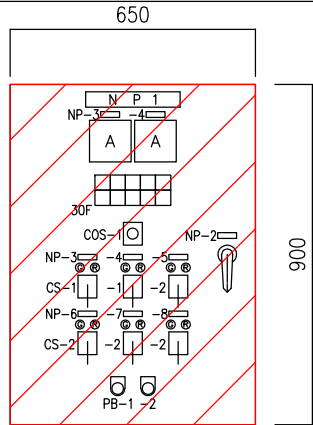
(LP-F11-3)

30F	脱水機 故障
-----	-----------

形式：屋内壁掛形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F11-3	1	脱水機警報盤	1	1	1	
	2	LP-F11-3				



正面図

No.2薬品溶解設備現場操作盤

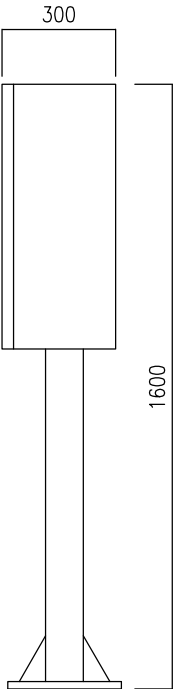
(LP-F5-2)

30F	薬品 供給機 過負荷	薬品溶解 タンク攪拌機 過負荷	薬品溶解 タンク攪拌機 地絡	No.1薬品 溶解水弁 故障	No.2薬品 溶解水弁 故障
薬液 流出弁 故障	エアー 供給弁 故障	薬品 溶解タンク 液位上限	薬品 溶解タンク 液位下限	薬品 ホッパ レベル下限	予備

形式：屋内スタンド形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F5-2	1	No.2薬品溶解設備	1	1	1	
	2	LP-F5-2				
	3	No.2薬品供給機				
	4	No.2薬品溶解タンク攪拌機				
	5	No.2薬液流出弁				
	6	No.2-1薬品溶解水弁				
	7	No.2-2薬品溶解水弁				
	8	No.2エアー供給弁				



側面図

屋内スタンド形



側面図

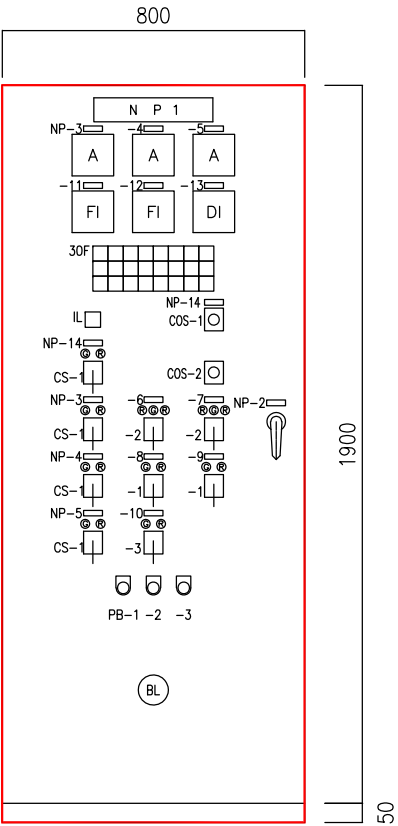
屋内壁掛形

凡 例

記 号	名 称
COS-1	切換スイッチ (手動-自動)
-2	切換スイッチ (単独-連動)
-3	切換スイッチ (脱水機-機側)
-4	切換スイッチ (No.1自動-手動-No.2自動)
C S-1	操作スイッチ (停止-運転)
-2	操作スイッチ (閉-開)
P B-1	故障復帰
-2	ランプテスト
-3	警報停止

注記)

1.  は今回撤去範囲を示す。
2. 注記なきものは既設を示す。



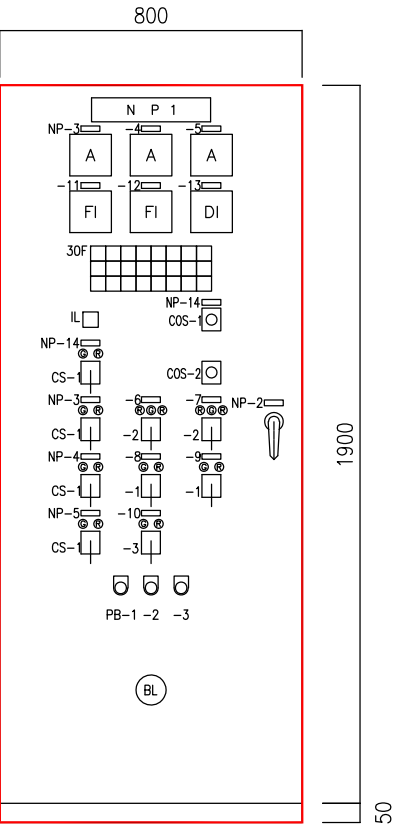
正面図

No.1脱水機設備現場操作盤
(LP-F11-1N)

30F							
No.1-1ろ布駆動装置 過負荷	No.1-2ろ布駆動装置 過負荷	凝集混和タンク攪拌機 過負荷	No.1内ろ布調整装置 過負荷	No.1外ろ布調整装置 過負荷	内ろ布蛇行	外ろ布蛇行	ろ布洗浄水弁故障
No.1-1ろ布駆動装置 地絡	No.1-2ろ布駆動装置 地絡	凝集混和タンク攪拌機 地絡	No.1内ろ布調整装置 地絡	No.1外ろ布調整装置 地絡	内ろ布圧力低下	外ろ布圧力低下	予備
薬品供給ポンプ故障	汚泥供給ポンプ故障	ろ布駆動過トルク	ろ布脱線	ろ布切断	予備	予備	予備

IL
準備完了

形式：屋内自立形		材質：一般鋼板			
盤記号	NP-No	名 称	面 数		備 考
			既設	今回	全体
LP-F11-1N	1	No.1脱水機設備	1	1	1
	2	LP-F11-1N			
	3	No.1-1ろ布駆動装置			
	4	No.1-2ろ布駆動装置			
	5	凝集混和タンク攪拌機			
	6	No.1外ろ布調整装置			
	7	No.1内ろ布調整装置			
	8	薬品供給ポンプ			
	9	汚泥供給ポンプ			
	10	ろ布洗浄水弁			
	11	薬品供給量			
	12	汚泥供給量			
	13	汚泥濃度			
	14	脱水機			



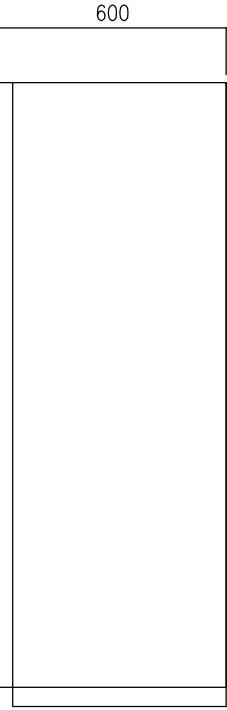
正面図

No.2脱水機設備現場操作盤
(LP-F11-2N)

30F							
No.2-1ろ布駆動装置 過負荷	No.2-2ろ布駆動装置 過負荷	凝集混和タンク攪拌機 過負荷	No.2内ろ布調整装置 過負荷	No.2外ろ布調整装置 過負荷	内ろ布蛇行	外ろ布蛇行	ろ布洗浄水弁故障
No.2-1ろ布駆動装置 地絡	No.2-2ろ布駆動装置 地絡	凝集混和タンク攪拌機 地絡	No.2内ろ布調整装置 地絡	No.2外ろ布調整装置 地絡	内ろ布圧力低下	外ろ布圧力低下	予備
薬品供給ポンプ故障	汚泥供給ポンプ故障	ろ布駆動過トルク	ろ布脱線	ろ布切断	予備	予備	予備

IL
準備完了

形式：屋内自立形		材質：一般鋼板			
盤記号	NP-No	名 称	面 数		備 考
			既設	今回	全体
LP-F11-2N	1	No.2脱水機設備	1	1	1
	2	LP-F11-2N			
	3	No.2-1ろ布駆動装置			
	4	No.2-2ろ布駆動装置			
	5	凝集混和タンク攪拌機			
	6	No.2外ろ布調整装置			
	7	No.2内ろ布調整装置			
	8	薬品供給ポンプ			
	9	汚泥供給ポンプ			
	10	ろ布洗浄水弁			
	11	薬品供給量			
	12	汚泥供給量			
	13	汚泥濃度			
	14	脱水機			

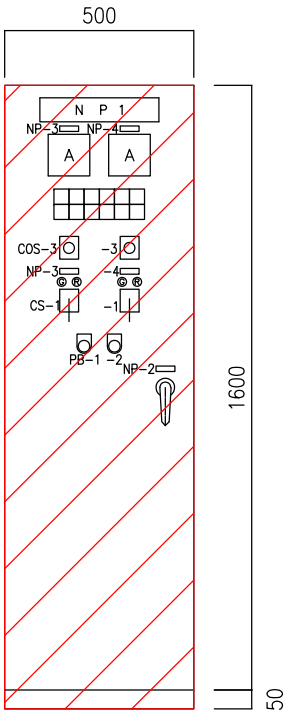


側面図

屋内自立形

凡 例	
記 号	名 称
COS-1	切換スイッチ（現場-中央）
-2	切換スイッチ（単独-連動）
CS-1	操作スイッチ（停止-運転）
-2	操作スイッチ（逆転-停止-正転）
-3	操作スイッチ（閉-開）
PB-1	警報停止
-2	故障復帰
-3	ランプテスト
BL	ベル

- 注記)
1. は今回施工範囲を示す。
 2. は機能増設範囲を示す。
 3. 注記なきものは既設を示す。



正面図

薬品供給ポンプ現場操作盤

(LP-F4)

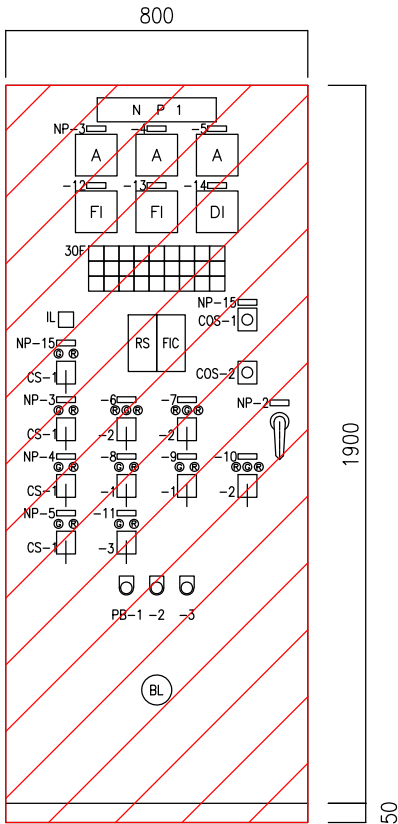
30F

No.1 ポンプ 過負荷	No.1 ポンプ 地絡	No.1 ポンプ 封水断	No.1 封水弁 故障	No.1 溶解タンク 液位下限	予備
No.2 ポンプ 過負荷	No.2 ポンプ 地絡	No.2 ポンプ 封水断	No.2 封水弁 故障	No.2 溶解タンク 液位下限	予備

形式：屋内自立形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F4	1	薬品供給ポンプ	1	1	1	
	2	LP-F4				
	3	No.2				
	4	No.1				



正面図

No.1脱水機設備現場操作盤

(LP-F11-1)

30F

No.1-1 ろ布駆動装置 過負荷	No.1-2 ろ布駆動装置 過負荷	凝集混和 タンク攪拌機 過負荷	ろ布 切断	No.1内ろ布 調整装置 過負荷	No.1外ろ布 調整装置 過負荷	ろ布 洗浄水弁 故障	外ろ布 蛇行	予備
No.1-1 ろ布駆動装置 地絡	No.1-2 ろ布駆動装置 地絡	凝集混和 タンク攪拌機 地絡	ろ布 脱線	No.1内ろ布 調整装置 地絡	No.1外ろ布 調整装置 地絡	予備	内ろ布 蛇行	予備
薬液供給 ポンプ 故障	汚泥供給 ポンプ 故障	ケーキ移送 コンベヤ 過負荷	ケーキ移送 コンベヤ 地絡	ケーキ移送 コンベヤ 非常停止	ケーキ移送 コンベヤ ベルト蛇行	コンベヤ 洗浄水弁 故障	ろ布駆動 過トルク	ろ布駆動装置 圧力低下

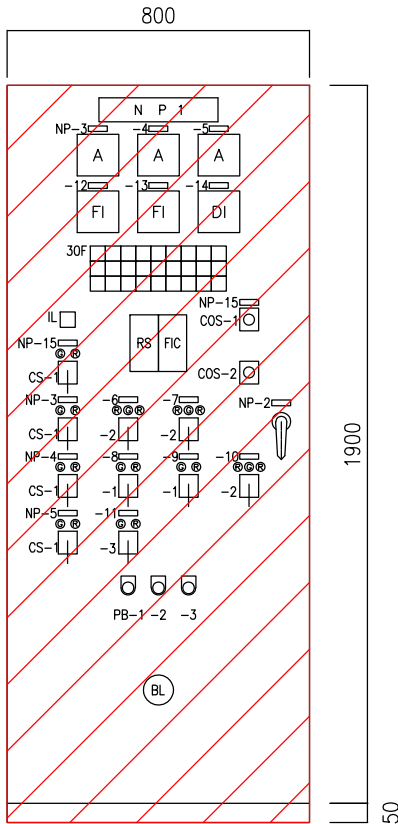
形式：屋内自立形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F11-1	1	No.1脱水機設備	1	1	1	
	2	LP-F11-1				
	3	No.1-1ろ布駆動装置				
	4	No.1-2ろ布駆動装置				
	5	凝集混和タンク攪拌機				
	6	No.1外ろ布調整装置				
	7	No.1内ろ布調整装置				
	8	薬液供給ポンプ				
	9	汚泥供給ポンプ				
	10	ケーキ移送コンベヤ				
	11	ろ布洗浄水弁				
	12	薬品供給量				
	13	汚泥供給量				
	14	汚泥濃度				
	15	脱水機				

IL

準備完了



正面図

No.2脱水機設備現場操作盤

(LP-F11-2)

30F

No.2-1 ろ布駆動装置 過負荷	No.2-2 ろ布駆動装置 過負荷	凝集混和 タンク攪拌機 過負荷	ろ布 切断	No.2内ろ布 調整装置 過負荷	No.2外ろ布 調整装置 過負荷	ろ布 洗浄水弁 故障	外ろ布 蛇行	予備
No.2-1 ろ布駆動装置 地絡	No.2-2 ろ布駆動装置 地絡	凝集混和 タンク攪拌機 地絡	ろ布 脱線	No.2内ろ布 調整装置 地絡	No.2外ろ布 調整装置 地絡	予備	内ろ布 蛇行	予備
薬液供給 ポンプ 故障	汚泥供給 ポンプ 故障	ケーキ移送 コンベヤ 過負荷	ケーキ移送 コンベヤ 地絡	ケーキ移送 コンベヤ 非常停止	ケーキ移送 コンベヤ ベルト蛇行	コンベヤ 洗浄水弁 故障	ろ布駆動 過トルク	ろ布駆動装置 圧力低下

形式：屋内自立形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LP-F11-2	1	No.2脱水機設備	1	1	1	
	2	LP-F11-2				
	3	No.2-1ろ布駆動装置				
	4	No.2-2ろ布駆動装置				
	5	凝集混和タンク攪拌機				
	6	No.2外ろ布調整装置				
	7	No.2内ろ布調整装置				
	8	薬液供給ポンプ				
	9	汚泥供給ポンプ				
	10	ケーキ移送コンベヤ				
	11	ろ布洗浄水弁				
	12	薬品供給量				
	13	汚泥供給量				
	14	汚泥濃度				
	15	脱水機				

600

側面図

屋内自立形

IL

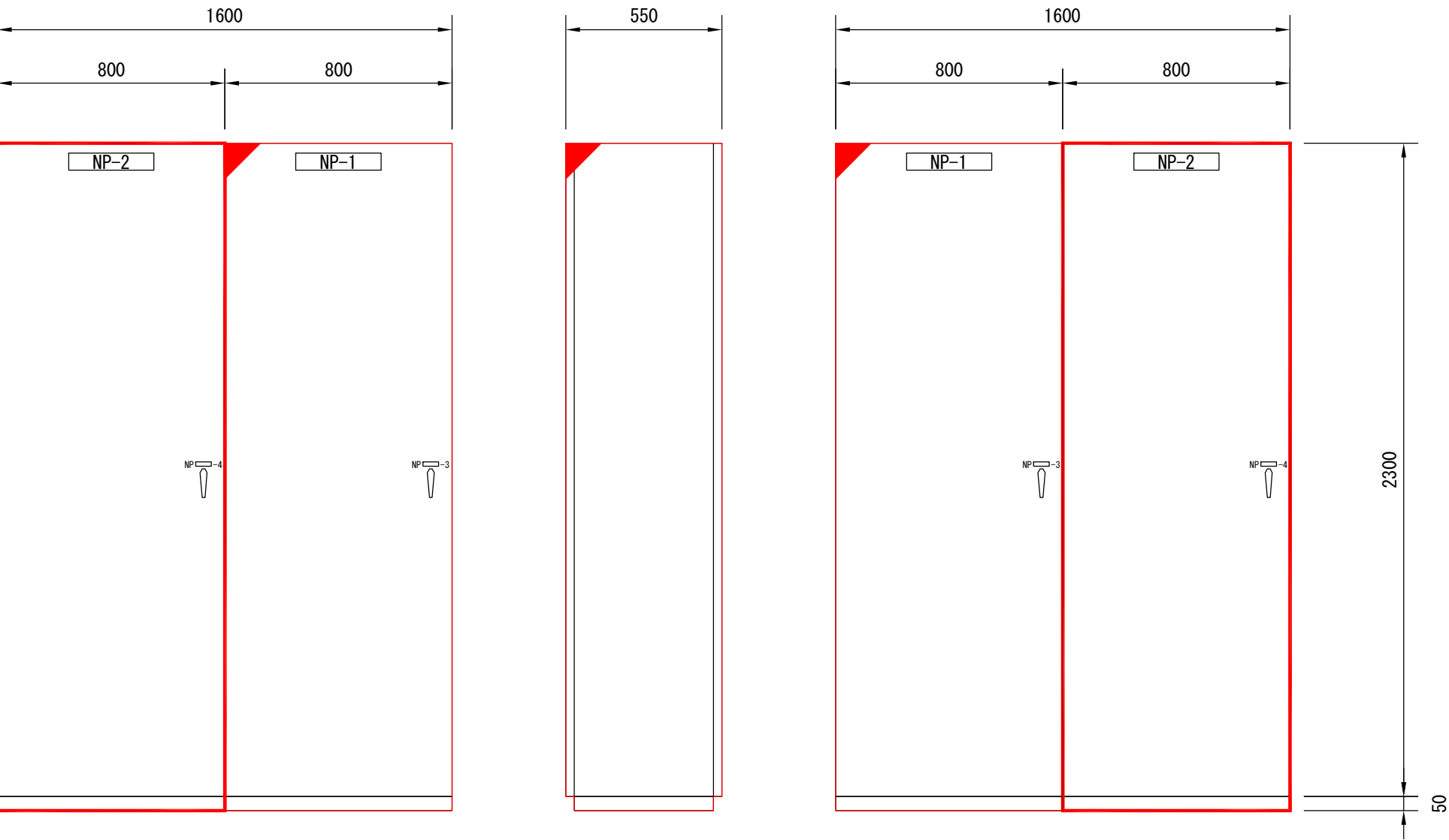
準備完了

凡 例

記 号	名 称
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
-2	切換スイッチ（単独－連動）
-3	切換スイッチ（脱水機－機側）
C S-1	操作スイッチ（停止－運転）
-2	操作スイッチ（逆転－停止－正転）
-3	操作スイッチ（閉－開）
P B-1	警報停止
-2	故障復帰
-3	ランブテスト
BL	ベル

注記)

1.  は今回撤去範囲を示す。
2. 注記なきものは既設を示す。



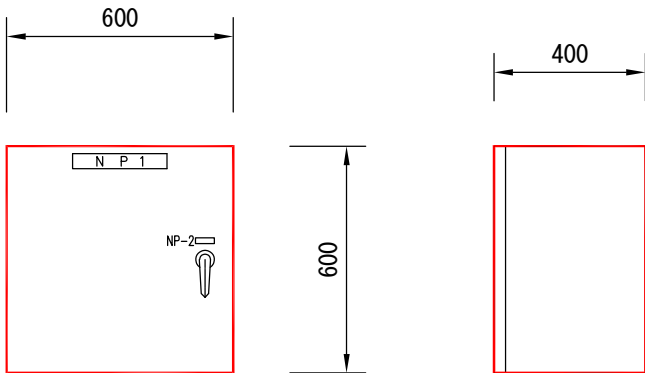
正面図

側面図

背面図

コントローラ・テレメータ盤1,2
(SQC/TM-1,2)

形式：屋内自立形		材質：一般鋼板				
盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
SQC/TM-1,2	1	コントロール・テレメータ盤1	1	1	2	
	2	コントロール・テレメータ盤2				
	3	SQC/TM-1				
	4	SQC/TM-2				



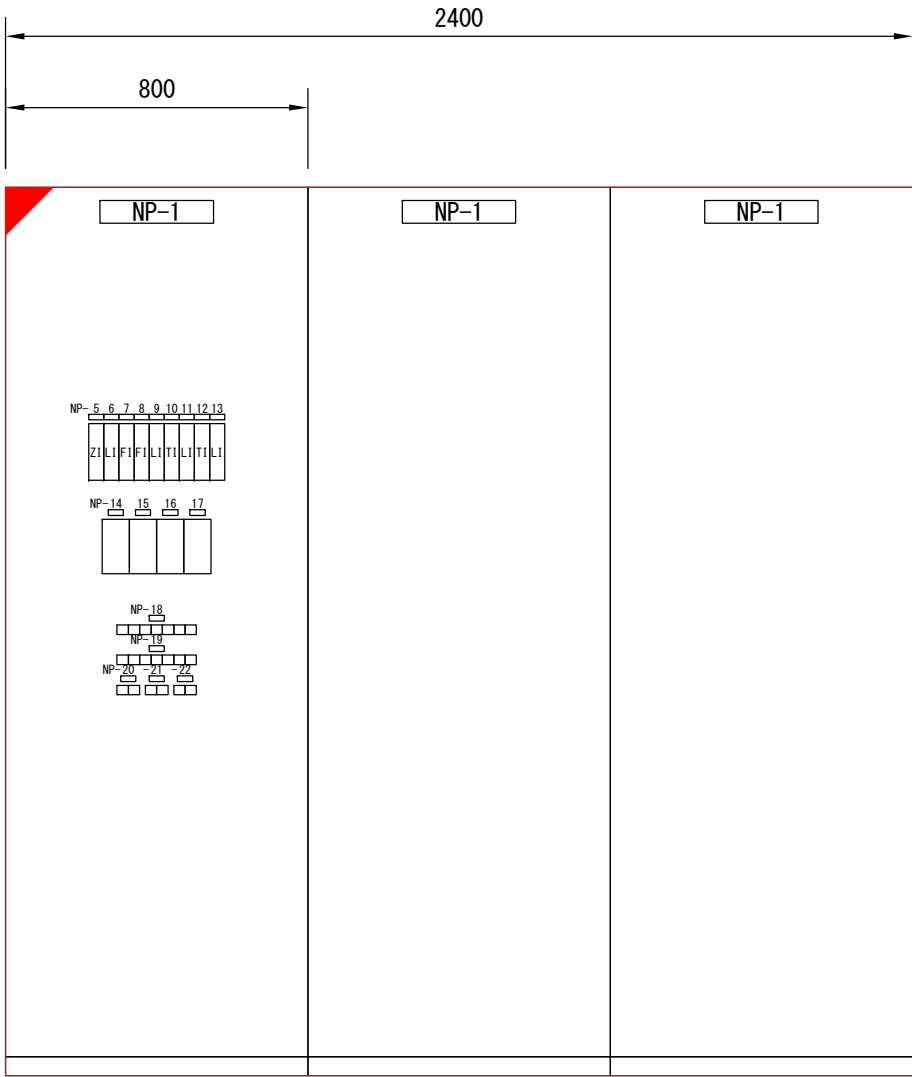
正面図

側面図

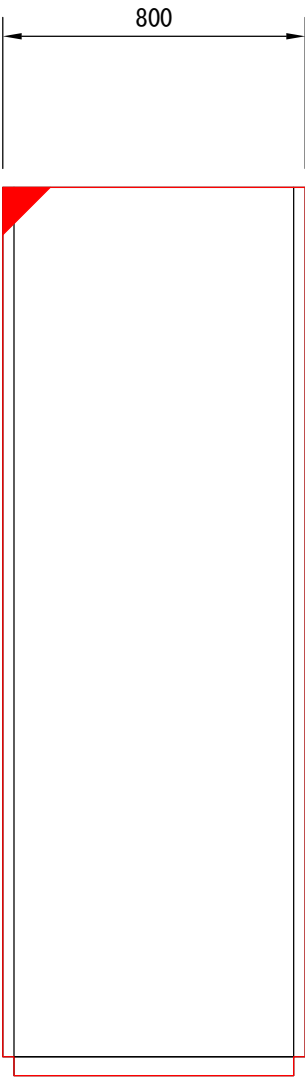
ルータ収納盤
(TM-E-2)
(五領川浄化センター設置)

形式：屋内壁掛形			材質：一般鋼板			
盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
TM-E-2	1	ルータ収納盤	0	1	1	
	2	TM-E-2				

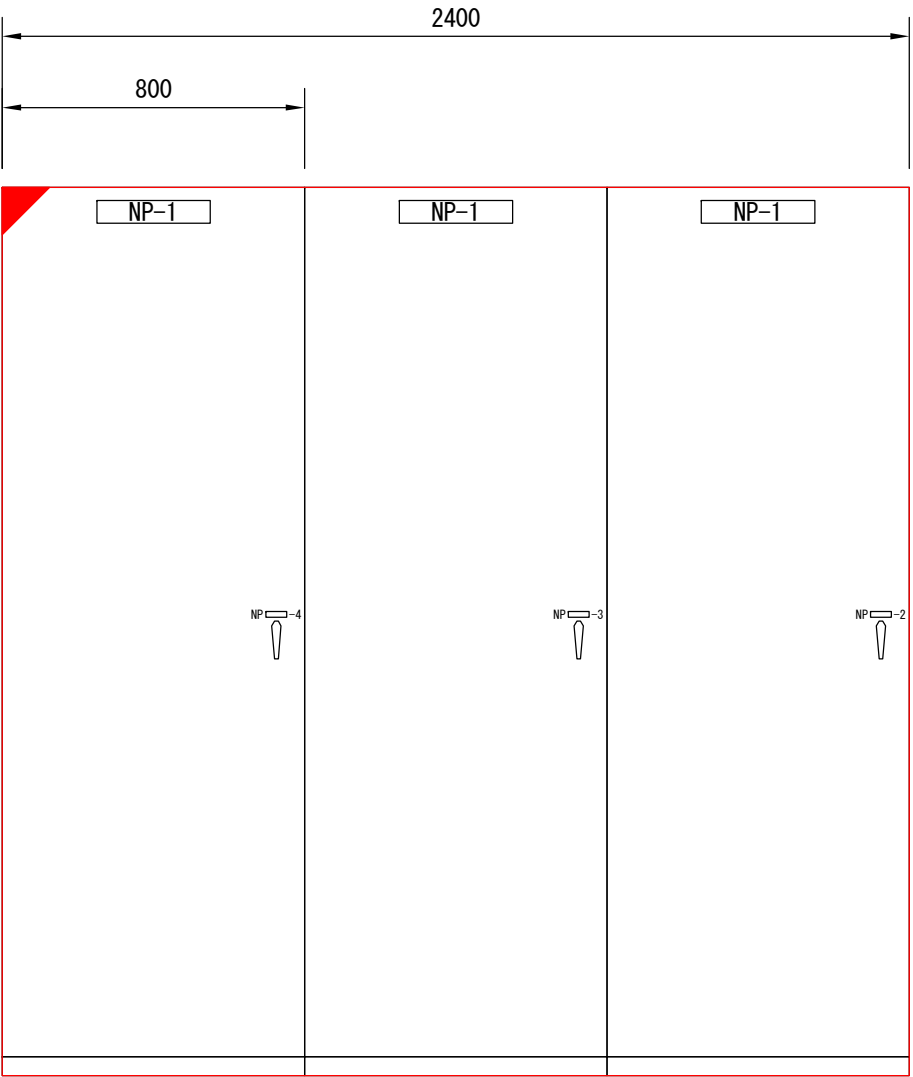
- 注記)
1.  は今回施工範囲を示す。
 2.  は機能増設範囲を示す。
 3. 注記なきものは既設を示す。



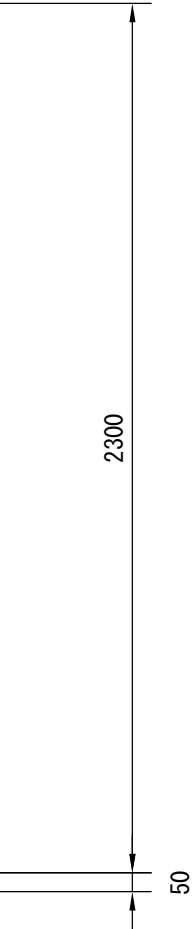
正面図



側面図



背面図



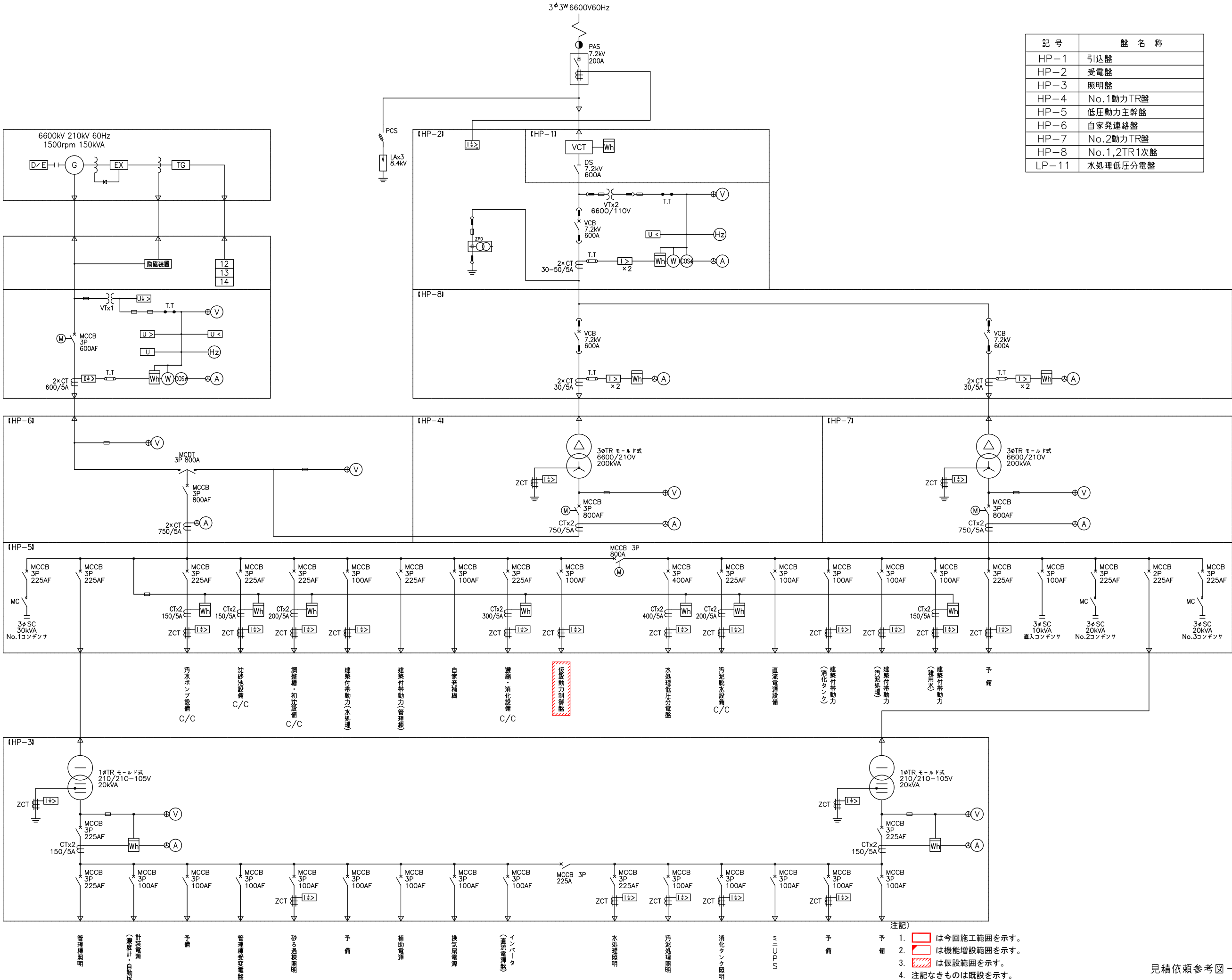
計装変換器盤
(KP-1～3)

形式：屋内自立形

材質：一般鋼板

盤記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
KP-1~3	1	計装変換器盤				
	2	KP-1				
	3	KP-2				
	4	KP-3				
	5	流入ゲート開度				
	6	汚水ポンプ井水位				
	7	汚水揚水量				
	8	放流流量				
	9	一次消化タンク液位				
	10	一次消化タンク温度				
	11	二次消化タンク液位	3	0	3	
	12	二次消化タンク温度				
	13	ガスホルダーレベル				
	14	調整タンク流入量制御				
	15	送水流量制御/消化タンク液位				
	16	No.1薬品注入量制御				
	17	No.2薬品注入量制御				
	18	汚水ポンプ井水位計選択				
	19	調整タンク水位計選択				
	20	汚水返送ポンプ回転数制御選択				
	21	一次消化タンク温度計切替				
22	二次消化タンク温度計切替					

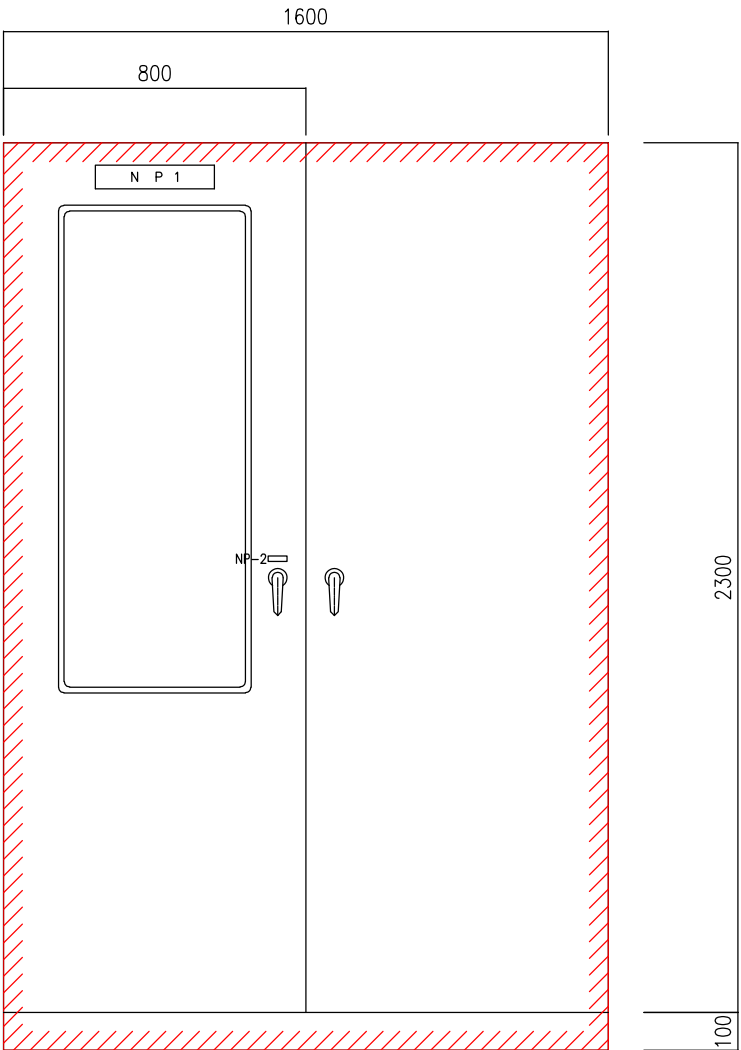
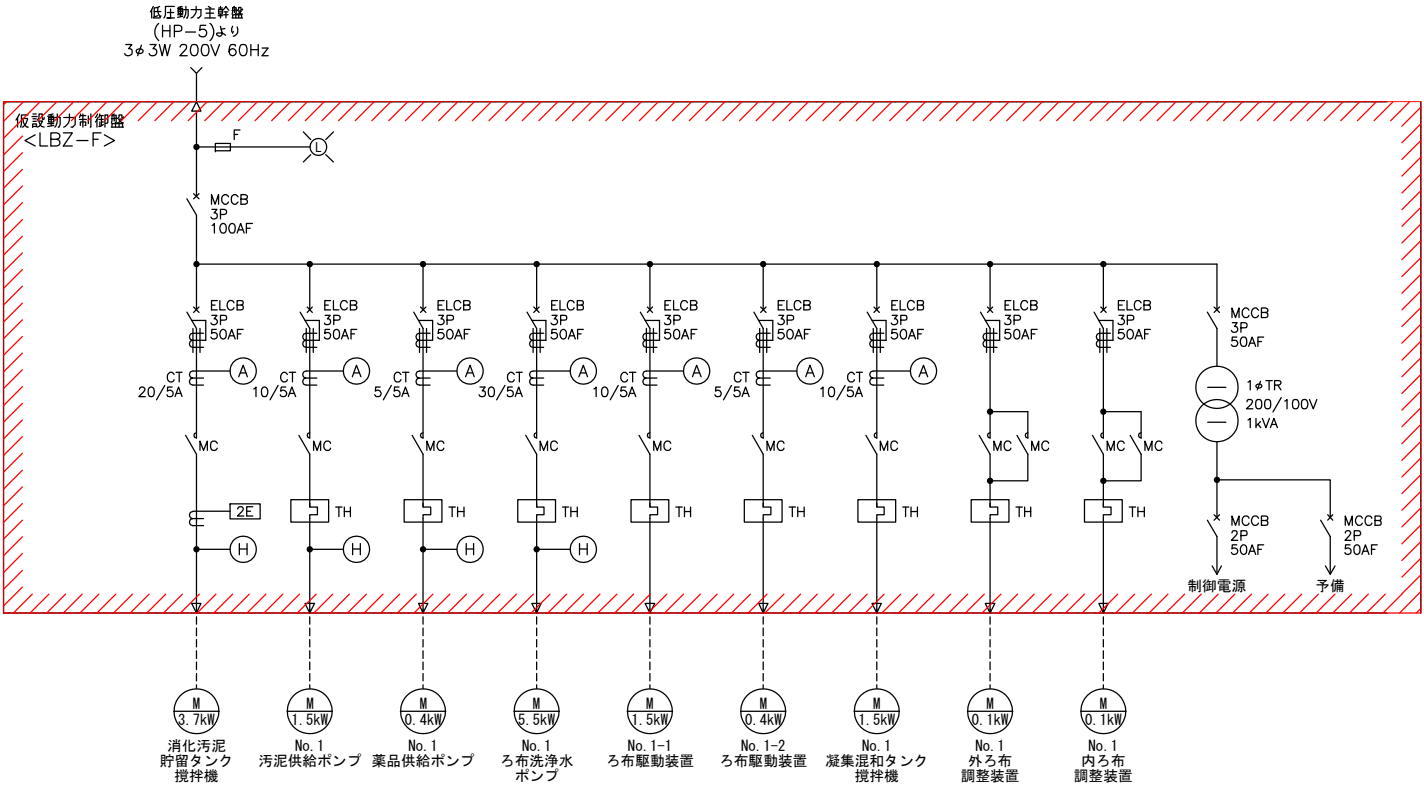
- 注記)
1.  は今回施工範囲を示す。
 2.  は機能増設範囲を示す。
 3. 注記なきものは既設を示す。



記 号	盤 名 称
HP-1	引込盤
HP-2	受電盤
HP-3	照明盤
HP-4	No.1動力TR盤
HP-5	低圧動力主幹盤
HP-6	自家発連絡盤
HP-7	No.2動力TR盤
HP-8	No.1,2TR1次盤
LP-11	水処理低圧分電盤

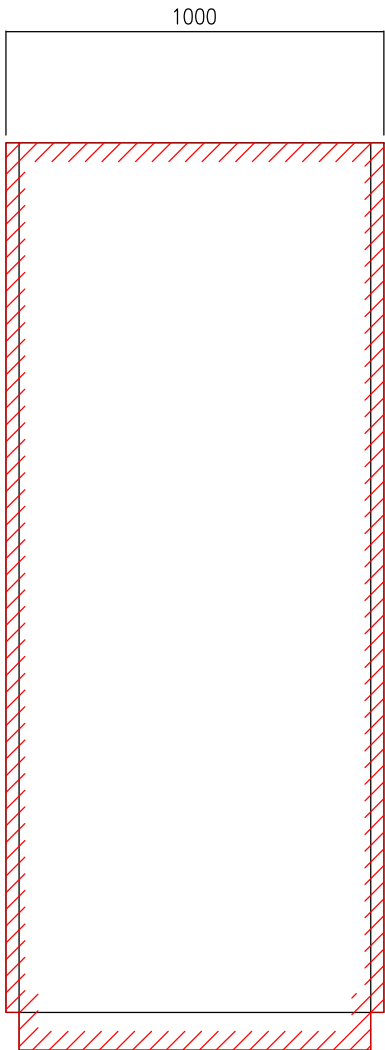
凡 例	
記 号	名 称
VCB	真空遮断器
MCCB	配線用遮断器
COSφ	力率計
TR	変圧器
VT	計器用変圧器
CT	計器用変流器
ZCT	零相変流器
ZPD	コンデンサ形計器用変圧器
SC	進相コンデンサ
Ⓦ	電力計
Ⓦh	電力量計
Ⓥ	電圧計
⊕	同上用切換スイッチ
Ⓐ	電流計
⊗	同上用切換スイッチ
ⓗz	周波数計
Ⓥ	電圧継電器
Ⓥ>	過電圧継電器
Ⓥ<	不足電圧継電器
Ⓡ>	過電流継電器
Ⓡ+>	地絡過電圧継電器
Ⓡ±>	地絡過電流継電器
2E	過負荷・欠相継電器

- 注記)
1. は今回施工範囲を示す。
 2. は機能増設範囲を示す。
 3. は仮設範囲を示す。
 4. 注記なきものは既設を示す。

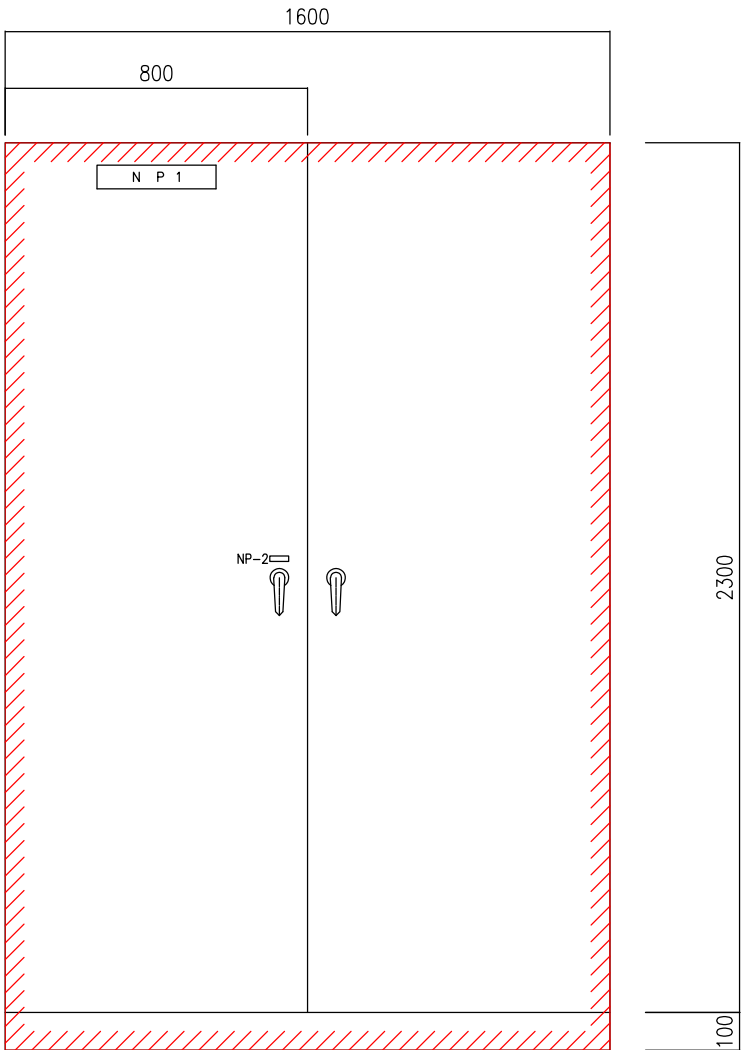


正面図

仮設動力制御盤
(LBZ-F)



側面図



背面図

30F

消化汚泥貯留タンク攪拌機 電気故障	汚泥供給ポンプ 電気故障	薬品供給ポンプ 電気故障	凝集混和タンク攪拌機 電気故障	No.1-1ろ布駆動装置 電気故障	No.1-2ろ布駆動装置 電気故障	No.1内ろ布調整装置 電気故障	No.1外ろ布調整装置 電気故障	ろ布洗浄水ポンプ 電気故障	ろ布洗浄水弁故障
消化汚泥貯留タンク 液位下限	汚泥供給ポンプ 機械故障	薬品供給ポンプ 機械故障	ろ布脱線	ろ布切断	内ろ布蛇行	内ろ布圧力低下	外ろ布蛇行	外ろ布圧力低下	雑用水受水槽 水位異常

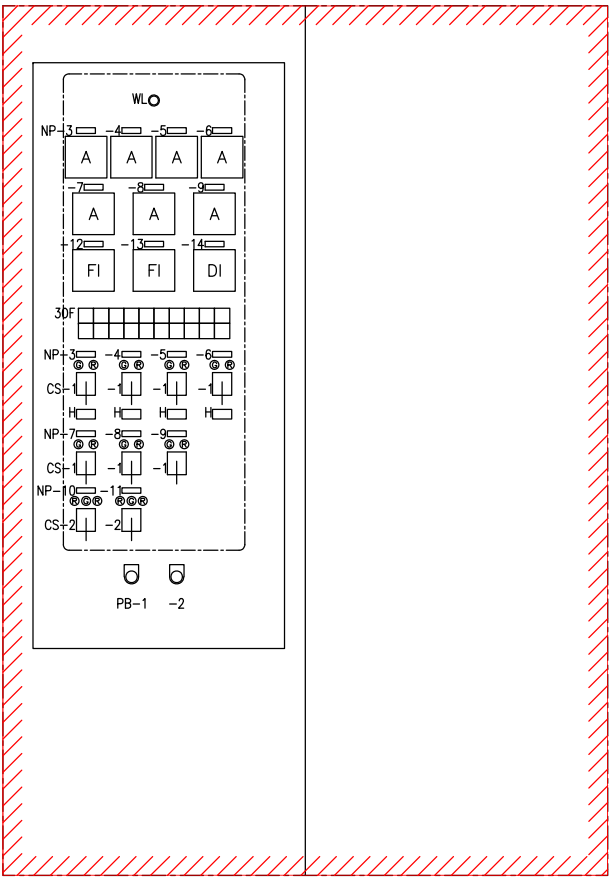
形式：屋外自立形

材質：一般鋼板

略記号	NP-No	名 称	面 数			備 考
			既設	今回	全体	
LBZ-F	1	仮設動力制御盤				
	2	LBZ-F				
	3	消化汚泥貯留タンク攪拌機				
	4	No.1汚泥供給ポンプ				
	5	No.1薬品供給ポンプ				
	6	No.1ろ布洗浄水ポンプ				
	7	No.1-1ろ布駆動装置				
	8	No.1-2ろ布駆動装置				
	9	No.1凝集混和タンク攪拌機				
	10	No.1外ろ布調整装置				
	11	No.1内ろ布調整装置				
	12	薬品供給量				
	13	汚泥供給量				
	14	汚泥濃度				

凡 例

記 号	名 称
C S-1	操作スイッチ (停止→運転)
-2	操作スイッチ (逆転→停止→正転)
P B-1	故障復帰
-2	ランプテスト
H	運転時間計



内部図

注記)

1. は今回施工範囲を示す。
2. は機能増設範囲を示す。
3. は仮設範囲を示す。
4. 注記なきものは既設を示す。

監視制御設備特記仕様

第1節 工事範囲

第1条 概 要

1. 汚泥脱水設備の更新に伴い、各機器の操作及び状態・計測値の監視、記録、積算を可能にするため、既設監視制御設備の新設、および機能増設を行う。

第2条 工事範囲

下記に記載した工事内容を行うものとする。

1. 第2節記載機器の製作、据付、調整工事
2. 第2節記載機器の機能増設工事
3. 第2節記載機器の相互間配線、配管、および接続工事
4. その他必要な工事

第3条 工事上の制約条件

1. 本工事は、運用中の下水処理場（永平寺町中央浄化センター）での工事であり、基本的には運用休止することなく工事を実施すること。配線の繋ぎ替え等により施設を停止する必要がある場合には、最低限の範囲・時間となるよう計画的に工事を実施すること。
2. 施設の停止については、監督員と事前に調整し、了承を得ること。

第2節 機 器

第1条	計装変換器盤（KP-1～3）機能増設	1 式
第2条	コントローラ・テレメータ盤（SQC/TM-1）機能増設	1 式
第3条	LCD 監視制御装置（LCD-1）機能増設	1 式
第4条	テレメータ盤（TM-E-1）機能増設	1 式 （五領川設置）
第5条	ルータ収納盤（TM-E-2）	1 式 （五領川設置）
第6条	制御バス接続装置（C-IF-01）機能増設	1 式 （五領川設置）
第7条	LCD 監視制御装置（LCD-01, 02）機能増設	1 式 （五領川設置）

第3節 機器仕様

第1条 計装変換器盤（KP-1～3）機能増設

1. 数 量 1 式
2. 機能増設概要
 - （1）計装品の更新に伴い、必要な機能増設を行う。
3. 機能増設詳細
 - （1）補助継電器 1 式
 - （2）電源用アレスタ 1 式

- | | |
|--|-----|
| (3) 信号用アレスタ | 1 式 |
| (4) 不要器具の取外し
(アレスタ、精密抵抗、手動設定器、演算変換器等) | 1 式 |
| (5) その他必要なもの | 1 式 |

第2条 コントローラ・テレメータ盤 (SQC/TM-1) 機能増設

1. 数 量 1 式
2. 機能増設概要
 - (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。
 - (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。
3. 機能増設詳細

(1) データ伝送機能構築	IP-VPN 回線
(2) I/F カード交換	1 式
(3) ONU (NTT 支給品)	1 式
(4) ルータ	1 式
(5) S/W 機能増設	1 式
(6) 入出力点数追加	DI 約 98 点 PI 約 2 点
(7) 入出力点数削除	DI 約 21 点
(8) 伝送点数追加 (上位)	DI 約 98 点
(9) 伝送点数削除 (上位)	DI 約 21 点
(10) 伝送点数追加 (テレメータ)	DI 約 3 点
(11) 盤銘板交換	1 式 交換後：コントローラ・テレメータ盤 1
(12) その他必要なもの	1 式
4. その他
 - (1) 盤内実装器具の追加に伴い、1 面増設する。増設盤は「コントローラ・テレメータ盤 2 (SQC-TM-2)」とする。

第3条 LCD 監視制御装置 (LCD-1) 機能増設

1. 数 量 1 式
2. 機能増設概要
 - (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。
 - (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。
3. 機能増設詳細

(1) 処理点数追加	DI 約 98 点
------------	-----------

	PI	約 2 点
(2) 処理点数削除	DI	約 21 点
(3) 追加画面枚数		約 4 枚
(4) 削除画面枚数		約 4 枚
(5) 改修帳票枚数		約 6 枚 (日報・月報・年報：各 2 枚)
(6) その他必要なもの		1 式

第 4 条 テレメータ盤 (TM-E-1) 機能増設 (五領川浄化センター設置)

1. 数 量 1 式
2. 機能増設概要
 - (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。
 - (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。
3. 機能増設詳細

(1) I/F カード交換	1 式
(2) S/W 機能増設	1 式
(3) 伝送点数追加 (テレメータ)	DI 約 3 点
(4) 伝送点数追加 (FL-net)	DI 約 3 点
(5) その他必要なもの	1 式

第 5 条 ルータ収納盤 (TM-E-2) (五領川浄化センター設置)

1. 数 量 1 面
2. 形 式 屋内壁掛形
3. 寸 法 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する
4. 仕 様

(1) 配線用遮断器 2P 50AF	1 個
(2) ONU (NTT 支給品)	1 式
(3) ルータ	1 式
(4) その他必要なもの	1 式

第 6 条 制御バス接続装置 (C-IF-01) 機能増設 (五領川浄化センター設置)

1. 数 量 1 式
2. 機能増設概要
 - (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。
 - (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。
3. 機能増設詳細

(1) 伝送点数追加 (FL-net)	DI 約 3 点
---------------------	----------

- | | | |
|----------------|----|-------|
| (2) 伝送点数追加(上位) | DI | 約 3 点 |
| (3) その他必要なもの | | 1 式 |

第7条 LCD 監視制御装置 (LCD-01/02) 機能増設 (五領川浄化センター設置)

1. 数 量 1 式

2. 機能増設概要

- (1) 汚泥脱水設備の入出力項目変更に伴い、必要な機能増設を行う。
- (2) 永平寺町中央浄化センターから五領川浄化センター間のテレメータ回線の変更に伴い、必要な機能増設を行う。

3. 機能増設詳細

- | | | |
|--------------|----|-------|
| (1) 処理点数追加 | DI | 約 3 点 |
| (2) 改修画面枚数 | | 約 4 枚 |
| (3) その他必要なもの | | 1 式 |

仮設設備特記仕様

第1節 工事範囲

第1条 概 要

1. 汚泥脱水設備の更新に伴い、工事期間中は仮設設備を設置する。

第2条 工事範囲

下記に記載した工事内容を行うものとする。

1. 第2節記載機器の製作、据付、調整工事
2. 第2節記載機器の相互間配線、配管、および接続工事
3. 盤架台築造工事
4. その他必要な工事

第3条 工事上の制約条件

1. 本工事は、運用中の下水処理場（永平寺町中央浄化センター）での工事であり、基本的には運用休止することなく工事を実施すること。配線の繋ぎ替え等により施設を停止する必要がある場合には、最低限の範囲・時間となるよう計画的に工事を実施すること。
2. 施設の停止については、監督員と事前に調整し、了承を得ること。

第2節 機 器

- | | |
|--------------------|-----|
| 第1条 仮設動力制御盤（LBZ-F） | 1 式 |
|--------------------|-----|

第3節 機器仕様

第1条 仮設動力制御盤（LBZ-F）

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 数 量 | 1 面 |
| 2. 形 式 | 屋外自立形 |
| 3. 寸 法 | 設計図を参照とし、詳細は承諾図により決定する |
| 4. 仕 様 | |
| (1) 5.5kW 用 非可逆回路 | 1 台 |
| (2) 3.7kW 用 非可逆回路 | 1 台 |
| (3) 1.5kW 用 非可逆回路 | 3 台 |
| (4) 0.4kW 用 非可逆回路 | 2 台 |
| (5) 0.1kW 用 可逆回路 | 2 台 |
| (6) 配線用遮断器 3P 100AF | 1 個 |
| (7) 配線用遮断器 3P 50AF | 1 個 |
| (8) 配線用遮断器 2P 50AF | 2 個 |

(9)	漏電用遮断器	3P 50AF	9 個
(10)	単相変圧器	1kVA 200/100V	1 台
(11)	2 E リレー		1 個
(12)	計器用変流器		7 個
(13)	補助継電器		1 式
(14)	限時継電器		1 式
(15)	電流計		7 個
(16)	流量指示計		2 個
(17)	濃度指示計		1 個
(18)	運転時間計		4 個
(19)	操作スイッチ		9 個
(20)	故障表示灯		1 式
(21)	状態信号灯		1 式
(22)	押釦スイッチ		2 個
(23)	スペースヒータ		1 式
(24)	その他必要なもの		1 式

運転操作方案

第1節 共通事項

本工事の運転操作方案は、標準的な機器の運転操作の概要を示しているものであり、詳細については、打ち合わせによって決定する。

(1) 運転方式

運転方式の表現は、操作場所、切換方式、条件及び符合で表現する。

a) 操作場所の表し方

該当する操作場所内にある切換スイッチ（COS）、操作スイッチ（CS）を破線で囲み、操作場所を明記する。

b) 切換方式、操作方式の表し方

切換スイッチ（COS）、操作スイッチ（CS）等の符号にて明記する。

C O S	
Z	Z

: 切換スイッチ (Z: 操作場所, 運転モード等を記入)

C S	
Z	Z

: 操作スイッチ (Z: 操作方式を記入)

SS+MS	
Z	Z

: 2拳動スイッチ (Z: 操作方式を記入)

P B S	
Z	Z

: 押釦スイッチ (Z: 操作方式を記入)

c) 運転条件の表し方

切運転に必要な各条件を項目にして明記する。

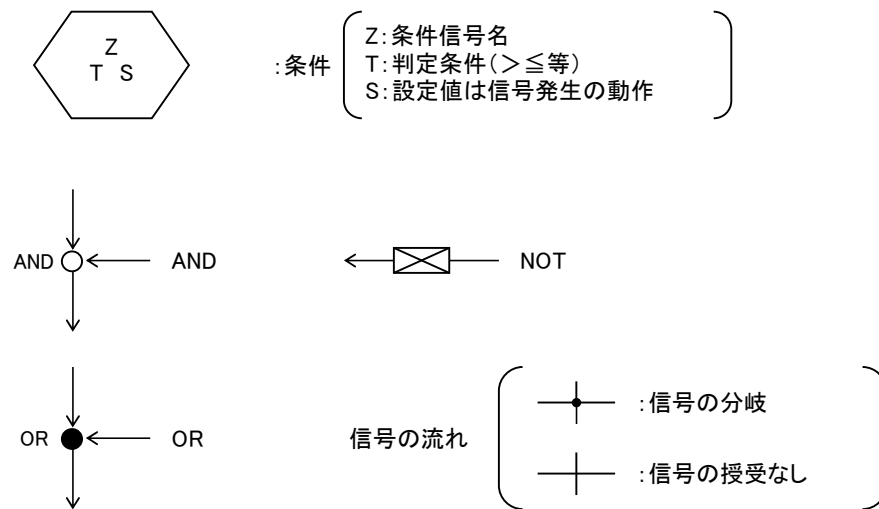
d) 制御機器の表し方

制御機器の制御状態と共に明記する。

X
Y

: 制御機器 (X: 機器名称, Y: 状態)

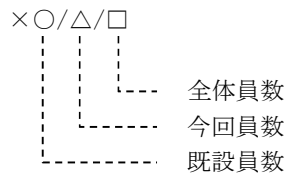
e) 各種条件符号の表し方



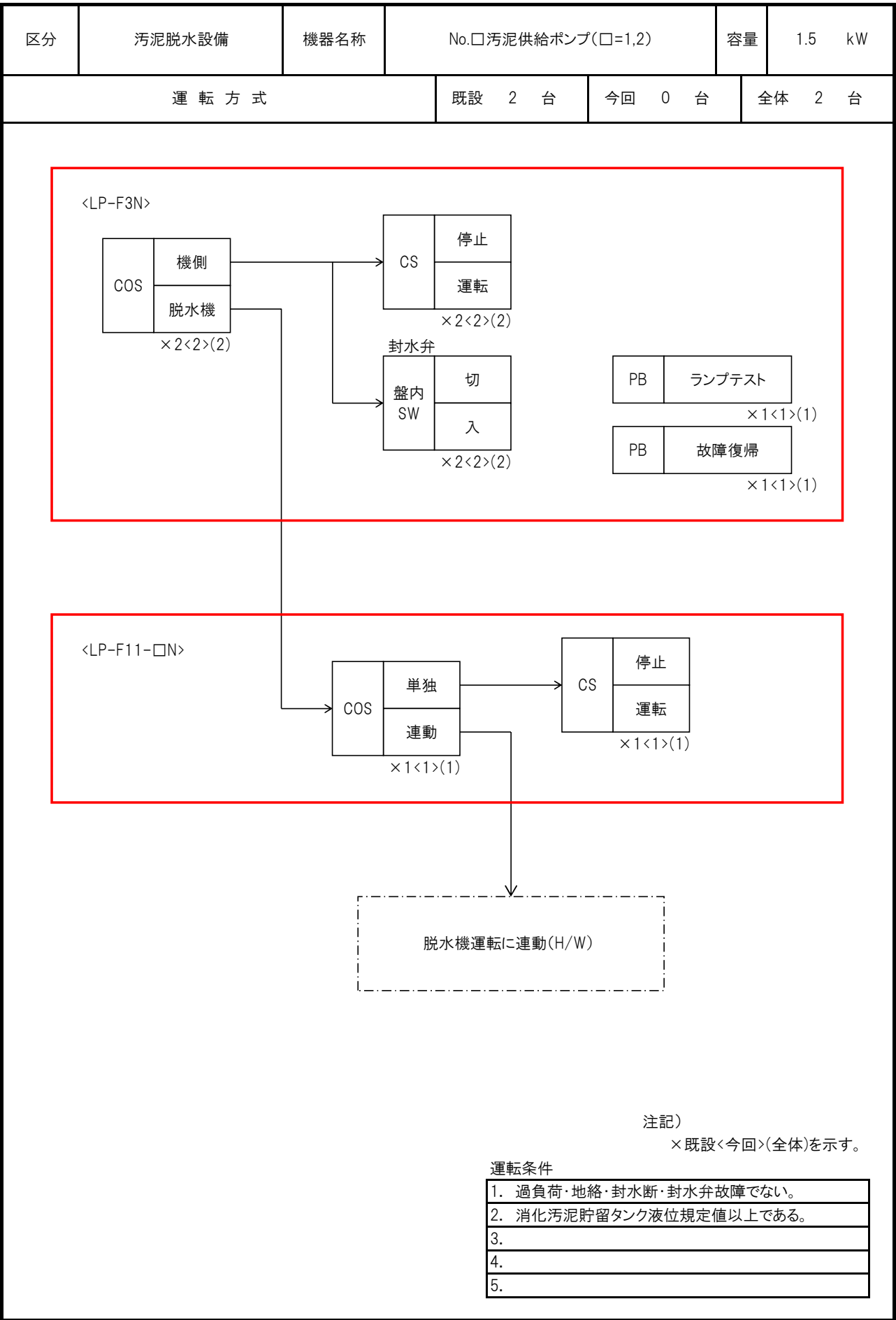
(2) 表示方式

- 表示方式の表現は，運転，状態，故障表示に分類し，該当する項目に○印を記入する。
- 停止条件の表し方
 - T：遮断
 - S：遮断不可
 - K：軽故障（故障表示のみ）
- 過負荷は，MCCBトリップ及びサーマルリレーONのいずれかにより表示する。

(3) 員数は，下記とする。



	項 目	停止 条件	中央浄化センター							五領川		備 考
			LP- F1N	LP- F3N		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	消化汚泥貯留タンク攪拌機 停止		GL			GL		○		○		
	運 転		RL			RL		○		○		
故 障 表 示	消化汚泥貯留タンク攪拌機 過負荷	T	OL			OL		○		○		
	地 絡	T	OL					○				
	消化汚泥貯留タンク 液位異常高							○		○		
	液位異常低			OL				○		○		
計 器 類	消化汚泥貯留タンク攪拌機 電流		○									
	運 転 時 間					○			○			
	消化汚泥貯留タンク 液位							○	○	○		



入

× 2<2>(2)

PB

ランプテスト

× 1<1>(1)

PB

故障復帰

× 1<1>(1)

<LP-F11-□N>

COS

単独

連動

× 1<1>(1)

CS

停止

運転

× 1<1>(1)

脱水機運転に連動(H/W)

注記)

× 既設<今回>(全体)を示す。

運転条件

1.	過負荷・地絡・封水断・封水弁故障でない。
2.	消化汚泥貯留タンク液位規定値以上である。
3.	
4.	
5.	

	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考	
			LP- F3N	LP-F11 -□N		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD		保守
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.□汚泥供給ポンプ 停止		GL	GL		GL		○		○		
	運転		RL	RL		RL		○		○		
故 障 表 示	No.□汚泥供給ポンプ 過負荷	T	OL	OL	OL		○ ○ ○ ○		○			
	地絡	T	OL									
	封水断	T	OL									
	封水弁故障	T	OL									
	計 器 類	No.□汚泥供給ポンプ 電流		○								
運転時間					○			○				
汚泥供給量				○			○		○			
汚泥供給量積算								○				
汚泥供給ポンプ 汚泥濃度				○			○	○	○			

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□薬品供給ポンプ(□=1,2)		容量	0.4 kW
運 転 方 式			既設 2 台	今回 0 台	全体 2(1) 台	

<LP-F4N>

COS機側脱水機

×2<2>(2)

→

CS

停止
運転

×2<2>(2)

PB

ランプテスト

×1<1>(1)

PB

故障復帰

×1<1>(1)

<LP-F11-□N>

COS

単独
連動

×1<1>(1)

→

CS

停止
運転

×1<1>(1)

↓

脱水機運転に連動(H/W)

注記)

×既設<今回>(全体)を示す。

運転条件

1. 過負荷・地絡でない。
2. 薬品溶解タンク液位規定値以上である。
3. 薬品流出弁開である。
4.
5.

	項 目	停止 条件	中央浄化センター							五領川		備 考
			LP- F4N	LP-F5 -□N	LP-F11 -□N	CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.□薬品供給ポンプ 停止		GL		GL	GL		○		○		
	運転		RL		RL	RL		○		○		
故 障 表 示	No.□薬品供給ポンプ 過負荷	T	OL					○				
	地絡	T	OL		OL	OL		○		○		
	No.□薬液流出弁 故障	T		OL				○				
	No.□薬品溶解タンク 液位上限			OL								
	液位下限	T	OL	OL				○		○		
	No.□薬品ホツパ レベル下限			OL								
計 器 類	No.□薬品供給ポンプ 電流		○									
	運転時間					○			○			
	薬品供給量				○			○		○		
	薬品供給量積算								○			

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□薬品供給機(□:1,2) No.□薬品溶解タンク攪拌機(□:1,2)		容量	0.2×2 0.75×2 kW		
運 転 方 式			既設	0 0 台	今回	2 2 台	全体	2 2 台

<LP-F5-□N>

COS

手動

自動

×1<1>(1)

No.□薬品供給機

CS

停止

運転

×1<1>(1)

No.□薬品溶解タンク攪拌機

CS

停止

運転

×1<1>(1)

No.□薬液流出弁

CS

閉

開

×1<1>(1)

No.□-1薬品溶解水弁

CS

閉

開

×1<1>(1)

No.□-2薬品溶解水弁

CS

閉

開

×1<1>(1)

No.□エア供給弁

CS

閉

開

×1<1>(1)

PB

ランプテスト

×1<1>(1)

PB

故障復帰

×1<1>(1)

薬品溶解タンクレベルによる自動運転(H/W)

注記)

×既設<今回>(全体)を示す。

運転条件

1. 過負荷・地絡・PPC動作でない。

2. 流出弁故障でない。

3. 溶解水弁故障でない。

4. エア供給弁故障でない。

5. 薬品溶解タンク液位下限でない。

	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考
			LP-F5 -□N		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.□薬品供給機 停止		GL		GL		○		○		
	運転		RL		RL		○		○		
	No.□薬品溶解タンク攪拌機 停止		GL		GL		○		○		
	運転		RL		RL		○		○		
	No.□薬液流出弁 閉		GL								
	開		RL								
	No.□-1薬品溶解水弁 閉		GL								
	開		RL								
	No.□-2薬品溶解水弁 閉		GL								
	開		RL								
	No.□エア-供給弁 閉		GL								
	開		RL								
故 障 表 示	No.□薬品供給機 過負荷	T	OL				○				
	地絡	T	OL		OL		○				
	PPC動作	T	OL				○				
	No.□薬液流出弁 故障		OL				○		○		
	No.□-1薬品溶解水弁 故障		OL				○				
	No.□-2薬品溶解水弁 故障		OL				○				
	No.□エア-供給弁 故障		OL				○				
	No.□薬品溶解タンク攪拌機 過負荷	T	OL		OL		○		○		
	地絡	T	OL				○				
計 器 類	No.□薬品供給機 電流		○								
	運転時間				○			○			
	No.□薬品溶解タンク攪拌機 電流		○								
	運転時間				○			○			

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□ろ布洗浄水ポンプ(□:1,2)		容量	5.5 kW
運 転 方 式			既 設 2 台	今 回 0 台	全 体 2(1) 台	
<LP-F8N> COS 単独 連動 × 2<2>(2) → CS 停止 運転 × 2<2>(2) PB ランプテスト × 1<1>(1)						

PB

故障復帰

× 1<1>(1)

ろ布洗浄水弁に連動(H/W)

注記)

× 既設<今回>(全体)を示す。

運転条件

1. 過負荷・地絡でない。
2.
3.
4.
5.

[illegible]

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□空気圧縮機(□:1,2)		容量	0.75 kW					
運 転 方 式			既設 1 台	今回 1 台	全体 2(1) 台						
<LP-F10N> COS 手動 No.1自動 No.2自動 ×1<1>(1) → CS 停止 運転 ×2<2>(2) PB ランプテスト ×1<1>(1) PB 故障復帰 ×1<1>(1) ↓ ↓ 圧カスイッチによりNo.□運転(H/W) 注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1. 過負荷・地絡でない。</td></tr><tr><td>2. 空気槽圧力上昇でない。</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1. 過負荷・地絡でない。	2. 空気槽圧力上昇でない。	3.	4.	5.
1. 過負荷・地絡でない。											
2. 空気槽圧力上昇でない。											
3.											
4.											
5.											

	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考
			LP- F10N			CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.□空気圧縮機 停止		GL			GL		○		○	
	運転		RL			RL		○		○	
故 障 表 示	No.□空気圧縮機 過負荷	T	OL			OL		○			
	地絡	T	OL					○			
	空気槽 圧力上昇	T	OL					○			
	圧力低下		OL								
計 器 類	No.□空気圧縮機 電流		○								
	運転時間					○		○			

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□凝集混和タンク攪拌機(□=1,2)		容量	1.5	kW				
運 転 方 式			既 設	2	台	今 回	0	台	全 体	2	台

<LP-F11-□N>
(No.□脱水機設備で共通)

COS	単 独	→	CS	停 止
	連 動			運 転

×1<1>(1)

×1<1>(1)

(No.□脱水機設備で共通)

PB	ランプテスト
----	--------

(No.□脱水機設備で共通) ×1<1>(1)

PB	故障復帰
----	------

(No.□脱水機設備で共通) ×1<1>(1)

PB	警報停止
----	------

×1<1>(1)

ろ布駆動装置運転に伴う
脱水設備連動運転(H/W)

注記)
×既設<今回>(全体)を示す。

運転条件

1.	過負荷・地絡でない。
2.	
3.	
4.	
5.	

[illegible]

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□-1ろ布駆動装置(□=1,2) No.□-2ろ布駆動装置(□=1,2)		容量	1.5×2 0.4×2 kW
運 転 方 式			既設 2 2 台	今回 0 0 台	全体 2 2 台	
<LP-F11-□N> (No.□脱水機設備で共通) COS 単独 連動 ×1<1>(1) No.□-1ろ布駆動装置 CS 停止 運転 ×1<1>(1) No.□-2ろ布駆動装置 CS 停止 運転 ×1<1>(1) (No.□脱水機設備で共通) PB ランプテスト ×1<1>(1) (No.□脱水機設備で共通) PB 故障復帰 ×1<1>(1) (No.□脱水機設備で共通) PB 警報停止 ×1<1>(1) ろ布駆動装置運転に伴う 脱水設備連動運転(H/W)						

注記)

×既設<今回>(全体)を示す。

運転条件

1. 過負荷・地絡・過トルクでない。
2. ろ布圧力低下でない。
3.
4.
5.

	項 目	停止 条件	中央浄化センター					五領川		備 考
			LP-F11 -□N		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.□-1ろ布駆動装置 停止		GL		GL		○※1		○※1	
	運転		RL		RL		○※2		○※2	
	No.□-2ろ布駆動装置 停止		GL		GL		○※1		○※1	
	運転		RL		RL		○※2		○※2	
										※1
										No.□脱水機停止 で一括表示
										※2
										No.□脱水機運転 で一括表示
故 障 表 示	No.□-1ろ布駆動装置 過負荷	T	OL				○		○ ※3	
	地絡	T	OL		OL		○			
	過トルク	T	OL				○			
	外ろ布圧力低下	T	OL				○			
	内ろ布圧力低下	T	OL				○			
	No.□-2ろ布駆動装置 過負荷	T	OL		OL		○			
	地絡	T	OL				○			※3
										No.□脱水機故障 で一括表示
計 器 類	No.□-1ろ布駆動装置 電流		○							
	No.□-2ろ布駆動装置 電流		○							
	No.□脱水機 運転時間							○		

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□外ろ布調整装置(□=1,2) No.□内ろ布調整装置(□=1,2)		容量	0.1×2 0.1×2 kW
運 転 方 式			既設 2 2 台	今回 0 0 台	全体 2 2 台	
<LP-F11-□N> (No.□脱水機設備で共通) COS 単独 連動 ×1<1>(1) No.□外ろ布調整装置 CS 逆転 停止 正転 ×1<1>(1) No.□内ろ布調整装置 CS 逆転 停止 正転 ×1<1>(1) (No.□脱水機設備で共通) PB ランプテスト (No.□脱水機設備で共通) ×1<1>(1) (No.□脱水機設備で共通) PB 故障復帰 (No.□脱水機設備で共通) ×1<1>(1) (No.□脱水機設備で共通) PB 警報停止 ×1<1>(1) ろ布駆動装置運転に伴う 脱水設備連動運転(H/W)						

	項 目	停止 条件	中央浄化センター					五領川		備 考	
			LP-F11 -□N			CC	計装盤	LCD	帳票		LCD
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.□外ろ布調整装置 停止		GL			GL		○※1		○※1	
	逆転		RL			RL		○※2		○※2	
	正転		RL			RL					
	No.□内ろ布調整装置 停止		GL			GL		○※1		○※1	
	逆転		RL			RL		○※2		○※2	
	正転		RL			RL					
											※1
											No.□脱水機停止 で一括表示
											※2
											No.□脱水機運転 で一括表示
	故 障 表 示	No.□外ろ布調整装置 過負荷	T	OL			OL		○		○ ※3
地絡		T	OL					○			
蛇行			OL					○			
逆転限								○			
正転限								○			
No.□内ろ布調整装置 過負荷		T	OL			OL		○			
地絡		T	OL					○			
蛇行			OL					○			
逆転限								○			
正転限								○			
No.□外・内ろ布調整装置 ろ布脱線			OL					○			
ろ布切断			OL					○			
											※3
											No.□脱水機故障 で一括表示
計 器 類											

区分	汚泥脱水設備	機器名称	No.□ケーキ移送コンベヤ(□:1,2)		容量	0.4 kW					
運 転 方 式			既設 0 台	今回 2 台	全体 2 台						
<LP-F12> COS 単独 連動 ×2<2>(2) → CS 寸逆 停止 運転 ×2<2>(2) PB ランプテスト ×1<1>(1) PB 故障復帰 ×1<1>(1) ろ布駆動装置運転に伴う 脱水設備連動運転(H/W) 注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1. 過負荷・地絡・PPC動作でない。</td></tr><tr><td>2. 非常停止でない。</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1. 過負荷・地絡・PPC動作でない。	2. 非常停止でない。	3.	4.	5.
1. 過負荷・地絡・PPC動作でない。											
2. 非常停止でない。											
3.											
4.											
5.											

	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考
			LP-F12			CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.□ケーキ移送コンベヤ 停止		GL			GL		○		○	
	寸逆		RL			RL		○		○	
	運転		RL			RL					
故 障 表 示	No.□ケーキ移送コンベヤ 過負荷	T	OL					○			
	地絡	T	OL			OL		○		○	
	PPC動作	T	OL					○			
	非常停止	T	OL					○			
計 器 類	No.□ケーキ移送コンベヤ 運転時間							○			

区分	汚泥脱水設備	機器名称	ケーキ貯留ホツパ		容量	1.5 kW					
運 転 方 式			既設 0 台	今回 1 台	全体 1 台						
電源送り 注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1.</td></tr><tr><td>2.</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1.	2.	3.	4.	5.
							1.				
							2.				
							3.				
							4.				
5.											

	項 目	停止 条件	中央浄化センター							五領川		備 考
			現場盤			CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	全開							○		○		
	寸開							○		○		
故 障 表 示	故障	T						○		○		
	満杯	T						○		○		
	電源送り断	T						○		○		
計 器 類	ケーキ貯留ホツバ重量							○	○	○		

区分	汚泥脱水設備	機器名称	除湿機		容量	0.2 kW					
運 転 方 式			既設 0 台	今回 1 台	全体 1 台						
電源送り 注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1.</td></tr><tr><td>2.</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1.	2.	3.	4.	5.
							1.				
							2.				
							3.				
							4.				
5.											

	項 目	停止 条件	中央浄化センター							五領川		備 考
			現場盤			CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示												
故 障 表 示	電源送り断	T						○		○		
計 器 類												

区分	汚泥脱水設備 (仮設動力制御盤)	機器名称	消化汚泥貯留タンク攪拌機(既設)		容量	3.7 kW							
運 転 方 式			既設 1 台	今回 0 台	全体 0 台								
<LBZ-F> 消化汚泥貯留タンク攪拌機 <table border="1"><tr><td rowspan="2">CS</td><td>停止</td></tr><tr><td>運転</td></tr></table> ×0<1>(0) (仮設動力制御盤で共通) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>ランプテスト</td></tr></table> ×0<1>(0) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>故障復帰</td></tr></table> ×0<1>(0)							CS	停止	運転	PB	ランプテスト	PB	故障復帰
CS	停止												
	運転												
PB	ランプテスト												
PB	故障復帰												
注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1. 過負荷・地絡でない。</td></tr><tr><td>2. 消化汚泥貯留タンク液位規定値以上である。</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1. 過負荷・地絡でない。	2. 消化汚泥貯留タンク液位規定値以上である。	3.	4.	5.		
1. 過負荷・地絡でない。													
2. 消化汚泥貯留タンク液位規定値以上である。													
3.													
4.													
5.													

	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考
			LBZ-F		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	消化汚泥貯留タンク攪拌機 停止		RL				○				
	運 転		GL				○				
故 障 表 示	消化汚泥貯留タンク攪拌機 電気故障	T	OL				○				
	消化汚泥貯留タンク 液位異常低		OL				○				
	液位異常高						○				
計 器 類	消化汚泥貯留タンク攪拌機 電流		○								

区分	汚泥脱水設備 (仮設動力制御盤)	機器名称	No.1汚泥供給ポンプ(既設)		容量	1.5 kW										
運 転 方 式			既設 1 台	今回 0 台	全体 1 台											
<LBZ-F> No.1汚泥供給ポンプ <table><tr><td rowspan="2">CS</td><td>停止</td></tr><tr><td>運転</td></tr></table> ×0<1>(0) No.1汚泥供給ポンプ 封水弁 <table><tr><td rowspan="2">盤内 SW</td><td>切</td></tr><tr><td>入</td></tr></table> ×0<1>(0) (仮設動力制御盤で共通) <table><tr><td>PB</td><td>ランプテスト</td></tr></table> ×0<1>(0) <table><tr><td>PB</td><td>故障復帰</td></tr></table> ×0<1>(0)							CS	停止	運転	盤内 SW	切	入	PB	ランプテスト	PB	故障復帰
CS	停止															
	運転															
盤内 SW	切															
	入															
PB	ランプテスト															
PB	故障復帰															
注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table><tr><td>1. 過負荷・地絡・封水断・封水弁故障でない。</td></tr><tr><td>2. 消化汚泥貯留タンク液位規定値以上である。</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1. 過負荷・地絡・封水断・封水弁故障でない。	2. 消化汚泥貯留タンク液位規定値以上である。	3.	4.	5.					
1. 過負荷・地絡・封水断・封水弁故障でない。																
2. 消化汚泥貯留タンク液位規定値以上である。																
3.																
4.																
5.																

	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考
			LBZ-F		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.1汚泥供給ポンプ 停止		RL				○				
	運転		GL				○				
故 障 表 示	No.1汚泥供給ポンプ 電気故障	T	OL				○				
	機械故障	T	OL								
計 器 類	No.1汚泥供給ポンプ 電流		○								
	汚泥供給量		○								
	汚泥濃度		○								

区分	汚泥脱水設備 (仮設動力制御盤)	機器名称	No.1薬品供給ポンプ(既設)		容量	0.4 kW
運 転 方 式			既設 1 台	今回 0 台	全体 0 台	

<LBZ-F>

No.1薬品供給ポンプ

CS	停止
	運転

×0<1>(0)

No.1薬品供給ポンプ 封水弁

盤内 SW	切
	入

×0<1>(0)

(仮設動力制御盤で共通)

PB	ランプテスト
----	--------

×0<1>(0)

PB	故障復帰
----	------

×0<1>(0)

注記)

×既設<今回>(全体)を示す。

運転条件

1. 過負荷・地絡でない。
2. 薬品溶解タンク液位規定値以上である。
3. 薬品流出弁開である。
4.
5.

	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考
			LBZ-F		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.1薬品供給ポンプ 停止		RL				○				
	運転		GL				○				
故 障 表 示	薬品供給ポンプ 電気故障	T	OL				○				
	機械故障	T	OL								
計 器 類	No.1薬品供給ポンプ 電流		○								
	薬品供給量		○								

区分	汚泥脱水設備 (仮設動力制御盤)	機器名称	No.1ろ布洗浄水ポンプ(既設)		容量	5.5 kW							
運 転 方 式			既設 1 台	今回 0 台	全体 1 台								
<LBZ-F> No.1ろ布洗浄水ポンプ <table border="1"><tr><td rowspan="2">CS</td><td>停止</td></tr><tr><td>運転</td></tr></table> ×0<1>(0) (仮設動力制御盤で共通) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>ランプテスト</td></tr></table> ×0<1>(0) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>故障復帰</td></tr></table> ×0<1>(0)							CS	停止	運転	PB	ランプテスト	PB	故障復帰
CS	停止												
	運転												
PB	ランプテスト												
PB	故障復帰												
注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1. 過負荷・地絡でない。</td></tr><tr><td>2.</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1. 過負荷・地絡でない。	2.	3.	4.	5.		
1. 過負荷・地絡でない。													
2.													
3.													
4.													
5.													

[illegible]

区分	汚泥脱水設備 (仮設動力制御盤)	機器名称	No.1凝集混和タンク攪拌機(既設)		容量	1.5 kW							
運 転 方 式			既設 1 台	今回 0 台	全体 1 台								
<LBZ-F> No.1凝集混和タンク攪拌機 <table border="1"><tr><td rowspan="2">CS</td><td>停止</td></tr><tr><td>運転</td></tr></table> ×0<1>(0) (仮設動力制御盤で共通) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>ランプテスト</td></tr></table> ×0<1>(0) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>故障復帰</td></tr></table> ×0<1>(0)							CS	停止	運転	PB	ランプテスト	PB	故障復帰
CS	停止												
	運転												
PB	ランプテスト												
PB	故障復帰												
注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1. 過負荷・地絡でない。</td></tr><tr><td>2.</td></tr><tr><td>3.</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5.</td></tr></table>							1. 過負荷・地絡でない。	2.	3.	4.	5.		
1. 過負荷・地絡でない。													
2.													
3.													
4.													
5.													

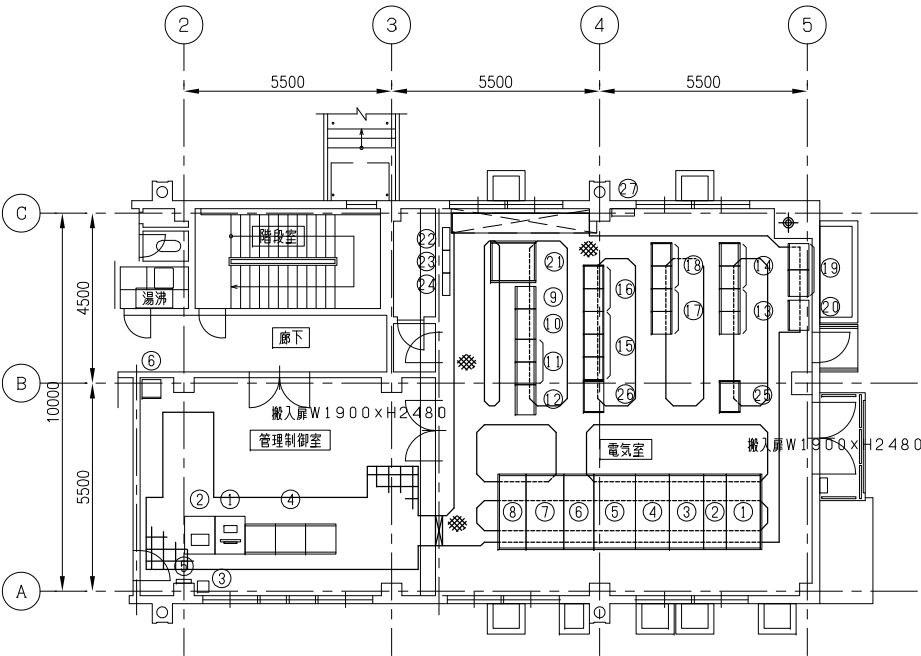
	項 目	停止 条件	中央浄化センター						五領川		備 考
			LBZ-F		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	保守	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.1凝集混和タンク攪拌機 停止		RL				○				
	運転		GL				○				
故 障 表 示	No.1凝集混和タンク攪拌機 電気故障	T	OL				○				
計 器 類	No.1凝集混和タンク攪拌機 電流		○								

区分	汚泥脱水設備 (仮設動力制御盤)	機器名称	No.1-1ろ布駆動装置(既設) No.1-2ろ布駆動装置(既設)		容量	1.5 0.4 kW										
運 転 方 式			既設 1 台	今回 0 台	全体 1 台											
<LBZ-F> No.1-1ろ布駆動装置 <table border="1"><tr><td rowspan="2">CS</td><td>停止</td></tr><tr><td>運転</td></tr></table> ×0<1>(0) No.1-2ろ布駆動装置 <table border="1"><tr><td rowspan="2">CS</td><td>停止</td></tr><tr><td>運転</td></tr></table> ×0<1>(0) (仮設動力制御盤で共通) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>ランプテスト</td></tr></table> ×0<1>(0) <table border="1"><tr><td>PB</td><td>故障復帰</td></tr></table> ×0<1>(0)							CS	停止	運転	CS	停止	運転	PB	ランプテスト	PB	故障復帰
CS	停止															
	運転															
CS	停止															
	運転															
PB	ランプテスト															
PB	故障復帰															
注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table border="1"><tr><td>1. 過負荷・地絡・過トルクでない。</td></tr><tr><td>2. ろ布圧力低下でない。</td></tr><tr><td>3. </td></tr><tr><td>4. </td></tr><tr><td>5. </td></tr></table>							1. 過負荷・地絡・過トルクでない。	2. ろ布圧力低下でない。	3.	4.	5.					
1. 過負荷・地絡・過トルクでない。																
2. ろ布圧力低下でない。																
3.																
4.																
5.																

	項 目	停止 条件	中央浄化センター					五領川		備 考
			LBZ-F		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD	
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.1-1ろ布駆動装置 停止		RL				○※1			
	運転		GL				○※2			
	No.1-2ろ布駆動装置 停止		RL				○※1			
	運転		GL				○※2			
										※1
										No.1脱水機停止 で一括表示
										※2
										No.1脱水機運転 で一括表示
故 障 表 示	No.1-1ろ布駆動装置 電気故障	T	OL				○※3			
	No.1-2ろ布駆動装置 電気故障	T	OL							
	外ろ布圧力低下	T	OL							
	内ろ布圧力低下	T	OL							
										※3
										No.1脱水機故障 で一括表示
	計 器 類	No.1-1ろ布駆動装置 電流		○						
No.1-2ろ布駆動装置 電流			○							

区分	汚泥脱水設備 (仮設動力制御盤)	機器名称	No.1外ろ布調整装置(既設) NO.1内ろ布調整装置(既設)		容量	0.1 0.1	kW																
運 転 方 式			既設	1 1	台	今回	0 0	台	全体	0 0	台												
<LBZ-F> No.1外ろ布調整装置 <table><tr><td rowspan="3">CS</td><td>逆転</td></tr><tr><td>停止</td></tr><tr><td>正転</td></tr></table> ×0<1>(0) No.1外ろ布調整装置 <table><tr><td rowspan="3">CS</td><td>逆転</td></tr><tr><td>停止</td></tr><tr><td>正転</td></tr></table> ×0<1>(0) (仮設動力制御盤で共通) <table><tr><td>PB</td><td>ランプテスト</td></tr></table> ×0<1>(0) <table><tr><td>PB</td><td>故障復帰</td></tr></table> ×0<1>(0)												CS	逆転	停止	正転	CS	逆転	停止	正転	PB	ランプテスト	PB	故障復帰
CS	逆転																						
	停止																						
	正転																						
CS	逆転																						
	停止																						
	正転																						
PB	ランプテスト																						
PB	故障復帰																						
注記) ×既設<今回>(全体)を示す。 運転条件 <table><tr><td>1.</td><td>過負荷・地絡でない。</td></tr><tr><td>2.</td><td></td></tr><tr><td>3.</td><td></td></tr><tr><td>4.</td><td></td></tr><tr><td>5.</td><td></td></tr></table>												1.	過負荷・地絡でない。	2.		3.		4.		5.			
1.	過負荷・地絡でない。																						
2.																							
3.																							
4.																							
5.																							

	項 目	停止 条件	中央浄化センター					五領川		備 考	
			LBZ-F		CC	計装盤	LCD	帳票	LCD		保守
運 転 表 示 ・ 状 態 表 示	No.1外ろ布調整装置 停止		RL				○※1				
	逆転		GL				○※2				
	正転		RL								
	No.1内ろ布調整装置 停止		RL				○※1				
	逆転		GL				○※2				
	正転		RL								
										※1	
										No.1脱水機停止	
										で一括表示	
										※2	
										No.1脱水機運転	
										で一括表示	
故 障 表 示	No.1外ろ布調整装置 電気故障	T	OL				○※3				
	蛇行		OL								
	逆転限										
	正転限										
	No.1内ろ布調整装置 電気故障	T	OL								
	蛇行		OL								
	逆転限										
	正転限										
	No.1外・内ろ布調整装置 ろ布脱線		OL								
	ろ布切断		OL								
										※3	
										No.1脱水機故障	
										で一括表示	
計 器 類											



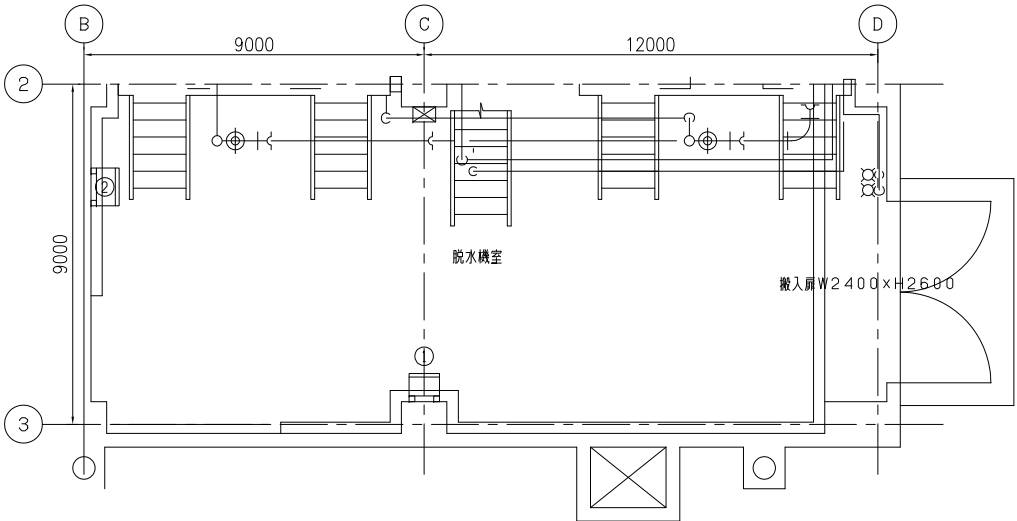
管理棟2階平面図 S=1:100

管理棟2階管理制御室

番号	盤記号	盤名 称	備 考
①	LC0-1	LCD監視制御装置	既 設
②		帳票出力用プリンタ	〃
③	UPS	汎用UPS	〃
④	KP-1~3	計装変換器盤	〃
⑤		非常通報装置	〃
⑥	LP-W	気象変換器盤	〃

管理棟2階電気室

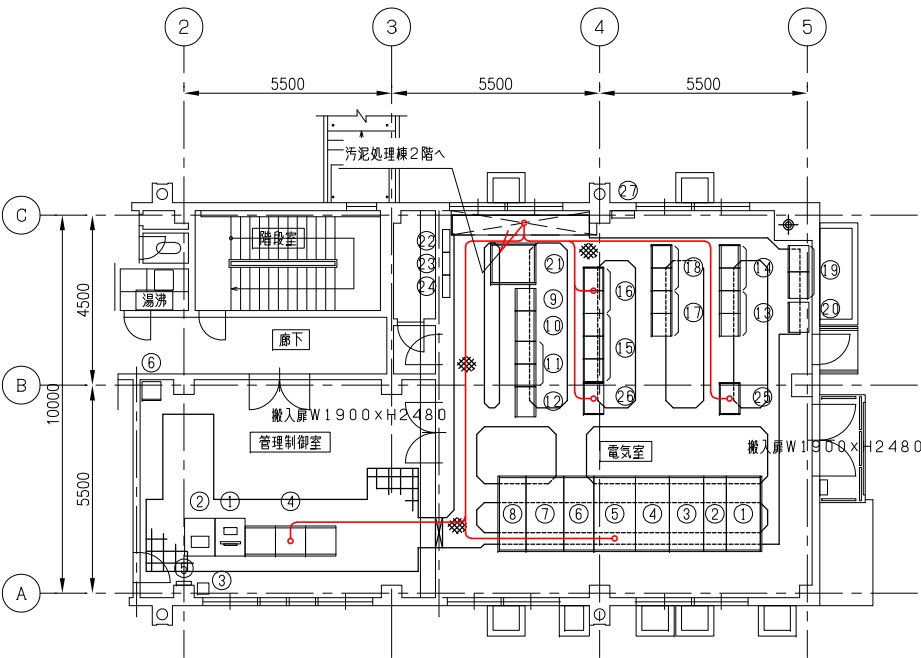
番号	盤記号	盤名 称	備 考
①	HP-1	引込盤	既 設
②	HP-2	受電盤	〃
③	HP-3	照明盤	〃
④	HP-4	No. 1 動力変圧器盤	〃
⑤	HP-5	低圧動力主幹盤	〃
⑥	HP-6	自家発電絡盤	〃
⑦	HP-7	No. 2 動力変圧器盤	〃
⑧	HP-8	No. 1 動力変圧器一次 / No. 2 動力変圧器一次盤	〃
⑨	CC-AN	沈砂池設備コントロールセンタ	〃
⑩	RY-AN	沈砂池設備補助継電器盤	〃
⑪	CC-BN	主ポンプ設備コントロールセンタ	〃
⑫	RY-BN	主ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑬	CC-C	調整槽初沈設備コントロールセンタ	〃
⑭	RY-C	調整槽初沈設備補助継電器盤	〃
⑮	CC-E	濃縮・消化タンク設備コントロールセンタ	〃
⑯	RY-E	濃縮・消化タンク設備補助継電器盤	〃
⑰	CC-F	脱水機設備コントロールセンタ	〃
⑱	RY-F	脱水機設備補助継電器盤	〃
⑲	RY-F3, 4	脱水機設備補助継電器盤	〃
⑳	LP-11	水処理低圧分電盤	〃
㉑	DC-1	直流電源盤	〃
㉒		照明分電盤	〃
㉓		建築照明盤	〃
㉔		建築動力盤	〃
㉕	SQC/TM-1	シーケンスコントローラ・テレメータ盤	〃
㉖	TB-1	入出力中継端子盤	〃
㉗		接地端子盤 (5P+2P)	〃



汚泥処理棟2階（下部）平面図 S=1:100

番号	盤記号	盤名 称	備 考
①	LP-E12-3	作業電源盤	既 設
②	LP-E13-2	No. 2 換気ファン盤	〃
③			

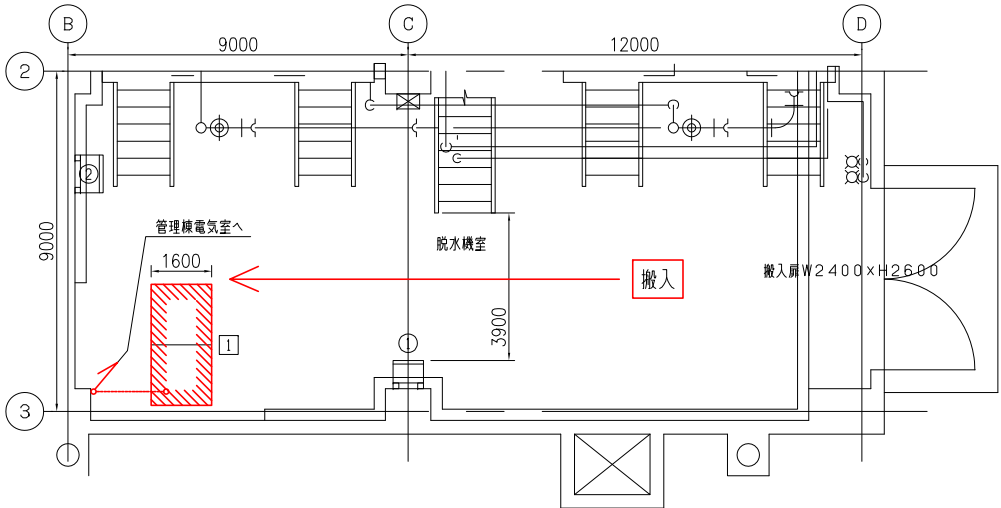
ステップ 1：仮設動力制御盤の設置
： 低圧動力主幹盤の予備フィードから
動力ケーブルを仮設配線
： 各盤から制御ケーブルを仮設配線



管理棟2階平面図 S=1:100

管理棟2階管理制御室			
番号	盤記号	盤名称	備考
①	LC0-1	LCD監視制御装置	既設
②		帳票出力用プリンタ	〃
③	UPS	汎用UPS	〃
④	KP-1~3	計装変換器盤	〃
⑤		非常通報装置	〃
⑥	LP-W	気象変換器盤	〃

管理棟2階電気室			
番号	盤記号	盤名称	備考
①	HP-1	引込盤	既設
②	HP-2	受電盤	〃
③	HP-3	照明盤	〃
④	HP-4	No. 1 動力変圧器盤	〃
⑤	HP-5	低圧動力主幹盤	〃
⑥	HP-6	自家発電給電盤	〃
⑦	HP-7	No. 2 動力変圧器盤	〃
⑧	HP-8	No. 1 動力変圧器一次 / No. 2 動力変圧器一次盤	〃
⑨	CC-AN	沈砂池設備制御センター	〃
⑩	RY-AN	沈砂池設備補助継電器盤	〃
⑪	CC-BN	主ポンプ設備制御センター	〃
⑫	RY-BN	主ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑬	CC-C	調整槽初沈設備制御センター	〃
⑭	RY-C	調整槽初沈設備補助継電器盤	〃
⑮	CC-E	濃縮・消化タンク設備制御センター	〃
⑯	RY-E	濃縮・消化タンク設備補助継電器盤	〃
⑰	CC-F	脱水機設備制御センター	〃
⑱	RY-F	脱水機設備補助継電器盤	〃
⑲	RY-F3, 4	脱水機設備補助継電器盤	〃
⑳	LP-11	水処理低圧分電盤	〃
㉑	DC-1	直流電源盤	〃
㉒		照明分電盤	〃
㉓		建築照明盤	〃
㉔		建築動力盤	〃
㉕	SQC/TM-1	シーケンスコントローラ・テレメータ盤	〃
㉖	TB-1	入出力中継端子盤	〃
㉗		接地端子盤 (5P+2P)	〃



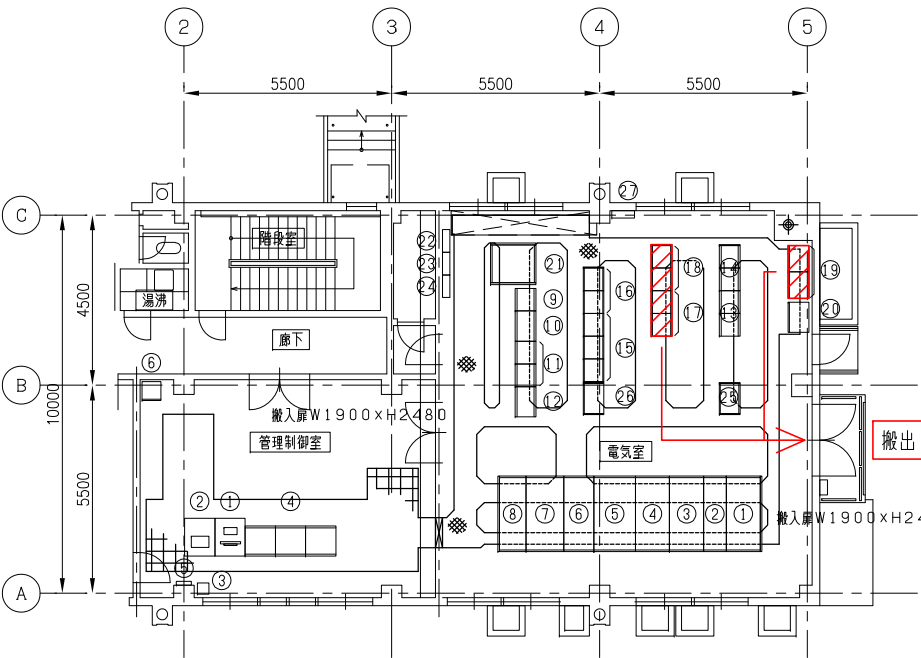
汚泥処理棟2階(下部)平面図 S=1:100

番号	盤記号	盤名称	備考
①	LP-E12-3	作業電源盤	既設
②	LP-E13-2	No. 2 換気ファン盤	〃
③			

番号	盤記号	盤名称	備考
1	LBZ-F	仮設動力制御盤	仮設

注記 1,  は、仮設範囲を示す。
2, その他特記無きは既設を示す。

ステップ2：既設盤の撤去



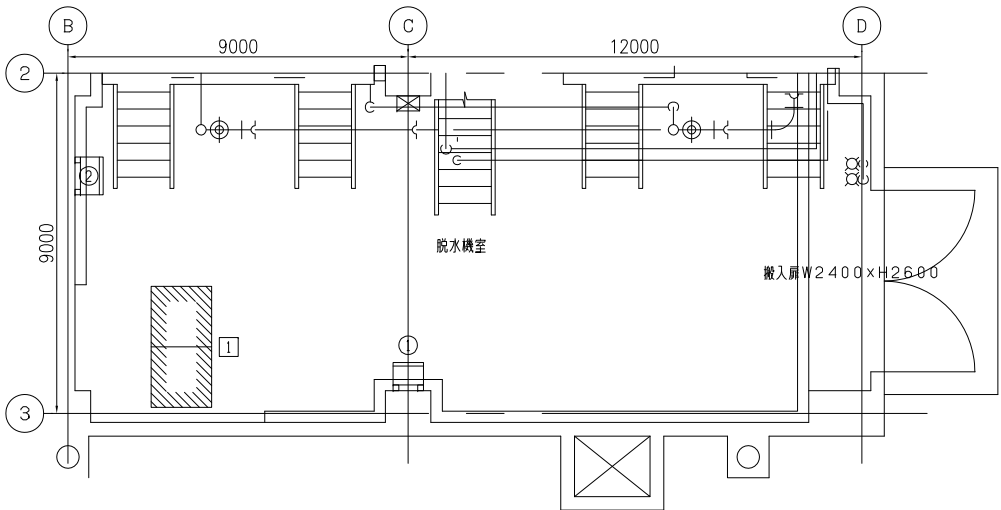
管理棟2階平面図 S=1:100

管理棟2階管理制御室

番号	盤記号	盤名称	備考
①	LC0-1	LCD監視制御装置	既設
②		帳票出力用プリンタ	〃
③	UPS	汎用UPS	〃
④	KP-1~3	計装変換器盤	〃
⑤		非常通報装置	〃
⑥	LP-W	気象変換器盤	〃

管理棟2階電気室

番号	盤記号	盤名称	備考
①	HP-1	引込盤	既設
②	HP-2	受電盤	〃
③	HP-3	照明盤	〃
④	HP-4	No. 1動力変圧器盤	〃
⑤	HP-5	低圧動力主幹盤	〃
⑥	HP-6	自家発電絡盤	〃
⑦	HP-7	No. 2動力変圧器盤	〃
⑧	HP-8	No. 1動力変圧器一次/No. 2動力変圧器一次盤	〃
⑨	CC-AN	沈砂池設備コントロールセンタ	〃
⑩	RY-AN	沈砂池設備補助継電器盤	〃
⑪	CC-BN	主ポンプ設備コントロールセンタ	〃
⑫	RY-BN	主ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑬	CC-C	調整槽初沈設備コントロールセンタ	〃
⑭	RY-C	調整槽初沈設備補助継電器盤	〃
⑮	CC-E	濃縮・消化タンク設備コントロールセンタ	〃
⑯	RY-E	濃縮・消化タンク設備補助継電器盤	〃
⑰	CC-F	脱水機設備コントロールセンタ	撤去
⑱	RY-F	脱水機設備補助継電器盤	〃
⑲	RY-F3, 4	脱水機設備補助継電器盤	〃
㉑	LP-11	水処理低圧分電盤	既設
㉒	DC-1	直流電源盤	〃
㉓		照明分電盤	〃
㉔		建築照明盤	〃
㉕		建築動力盤	〃
㉖	SQC/TM-1	シーケンスコントローラ・テレメータ盤	〃
㉗	TB-1	入出力中継端子盤	〃
㉘		接地端子盤 (5P+2P)	〃



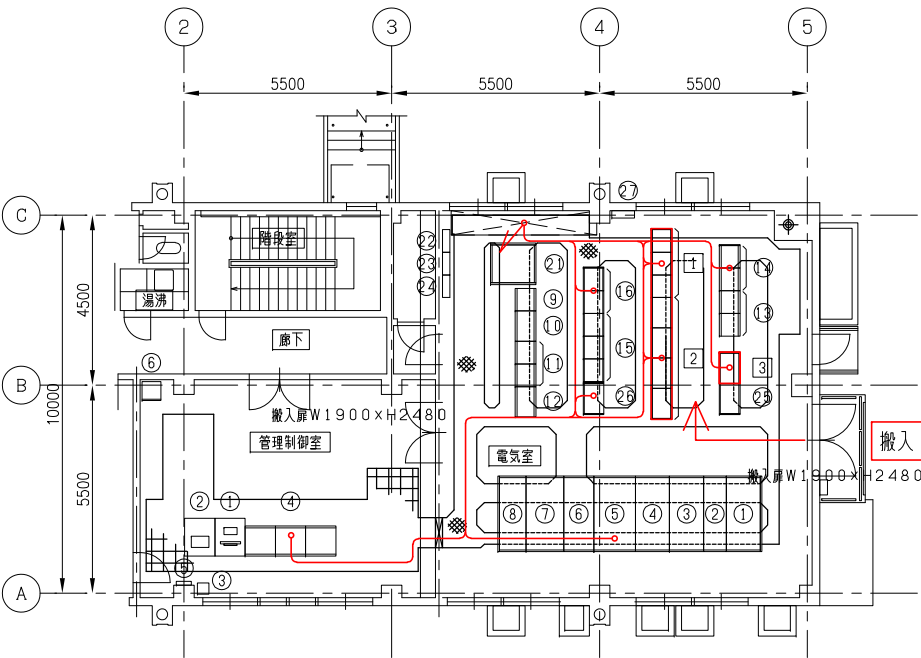
汚泥処理棟2階（下部）平面図 S=1:100

番号	盤記号	盤名称	備考
①	LP-E12-3	作業電源盤	既設
②	LP-E13-2	No. 2換気ファン盤	〃
③			

番号	盤記号	盤名称	備考
1	LBZ-F	仮設動力制御盤	仮設

注記 1,  は、今回撤去範囲を示す。
2, その他特記無きは既設を示す。

ステップ3：更新盤の設置、配線切替、試験調整



管理棟2階平面図 S=1:100

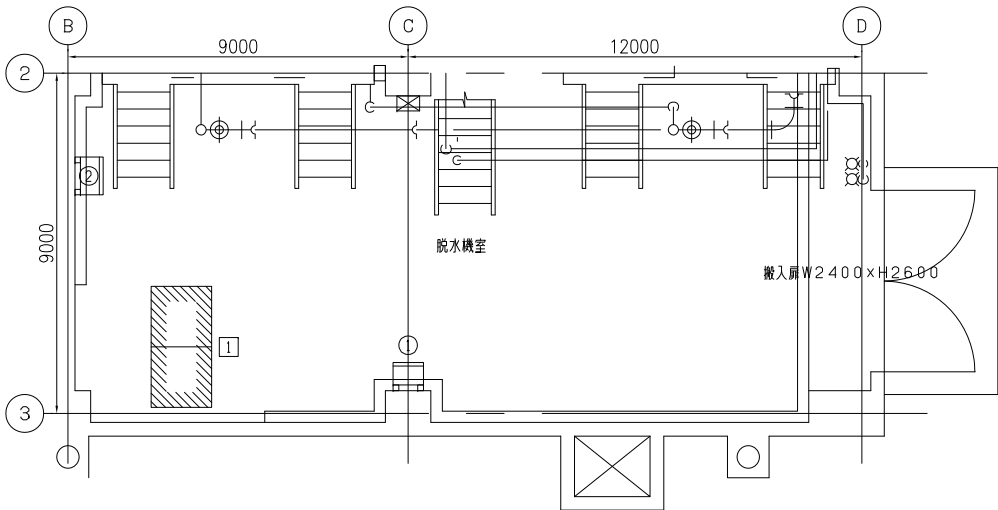
番号	盤記号	盤名称	備考
1	CC-FN	汚泥脱水設備コントロールセンタ	今回
2	RY-FN	汚泥脱水設備補助継電器盤	〃
3	SQC/TM-2	シーケンスコントローラ・テレメータ盤2	〃

管理棟2階管理制御室

番号	盤記号	盤名称	備考
①	LCD-1	LCD監視制御装置	既設
②		帳票出力用プリンタ	〃
③	UPS	汎用UPS	〃
④	KP-1~3	計装変換器盤	〃
⑤		非常通報装置	〃
⑥	LP-W	気象変換器盤	〃

管理棟2階電気室

番号	盤記号	盤名称	備考
①	HP-1	引込盤	既設
②	HP-2	受電盤	〃
③	HP-3	照明盤	〃
④	HP-4	No. 1動力変圧器盤	〃
⑤	HP-5	低圧動力主幹盤	〃
⑥	HP-6	自家発電絡盤	〃
⑦	HP-7	No. 2動力変圧器盤	〃
⑧	HP-8	No. 1動力変圧器一次/No. 2動力変圧器一次盤	〃
⑨	CC-AN	沈砂池設備コントロールセンタ	〃
⑩	RY-AN	沈砂池設備補助継電器盤	〃
⑪	CC-BN	主ポンプ設備コントロールセンタ	〃
⑫	RY-BN	主ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑬	CC-C	調整槽初沈設備コントロールセンタ	〃
⑭	RY-C	調整槽初沈設備補助継電器盤	〃
⑮	CC-E	濃縮・消化タンク設備コントロールセンタ	〃
⑯	RY-E	濃縮・消化タンク設備補助継電器盤	〃
⑰			
⑱			
⑲			
20	LP-11	水処理低圧分電盤	既設
21	DC-1	直流電源盤	〃
22		照明分電盤	〃
23		建築照明盤	〃
24		建築動力盤	〃
25	SQC/TM-1	シーケンスコントローラ・テレメータ盤	〃
26	TB-1	入出力中継端子盤	〃
27		接地端子盤 (5P+2P)	〃



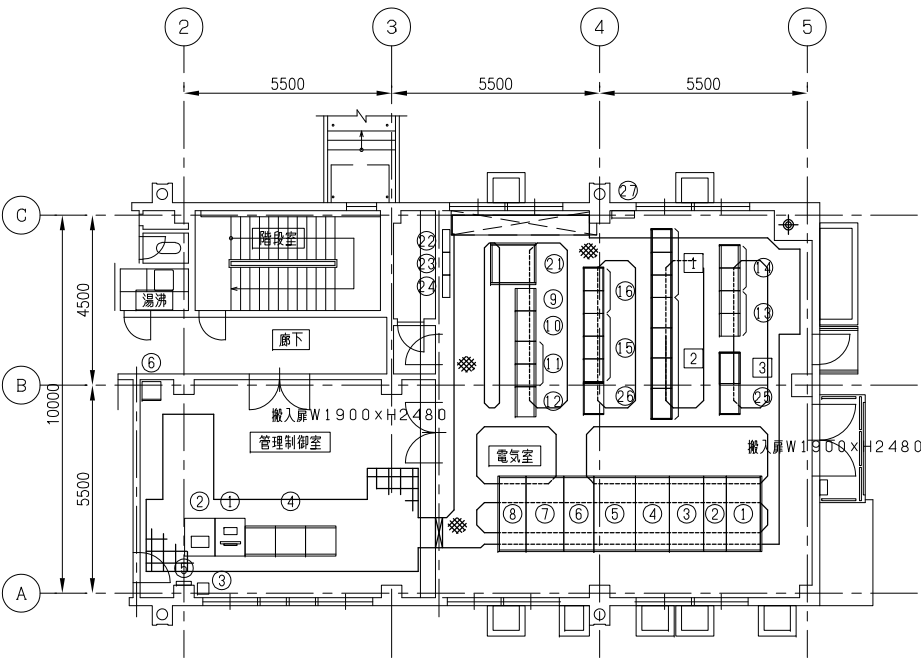
汚泥処理棟2階（下部）平面図 S=1:100

番号	盤記号	盤名称	備考
①	LP-E12-3	作業電源盤	既設
②	LP-E13-2	No. 2換気ファン盤	〃
③			

番号	盤記号	盤名称	備考
1	LBZ-F	仮設動力制御盤	仮設

注記 1, は、今回施工範囲を示す。
2, その他特記無きは既設を示す。

ステップ4：仮設盤、仮設配線の撤去



管理棟2階平面図 S=1:100

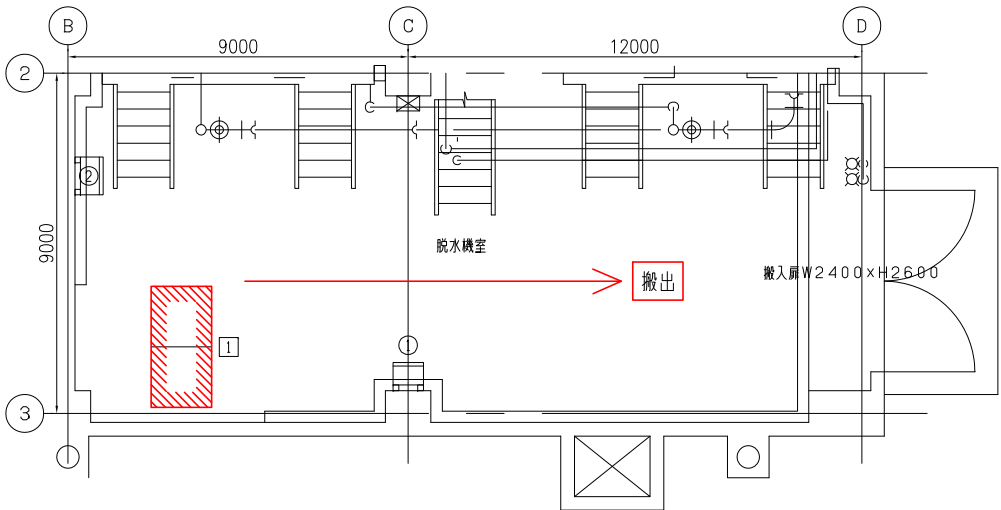
番号	盤記号	盤名称	備考
1	CC-FN	汚泥脱水設備コントロールセンタ	今回
2	RY-FN	汚泥脱水設備補助継電器盤	〃
3	SQC/TM-2	シーケンスコントローラ・テレメータ盤2	〃

管理棟2階管理制御室

番号	盤記号	盤名称	備考
1	LCD-1	LCD監視制御装置	既設
2		帳票出力用プリンタ	〃
3	UPS	汎用UPS	〃
4	KP-1~3	計装変換器盤	〃
5		非常通報装置	〃
6	LP-W	気象変換器盤	〃

管理棟2階電気室

番号	盤記号	盤名称	備考
1	HP-1	引込盤	既設
2	HP-2	受電盤	〃
3	HP-3	照明盤	〃
4	HP-4	No. 1動力変圧器盤	〃
5	HP-5	低圧動力主幹盤	〃
6	HP-6	自家発電絡盤	〃
7	HP-7	No. 2動力変圧器盤	〃
8	HP-8	No. 1動力変圧器一次/No. 2動力変圧器一次盤	〃
9	CC-AN	沈砂池設備コントロールセンタ	〃
10	RY-AN	沈砂池設備補助継電器盤	〃
11	CC-BN	主ポンプ設備コントロールセンタ	〃
12	RY-BN	主ポンプ設備補助継電器盤	〃
13	CC-C	調整槽初沈設備コントロールセンタ	〃
14	RY-C	調整槽初沈設備補助継電器盤	〃
15	CC-E	濃縮・消化タンク設備コントロールセンタ	〃
16	RY-E	濃縮・消化タンク設備補助継電器盤	〃
17			
18			
19			
20	LP-11	水処理低圧分電盤	既設
21	DC-1	直流電源盤	〃
22		照明分電盤	〃
23		建築照明盤	〃
24		建築動力盤	〃
25	SQC/TM-1	シーケンスコントローラ・テレメータ盤	〃
26	TB-1	入出力中継端子盤	〃
27		接地端子盤 (5P+2P)	〃

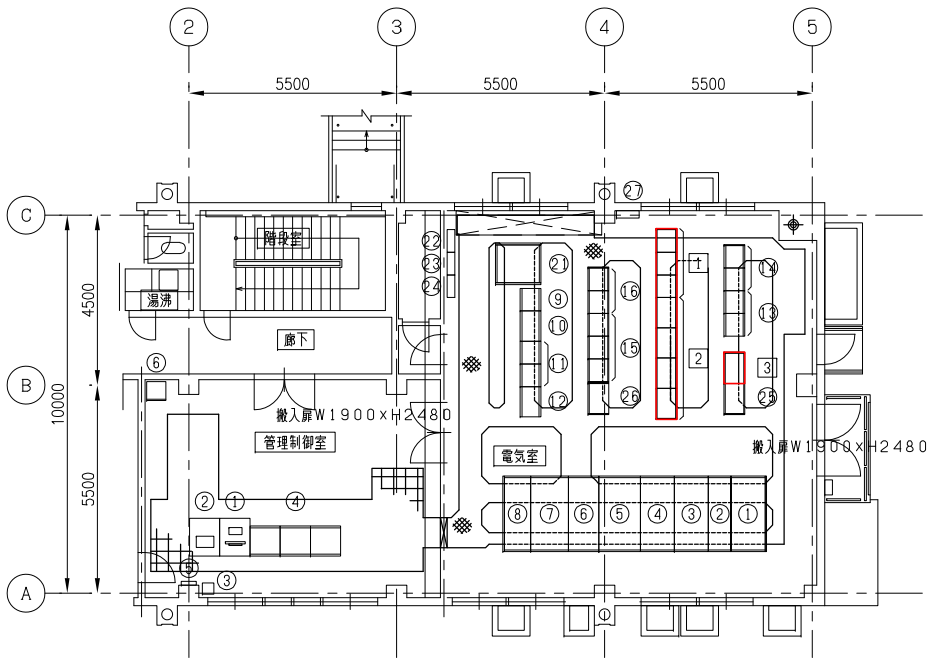


汚泥処理棟2階（下部）平面図 S=1:100

番号	盤記号	盤名称	備考
1	LP-E12-3	作業電源盤	既設
2	LP-E13-2	No. 2換気ファン盤	〃
3			

番号	盤記号	盤名称	備考
1	LBZ-F	仮設動力制御盤	仮設撤去

注記 1,  は、仮設撤去範囲を示す。
2, その他特記無きは既設を示す。



管理棟2階平面図 S=1:100

番号	略記号	略 名 称	備 考
1	CC-FN	汚泥脱水設備コントロールセンタ	今 回
2	RY-FN	汚泥脱水設備補助継電器盤	〃
3	SQC/TM-2	シーケンスコントローラ・テレメータ盤2	〃

管理棟2階管理制御室

番号	略記号	略 名 称	備 考
①	LCD-1	LCD監視制御装置	既 設
②		帳票出力用プリンタ	〃
③	UPS	汎用UPS	〃
④	KP-1~3	計装交換器盤	〃
⑤		非常通報装置	〃
⑥	LP-W	気象交換器盤	〃

管理棟2階電気室

番号	略記号	略 名 称	備 考
①	HP-1	引込盤	既 設
②	HP-2	受電盤	〃
③	HP-3	照明盤	〃
④	HP-4	No. 1 動力変圧器盤	〃
⑤	HP-5	低圧動力主幹盤	〃
⑥	HP-6	自家発電絡盤	〃
⑦	HP-7	No. 2 動力変圧器盤	〃
⑧	HP-8	No. 1 動力変圧器一次/No. 2 動力変圧器一次盤	〃
⑨	CC-AN	沈砂池設備コントロールセンタ	〃
⑩	RY-AN	沈砂池設備補助継電器盤	〃
⑪	CC-BN	主ポンプ設備コントロールセンタ	〃
⑫	RY-BN	主ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑬	CC-C	調整槽初沈設備コントロールセンタ	〃
⑭	RY-C	調整槽初沈設備補助継電器盤	〃
⑮	CC-E	濃縮・消化タンク設備コントロールセンタ	〃
⑯	RY-E	濃縮・消化タンク設備補助継電器盤	〃
⑰			
⑱			
⑲			
⑳	LP-11	水処理低圧分電盤	既 設
㉑	DC-1	直流電源盤	〃
㉒		照明分電盤	〃
㉓		建築照明盤	〃
㉔		建築動力盤	〃
㉕	SQC/TM-1	シーケンスコントローラ・テレメータ盤	〃
㉖	TB-1	入出力中継端子盤	〃
㉗		接地端子盤 (5P+2P)	〃

令和 7 年度 業 務 委 託 設 計 書		町長	副町長	課長	課長補佐	課員	念算	設計
業務委託名	資材単価特別調査業務							
業務箇所	永平寺町中央浄化センター							
業務委託費			業務価格					
			消費税相当額					
業務概要								
1. 資材単価特別調査業務								
(1) 機械設備14品目 (2) 電気設備31品目 (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)								

資材単価特別調査業務

委 託 費 内 訳 書								
費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
業務委託費	直接人件費	計画・準備		式	1.0			第 1 号 一 位 代 価 表
		調査		式	1.0			
		集計・分析		式	1.0			
		報告書作成		式	1.0			
		審査		式	1.0			
	直接人件費計							
	直接経費	旅費交通費		式	1.0			
		印刷・通信費		式	1.0			
	直接経費計							
	直接原価計							
	間接原価	その他原価		式	1.0			直接人件費計の $\alpha / (1 - \alpha)$ $\alpha = 35\%$
	業務原価計							
	一般管理費等			式	1.0			業務原価計の $\beta / (1 - \beta) * 0.9$ 以内 $\beta = 35\%$
業務価格計								
消費税等相当額				式	1.0			業務価格計の 10 %
業務委託費計								

令和 7 年 月 日

様

永平寺町長 河 合 永 充

監 督 職 員 通 知 書

令和 年 月 日付けをもって請負契約を締結した次の業務について、永平寺町業務等委託契約
約款第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり監督職員を通知する。

業 務 名	資材単価特別調査業務
業務箇所	永平寺町中央浄化センター

記

監督職員 主 査 牧 野 展 久